

民國二十五年第三編

中國經濟年鑑

序  
題

# 第十一章 鑛業

## 第一節 全國之部

### 第一目 國營鑛區

- (一) 各省國營鑛業權一覽表
- (二) 各省國營金屬鑛區及面積之分類總計表
- (三) 各省國營非金屬鑛區及面積之分類總計表

### 第二目 民營鑛區

- (一) 各省民營探鑛業權一覽表
- (二) 各省民營小鑛業權一覽表
- (三) 各省民營探鑛業權一覽表
- (四) 各省民營金屬探鑛區及面積之分類總計表
- (五) 各省民營非金屬探鑛區及面積之分類總計表
- (六) 各省民營金屬小鑛區及面積之分類總計表
- (七) 各省民營非金屬小鑛區及面積之分類總計表
- (八) 各省民營金屬探鑛區及面積之分類總計表
- (九) 各省民營非金屬探鑛區及面積之分類總計表

### 第三目 鑛產出入口數量及價值

- (甲) 出口
- (一) 全國錫鑛砂出口數量及價值統計表

(二) 全國錫出口數量及價值統計表

(三) 全國其他金屬鑛砂出口數量及價值統計表

(四) 全國金屬及金屬製品出口數量及價值統計表

(五) 全國煤(船用煤在內)出口數量及價值統計表

(六) 全國焦炭煤出口數量及價值統計表

(七) 全國鹽出口數量及價值統計表

(八) 全國水泥出口數量及價值統計表

(九) 全國石灰土及其製品出口數量及價值統計表

(乙) 進口

(一) 外洋黃銅及紫銅進口價值統計表

(二) 外洋黃銅及紫銅進口數量及價值統計表

(三) 外洋錫錠塊進口數量及價值統計表

(四) 外洋鉛進口數量及價值統計表

(五) 外洋鉛箔進口數量及價值統計表

(六) 外洋未列名金屬鑛砂進口價值統計表

(七) 外洋竹節鋼彈簧鋼工具用鑛進口數量及價值統計表

(八) 外洋鋼鐵條段截條頭進口數量及價值統計表

(九) 外洋鍍錫鋼鐵片進口數量及價值統計表

(十) 外洋鍍錫鋼鐵管子等進口數量及價值統計表

(十一) 外洋鋼鐵絲繩進口數量及價值統計表

(十二) 外洋馬口鐵進口數量及價值統計表

(十三) 外洋未鍍錫鋼鐵片板進口數量及價值統計表

中國經濟年鑑 第三編 第十一章 鑛業詳目

(K)二

(十四) 外洋未鍍鋅鋼鑛軌進口數量及價值統計表	一九
(十五) 外洋未鍍鋅鋼鑛管子等進口數量及價值統計表	一九
(十六) 外洋未鍍鋅鋼鑛釘進口數量及價值統計表	二〇
(十七) 外洋未鍍鋅鋼鑛條等進口數量及價值統計表	二〇
(十八) 外洋未鍍鋅三角鋼鑛等進口數量及價值統計表	二〇
(十九) 外洋精油進口價值統計表	二一
(二十) 外洋煤油進口數量及價值統計表	二一
(二一) 外洋柴油進口數量及價值統計表	二一
(二二) 外洋汽發油石腦汽油扁陳汽油進口數量及價值統計表	二一
統計表	二一
(二三) 外洋煤(煤磚在內)進口數量及價值統計表	二二
(二四) 外洋地氈青進口數量及價值統計表	二二
(二五) 外洋水泥進口數量及價值統計表	二二
第四目 中國各重要城市煤炭業近況	二三
(一) 南京市	二三
(二) 蕪湖	二三
(三) 安慶	二四
(四) 武漢	二五
(五) 杭州	二七
(六) 上海	二七
(七) 廣東	二七
(八) 長沙	二八

(九) 鄭州	二八
(十) 甘肅	二八
第五目 全國各鐵路鑛產品運價及運輸數量	二八
(一) 最近三年鑛產品鐵路運價及其減低	二八
(二) 二十二年沿路各煤田運出煤焦噸數之統計	三〇
(三) 二十三年沿路各煤礦田運出煤焦噸數	三四
(四) 二十二年各路用煤數值與煤田之關係	四〇
(五) 膠濟及津浦兩路鑛質起運噸數表	四一
第六目 各省鑛產最近調查及已知產銷概況	四一
(一) 廣西省鑛產概況	四一
(二) 雲南鑛產之概況	四四
(三) 新疆鑛產概況	四五
(四) 山東全省主要鑛產概況	四七
(五) 青島港務局及東海關鑛產出口數量表	四九
(六) 江西主要鑛產分析概況表	五一
(七) 商辦各礦統計表	五四
(八) 湖南公鑛鑛產營業處二十三年九十一月鑛產品出入量值表	五六
(九) 長沙礦產二十三年下半年平均市價	五八
第二節 分省之部	五九
第一目 煤	五九

(一) 江蘇省.....五九

(1) 民國二十三年度(至四月底止)各煤鑛明細表.....五九

(2) 民國二十四年度(至四月底止)各煤鑛明細表.....五九

(3) 賈汪華東煤鑛近況.....六〇

(二) 浙江省.....六〇

(1) 民國二十三年度煤鑛業明細表.....六〇

(2) 長興煤鑛近況.....六〇

(三) 安徽省.....六三

(1) 烈山煤鑛產銷及價值.....六三

(2) 大通煤鑛產銷及價值.....六三

(3) 淮南煤鑛近況.....六三

(四) 山東省.....六六

(1) 全省各煤鑛業調查表.....六六

(2) 民國二十三年度(至四月底止)各煤鑛明細表.....六九

(3) 全省煤鑛明細表.....七五

(五) 河北省.....八〇

(1) 全省各煤鑛產額表.....八〇

(2) 開灤煤由秦皇島輸出噸數.....八〇

(六) 河南省.....八一

(1) 民國二十三年度各煤鑛明細表.....八一

(2) 民國二十四年度(至四月底止)各煤鑛明細表.....八二

(3) 中福聯合辦事處之整理概況.....八三

(4) 六河溝煤鑛之產銷資債及成本.....八五

(5) 湯陰煤鑛產銷近況.....八六

(七) 山西省.....八七

(1) 全省各縣煤鑛產額表.....八七

(2) 永定莊鑛二十二年度採煤經費一覽表.....八八

(3) 煤峪口鑛二十二年度採煤經費一覽表.....九〇

(4) 永定莊鑛二十三年度採煤經費一覽表.....九二

(5) 煤峪鑛二十三年度採煤經費一覽表.....九四

(八) 陝西省.....九五

(1) 各縣煤鑛產量表.....九五

(2) 各煤鑛產銷及價值表.....九五

(九) 湖北省.....九六

(1) 煤業之概況.....九六

(2) 大冶利華煤鑛產銷及價值.....九七

(3) 陽新裕利煤鑛公司產銷及價值.....九七

(4) 大冶富源煤鑛近況.....九七

(十) 湖南省.....九九

(1) 醴陵石成金煤鑛概況.....九九

(2) 邵陽萬安鄉螺絲嶺寶昌煤鑛.....一〇〇

(十一) 四川省.....一〇一

(1) 各縣煤產量.....一〇一

(2) 黔江縣煤鑛情形.....一〇一

中國經濟年鑑第三編 第十一章 鑛業詳目

(K) 四

(十二) 江西省	一〇二
民國二十四年度(至四月底止)各煤鑛明細表	一〇二
(十三) 廣東省	一〇二
富國煤鑛近況	一〇二
(十四) 福建省	一〇三
龍巖廈門間煤鑛誌略	一〇三
(十五) 雲南省	一〇四
各縣煤鑛業調查表	一〇四
(十六) 貴州省	一〇八
各縣煤產量及當地售價	一〇八
(十七) 察哈爾	一〇九
(1) 民國二十三年度(至四月底止)各煤鑛明細表	一〇九
(2) 東新煨炭鑛概況	一一一
(3) 康保煤鑛	一一二
(十八) 寧夏	一一二
(1) 各縣煤產概況	一一二
(十九) 綏遠	一一五
本省煤鑛近況	一一五
(二十) 甘肅省	一一五
(1) 本省煤鑛調查表	一一五
(2) 本省煤鑛概況	一一五
(二十一) 青海省	一一六

大通縣煤鑛產銷狀況調查	一一六
第二目 石油	一一六
(一) 陝西省	一一六
(1) 延川石油鑛探勘近況	一一六
(2) 延長石油官廠工人人數及產額調查表	一一七
(二) 新疆省	一一七
本省石油鑛概況	一一七
(三) 河北省	一一七
井陘煤鑛附產石油量	一一七
第三目 鐵	一一七
(一) 安徽省	一一七
(1) 寶興鐵鑛公司產量及成本	一一七
(2) 福利民公司牯山鑛場產砂表	一一八
(3) 南山採鑛工場歷年採砂噸數及成本概算表	一一八
(4) 昌華公司產額及成本與售價	一一九
(5) 裕繁公司最近運售出口數量及繳納稅額表	一一九
(二) 湖北省	一二〇
大冶象鼻山鐵鑛狀況	一二〇
(三) 福建省	一二六
華安漳平龍溪鐵鑛概況	一二六
(四) 貴州省	一二七
本省鐵鑛業及各縣產量	一二七

(五) 廣西省	二二八
北流之鐵礦概況	二二八
(六) 甘肅省	二二九
(1) 本省鐵礦調查表	二二九
(2) 成縣鐵礦	二二九
第四目 錳	二二九
(一) 廣西省	二二九
民國二十四年(至八月底止)各錳鑛明細表	二二九
(二) 江西省	二二九
樂平錳鑛	二二九
第五目 銻	二二九
(一) 湖南省	二二九
全省銻鑛產額表	二二九
(二) 雲南及廣西	二二九
兩省二十三年度產額表	二二九
第六目 鎢	二二九
(一) 湖南省	二二九
(1) 鎢鑛分佈與儲量	二二九
(2) 常寧白沙西嶺墟鎢鑛概況	二二九
(二) 廣西省	二二九
民國二十四年(至八月底止)鎢鑛明細表	二二九
第七目 金	二二九

(一) 湖南省	三三一
桃源冷家溪金鑛概況	三三一
(二) 廣西省	三三一
(1) 上林最近採金情形	三三一
(2) 民國二十四年(六月底止)砂金鑛明細表	三三一
(三) 新疆省	三三一
本省金鑛概況	三三一
(四) 西康省	三三一
(1) 理化金廠現況	三三一
(2) 康定金鑛最近狀況	三三一
(五) 青海省	三三一
本省金鑛概況	三三一
(六) 四川省	三三一
安縣金鑛近況	三三一
第八目 銀鉛	三三一
(一) 浙江省	三三一
各縣銀鉛鑛概況	三三一
(二) 湖南省	三三一
(1) 常寧水口山鉛鋅鑛局近況(附二十三年鑛產收支表)	三三一
(2) 資興大脚嶺鉛鑛概況	三三一
第九目 錫	三三一

中國經濟年鑑 第三編 第十一章 鑛業詳目

(一)雲南省	一四一	(五)山東省釉石磁土火粘土重晶石滑石鑛業	一五一
(1)簡舊錫鑛情形(附調查表)	一四一	(1)本省釉石磁土火粘土重晶石滑石鑛業調查表	一五一
(二)廣西省	一四二	(2)民國二十四年(四月底止)磁土鑛產明細表	一五二
民國二十四年(八月底止)各錫鑛明細表	一四四	(六)江蘇省磁土鑛業	一五二
(三)湖南省	一四五	民國二十四年(五月底止)磁土鑛明細表	一五二
(1)江華錫鑛二十三年度營業概況表	一四五	(七)江蘇省筆鉛鑛業	一五三
(2)臨武香花嶺錫鑛概況	一四六	民國二十四年(四月底止)筆鉛鑛明細表	一五三
第十目 銅	一四七	(八)浙江省礬石鑛業	一五三
貴州省	一四七	礬石鑛明細表	一五三
本省銅鑛產額及銷場	一四七	(九)四川省鹽鑛業	一五四
第十一目 汞	一四七	民國二十二年鹽產額表	一五四
貴州省	一四七		
本省汞產額及銷售價值	一四七		
第十二目 各種非金屬鑛業	一四七		
(一)湖南省硫磺鑛業	一四七		
本省硫磺調查	一四七		
(二)察哈爾硫磺鑛業	一四八		
民國二十三年宣化硫磺公司明細表	一四八		
(三)河北省石棉鑛業	一四九		
涿源縣石棉鑛概況	一四九		
(四)浙江明礬及礬石鑛業	五〇九		
平陽礬石礬及明礬之產量	五〇九		

# 中國經濟年鑑二十五年第三編

## 第十一章 礦業

### 第一節 全國之部

#### 第一目 國營礦區

一 各省國營礦業權一覽表（截至二十四年六月底止）（續二）  
四年第二編年鑑）

省別	縣名	地 名	礦 別	區 面 積	呈報設權年月
山東	淄川	萬山莊四畝	煤	八、二二五、三〇	二十三年八月
安徽	銅陵	銅官山小銅官山天鵬山寶山	鐵	二一、九一八、五九	二十四年四月

二 各省國營金屬礦區及面積之分類總計表（截至二十四年六月底止）

省別	鐵		鎢		合 計	
	區數	公畝數	區數	公畝數	區數	公畝數
江 蘇	二	二四、八〇、八〇			二	二四、八〇、八〇
安 徽	七	七、七五、六九			七	七、七五、六九
江 西					六	四〇、五、一〇
合 計					九	三二、六、四、四九

省別	數量	區數	公畝數	區數	公畝數	區數	公畝數
湖 北	一		一〇、一〇〇、〇〇			一	一〇、一〇〇、〇〇
四 川	一		九六六七			一	九六六七
熱 河	一		九、七〇二、〇〇			一	九、七〇二、〇〇
合 計			三三、三三三、五九二			三	三〇、七六九、〇六七

三 各省國營非金屬礦區及面積之分類總計表（截至二十四年六月底止）

省別	數量	區數	公畝數	區數	公畝數	區數	公畝數
江 西	一		八〇、四〇〇、〇〇			一	八〇、四〇〇、〇〇
河 北	五		三、一八三、五四三			五	三、一八三、五四三
山 東	一		八三、五三〇			一	八三、五三〇
四 川				五	二、五七、八九八	五	二、五七、八九八
合 計			一一、四一三、九二三			七	一一、四一三、九二三

#### 第二目 民營礦區

一 各省民營探礦業權一覽表（截至二十四年六月底止）  
（註）廣東廣西綏遠熱河寧夏青島與上年同

省別	礦 區 數	面 積
江 蘇	二九	二八三、六八七、七九
浙 江	五四	三二六、〇七九、一〇



二 各省民營小鑛鑛業權一覽表(截至二十四年六月底止)

(註)江蘇福建北平熱河貴州五省市與上年同

安徽	七八	七六五、八二四·七五
江西	七三	七八二、七四〇·七八
湖北	三六	二七七、九六七·一六
湖南	四五八	一、二五四、五七八·一三
河北	一九五	三、七九一、八一四·〇〇 六、〇六二公尺
河南	六九	一、四三一、三五七·〇九
山東	二一九	二、八三六、四五二·五八
山西	一四九	一、六五五、七三七·三九
甘肅	一四	一三、九〇九·四〇
四川	八三	四八一、三三五·一九
福建	五	五、八一三·六二
雲南	六〇	一七九、九〇九·八九
察哈爾	三七	三一五、六二七·八四
合計	一、六三四	一五、五七六、八七〇·七八 六、〇六二公尺

省別	鑛區數	面積
浙江	三五	六、一六〇·四六 公畝

三 各省民營探鑛鑛業權一覽表(截至二十四年六月底止)

江西	一九	一一、六〇二·五五
安徽	二五	二二、一四五·二九
湖南	三一	二五、二二〇·三三
湖北	七	五、五九一·九〇
山東	二二	一六、〇一〇·二四
山西	九八	四二、五三二·八六
河北	五六	一八、一三三·七五 一、九三〇公尺
河南	二一	一三、一三七·九〇
陝西	六	二、三九〇·〇〇
青島	二	三七一·四〇
察哈爾	三二	一八、三九六·三二
綏遠	一〇	二、四一八·〇一
雲南	一〇	五、二〇七·八六
四川	五八	三二、二七四·七〇
合計	四六二	二四四、三六〇·九七 一、九三〇公尺

省別	鑛區數	面積
江蘇	四	一六、五五四·二五 公畝

湖 南	江 西	安 徽	浙 江	江 蘇	省 別	續 別	
						數量	別
6	2					數區	金
23,602.78	1,001.47					數公畝	銀
						數區	銅
						數公畝	鐵
3	5	15	3	2		數區	錫
5,925.10	35,376.78	50,283.99	7,606.15	53,138.23		數公畝	鉛
32	1					數區	銻
99,333.55	1,342.46					數公畝	錳
19			2			數區	鋅
79,091.50			614.77			數公畝	鉬
181	1	1	3			數區	鎳
190,677.62	1,049.40	2,039.21	4,462.52			數公畝	鉍
15	1		3			數區	鎘
41,271.90	13,266.00		1,655.37			數公畝	銻
2			2			數區	鉍
10,807.30			654.37			數公畝	鉍
			1			數區	鉍
			1,967.39			數公畝	鉍
31						數區	鉍
165,558.91						數公畝	鉍
289	10	16	14	2		數區	合計
616,268.66	52,036.11	52,323.20	16,960.57	53,138.23		數公畝	

四 各省民營金屬採礦續區及面積之分類總計表(截至二十四年六月底止)

山 東	河 北	河 南	安 徽
一	三	四	五
四、二四四·二五	三四、六六五·五〇	五五、五六〇·六八	九三、四八〇·〇〇

合 計	綏 遠	湖 南	山 西
三三三	一	九	六
三一五、八八九·五五	四、九四八·九九	三八、六八三·一四	六七、七五二·七四

四 川	甘 肅	山 西	山 東	河 北	河 南	湖 北
5			1	59		
225,323.83			16,076.81	6,062公尺 371,498.62		
1				1		
5,191.68				5,597.79		
1						2
4,909.06						1,068.38
	8			3	1	5
	5,310.87			71,455.64	896.41	39,205.55
		1	2	2		
		16,588.80	5,821.56	11,911.86		
2						
3,148.80						
9	8	1	3	65	1	7
238,573.37	5,310.87	16,588.80	21,898.37	6,062公尺 460,463.91	896.41	40,273.73

合 計	熱 河	察 哈 爾	雲 南	廣 西	廣 東	福 建
79	4		2			
6,062公尺 646,133.13	6,847.86		1,781.76			
7	4				1	
23,059.35	11,377.46				892.42	
5			2			
10,584.70			4,607.26			
52		3	3		1	
422,960.30		141,649.92	6,456.93		5,654.93	
49			10	6		
3,333公尺 142,151.75			34,661.17	3,333公尺 6,814.57		
32		1	5			
140,415.50		7,942.72	18,444.29			
200			7	2	3	
225,839.70			11,013.12	7,031.38	6,417.65	
23				1	3	
66,401.53				6,589.44	3,618.82	
8			3		1	
33,143.84			20,846.59		835.58	
4						3
6,278.74						4,311.35
31						
165,558.91						
490	8	4	32	9	9	3
9,395公尺 1,882,527.45	18,225.32	149,592.64	97,811.12	3,333公尺 20,435.39	17,419.40	4,311.35

五 各省民營非金屬探礦區及面積之分類總計表(截至二十四年六月底止)

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

湖 北	湖 南	江 西	安 徽	浙 江	江 蘇	省 別	數 量	礦 別
						數	區	煤
29	113	61	61	11	17	數	區	煤
237,693.43	496,921.08	727,298.93	713,135.55	221,338.51	203,405.38	數	區	土
	2					數	區	火
	6,001.00					數	區	黏
		2		2	6	數	區	磁
		3,405.75		563.42	5,534.24	數	區	土
				1		數	區	滑
				3,779.00		數	區	石
						數	區	重
	2					數	區	晶
	7,181.40					數	區	石
	27		1	1		數	區	膏
	23,275.27		366.00	2,480.13		數	區	礦
	4					數	區	岩
	24,908.00					數	區	鹽
						數	區	石
						數	區	雲
						數	區	母
						數	區	水
	8				2	數	區	晶
	68,105.00				2,075.11	數	區	筆
				24		數	區	鉛
				14,340.98		數	區	磷
						數	區	石
						數	區	大
						數	區	理
	13					數	區	砒
	21,916.35					數	區	硫
					2	數	區	石
					19,534.84	數	區	機
						數	區	灰
						數	區	酸
						數	區	石
				1		數	區	棉
				66,616.48		數	區	明
						數	區	礬
29	169	63	62	40	27	數	區	合
237,693.43	638,308.10	730,704.68	713,501.55	309,118.52	230,549.57	數	區	計

福建	四川	甘肅	山西	山東	河北	河南
	72	6	137	172	119	68
	241,244.23	8,598.53	1,614,786.74	2,517,562.58	3,252,173.94	1,430,460.65
				4		
				8,542.44		
				8	2	
				17,957.95	3,093.00	
				3		
				78,733.80		
				21		
				112,719.66		
			4			
			18,167.10			
			7			
			6,194.81			
	1			1	1	
	1,105.92			23,531.52	724.62	
					1	
					14,778.31	
1	1					
562.24	411.64					
				3		
				21,803.95		
1				1		
940.03				10,076.00		
				3	7	
				23,626.22	60,580.20	
2	74	6	148	216	130	68
1,502.27	242,761.79	8,598.53	1,639,148.65	2,814,554.12	3,331,350.07	1,430,460.65



綏遠	雲南	河北	湖南	浙江	江蘇	省別	鑛別
						數量	
		17				數區	金
		2,930公尺 2,527.30				公畝數	
		1				數區	銀
		164.82				公畝數	
	1				1	數區	銅
	176.86				190.00	公畝數	
				1		數區	鐵
				60.00		公畝數	
2			1	1		數區	鉛
387.95			194.00	157.72		公畝數	
				1		數區	錫
				184.05		公畝數	
				1		數區	錳
				73.00		公畝數	
						數區	鋁
						公畝數	
				6		數區	鉍
				1,017.63		公畝數	
2	1	18	1	10	1	數區	合計
387.95	176.86	2,930公尺 2,692.12	194.00	1,492.40	190.00	公畝數	

六 各省民營金屬小鑛鑛區及面積之分類總計表(截至二十四年六月底止)

合計	965
	12,991,437.48
	7
	16,679.66
	20
	30,554.36
	4
	82,512.80
	21
	112,719.66
	6
	25,348.50
	39
	42,302.08
	4
	24,908.00
	3
	25,362.06
	1
	14,778.31
	12
	61,153.99
	29
	52,064.17
	2
	11,016.03
	17
	26,531.40
	2
	19,534.84
	11
	90,823.51
	1
	66,616.48
	1,144
	13,694,343.33



合計	北平	陝西	貴州	熱河
24				7
2,930公尺 2,524.40				997.10
1				
164.82				
2				
366.86				
2		1		
168.00		108.00		
5			1	
882.67			143.00	
1				
184.05				
1				
73.00				
1	1			
106.00	106.00			
6				
1,017.63				
43	1	1	1	7
2,930公尺 6,487.43	106.00	108.00	143.00	997.10

七 各省民營非金屬小鑛區及面積之分類總計表（截至二十四年六月底止）

新江	江蘇	省別數量	鑛別
2	4	數區	煤
2,219.85	5,739.61	數畝公	
		數區	土火
		數畝公	黏
4	1	數區	磁土
395.61	102.00	數畝公	
		數區	滑石
		數畝公	
		數區	石重晶
		數畝公	
		數區	石膏
		數畝公	
5		數區	礮
309.96		數畝公	
		數區	石雲母
		數畝公	
		數區	水晶
		數畝公	
	4	數區	筆鉛
	594.67	數畝公	
14		數區	磷石
1,742.64		數畝公	
		數區	大理
		數畝公	
		數區	砒
		數畝公	
		數區	石楠
		數畝公	
		數區	石顏料
		數畝公	
25	9	數區	合計
4,668.06	6,436.28	數畝公	

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

山西	山東	河北	河南	湖北	湖南	江西	安徽
91	11	29	21	7	28	19	25
41,598.96	14,335.49	13,846.05	23,137.90	5,591.90	24,639.33	11,602.55	21,145.29
1							
89.48							
		1			1		
		190.80			193.00		
		2					
		387.31					
	7						
	1,037.54						
4							
743.08							
2					1		
101.34					194.00		
	2						
	360.75						
		2					
		381.71					
	1						
	94.56						
		1					
		32.00					
	1	2					
	181.90	482.50					
		1					
		120.26					
98	22	38	21	7	30	19	25
42,532.86	16,010.24	15,440.63	23,137.90	5,591.90	25,026.33	11,602.55	21,145.29

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

青島	陝西	熱河	綏遠	察哈爾	雲南	福建	四川
	3	8	4	32	8		58
	1,936.73	4,366.06	1,534.02	18,396.32	4,833.00		31,274.70
						1	
						189.42	
1							
192.00							
			4				
			496.04				
	2						
	345.27						
1							
179.40							
					1		
					198.00		
2	5	8	8	32	9	1	58
371.40	2,282.00	4,366.06	2,030.06	18,396.32	5,031.00	189.42	31,274.70

合 計	北 平
352	2
228,538.30	2,340.54
1	
89.48	
7	
881.41	
3	
576.73	
7	
1,037.54	
4	
743.08	
9	
797.30	
2	
360.78	
6	
877.75	
6	
939.9	
16	
2,016.60	
1	
32.00	
1	
198.00	
3	
664.40	
1	
120.26	
419	2
237,873.54	2,340.54

八 各省民營金屬探礦區及面積之分類總計表（截至二十四年六月底止）

省別	數量	金		鉛		合 計
		區數	公畝數	區數	公畝數	
湖 南	一	一	一,九三九.六一	一	一,六五九.〇三	一
河 北	一	一	一,九三九.六一	一	一,九三九.六一	一
合 計	一	一	一,九三九.六一	一	一,六五九.〇三	三

九 各省民營非金屬探礦區及面積之分類總計表（截至二十四年六月底止）

省別	數量	煤		合 計
		區數	公畝數	
湖 南	八	三,七〇,四一三	一〇	三,七〇,四一三
安 徽	五	九,四〇〇,〇〇〇	五	九,四〇〇,〇〇〇
江 蘇	四	一六,五五四,二五	四	一六,五五四,二五

省別	數量	價值
河 南	四	五五,五〇六
河 北	二	三,七五九
山 東	一	四,四四二.五
山 西	六	六七,七三七
綏 遠	一	四,九四八.九
合 計	三	三三,二五〇.九三

第三目 鑛產出入口數量及價值

一 全國鑛砂出口數量及價值統計表（二十三年度）

國 別	數量（公擔）	價 值（國幣）
比 國	四,九〇二	七二七,八九四
法 國	五,七四一	七九六,六三一
德 國	一四,八五五	一,九七五,八三六
英 國	六,四〇九	八〇〇,八七九

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

二 全國錫出口數量及價值統計表(二十三年度)

國別	數量(公擔)	價值(國幣)
香港	二,一〇一三	二四二,五一八
義國	二,五五四	二八,九五六
美國	一,一八五四	一,五六〇,〇八九
其他各國	一,〇三七	一八二,五四六
共計	四七,〇六五	六,三二五,三四九

三 全國其他金屬礦砂出口數量及價值統計表(二十三年度)

國別	數量(公擔)	價值(國幣)
英國	四八,五三三	一,三三二,六〇二
德國	二,三,九六八	五八一,〇九八
法國	七,二六七	一一六,六八〇
比國	五,三八六	一一二,六九四
義國	一,〇六八	二四,〇七三
日本	四二,八九五	六七八,二八五
和國	一四,六八九	三八四,六六〇
美國	二六,三八六	六二七,三七九
其他各國	九,六五四	二二七,三七七
共計	一七九,八四六	四,一八四,八四八

鐵

品別	數量	價值
鐵	八,五七五,六五六	三,一六一,六三五

四 全國金屬及金屬製品出口數量及價值統計表(二十三年度)

品別	數量(公擔)	價值(國幣)
鉛	八,七〇一	一五,〇四九
錳	一八,七四八	一五,六四二
其他	五,五五八	七一,九九九

五 全國煤(船用煤在內)出口數量及價值統計表(二十三年度)

品別	數量(公噸)	價值(國幣)
錳化舊紫銅	三	一一六
黃銅器	七,三二五	七八〇,七一
錫錠塊	六四,四二四	一四,一七三,三二八
水銀	一,〇一七	四一七,八〇七
生鐵及鐵磚(鑄化山西鐵在內)	五	一九
舊鋼鐵、碎鋼鐵	六五,四六〇	七三,六一二
鐵製品		五〇五,九八八
金器、銀器	六三三公斤	二七,〇七三
未列名金屬及金屬製品		九九四,〇九八

六 全國其他金屬礦砂出口數量及價值統計表(二十三年度)

國別	數量(公噸)	價值(國幣)
臺灣	二八九	一,九四三
德國	一六,〇〇〇	一五七,九六二

英國	香港	日本	朝鮮	菲律賓島	新嘉坡等處	美國	其他各國	共計
五二	四七、六八六	五六九、二七〇	一三八、八八〇	一、四七七	一、五八三	一、二六一	三五、四九八	八一、九九六
三八二	三六八、三九四	四、四四一、八五四	九六〇、六九〇	一三、七三二	一四、〇五一	一一、七六七	三一六、六四〇	六、二八七、四一五

六 全國焦炭煤出口數量及價值統計表(二十三年度)

數量	量(公噸)	價	值(國幣)
	六、五三一		一一七、四二九

七 全國鹽出口數量及價值統計表(二十三年度)

國別數	量(公擔)	價	值(國幣)
日本	一、七七四、三六〇		一、四八五、七六四
朝鮮	三四一、〇七九		二七六、七四五
其他各國	一		二〇
共計	二、一一五、四四〇		一、七六二、五二九

八 全國水泥出口數量及價值統計表(二十三年度)

國別數	量(公擔)	價	值(國幣)
臺灣			
香港			
日本			
其他各國	四、〇八一		六、八三七
共計	四、〇八一		六、八三七

九 全國石、泥土及其製品(磁器、搪磁器在內)出口數量及價值統計表(二十三年度)

品別數	量(公擔)	價	值(國幣)
磚瓦(磁磚及火磚在內)			三〇七、九六七
粗磁器	五〇、三二一		三九〇、八八六
細磁器	一〇、三二一		五五五、七七二
瓦器、陶器	八九、八五一		五七七、二八三
搪磁器			五八、六四一
未列名泥土、砂、石、及其製品			一一、二六二、九四三

(乙) 進口  
一 外洋黃銅及紫銅進口價值統計表(二十三年度)

國別價	值(金單位)	國別價	值(金單位)
英國	五五、六一二	法國	三〇、一六七

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(K) 一六

德國	七五四、二七四	英國	二九三、八一六
香港	九一、六五三	日本	一、〇三〇、二二四
美國	七〇四、四六九	其他各國	一一三、二四六
進口總數	三、〇七三、三六一	復往外洋	六、六四六

二 外洋黃銅及紫銅進口數量及價值統計表(二十三年度)

品別數	量(公擔)	價	值(金單位)
黃銅片板	一〇、六〇五		三八七、五四〇
其他			八〇七、四〇〇
紫銅錠塊(鍍化舊紫銅在內)	一五、三〇〇		四七六、二五三
片板	六、九二四		二五四、二二二
絲	一七、〇七八		五五一、九一〇
其他			五八九、四〇〇

三 外洋錫錠塊進口數量及價值統計表(二十三年度)

國別數	量(公擔)	價	值(金單位)
英國	五七		一〇、二八三
香港	八		九六三
日本	六		八七〇
和屬東印度	五一		九、一五二
新嘉坡等處	九四五		一六七、八六七

其他各國	三	八七七
進口總數	一、〇七〇	一九〇、〇一一
復往外洋	三二	三、八五二

四 外洋鉛進口數量及價值統計表(二十三年度)

國別數	量(公擔)	價	值(金單位)
坎拿大	五、六一八		三八九、八八〇
法國	二二		一、九七三
德國	一、二三九		七七、九七六
英國	六、七一〇		五四一、四〇六
日本	六三九		四四、八三二
瑞士	五八八		五四、四五〇
美國	三九〇		五四、四七五
其他各國	二、〇七二		一三三、〇九六
進口總數	一七、二七七		一、二九八、〇八八
復往外洋	二〇		二、二七八

五 外洋鋁箔進口數量及價值統計表(二十三年度)

國別數	量(公擔)	價	值(金單位)
法國			
德國	一、七六〇		一三〇、六四二

英國	一二二	二,三七一
義國	一	一五一
和國	八	三,五二〇
瑞士	二九	三,〇八八
其他各國	四一	五,〇九一
進口總數	一,八六一	一四四,八六三
復往外洋	九五	一六,四二六

六 外洋未列名金屬礦砂進口價值統計表(二十三年度)

國別	價值(金單位)	國別	價值(金單位)
比國	一,〇七八,九〇七	英屬印度(額在內)	五二六,八〇八
坎拿大	四二二,六二〇	法國	一,一三一,二〇四
德國	一,三八七,三六八	英國	二,一四〇,五四四
香港	二七五,二六七	日本	七六五,八四八
魯生堡	一〇〇,九三一	和國	二二,六五七
美國	一,〇四八,七五六	關東租借地	三九〇,六五九
其他各國	六〇二,三三七	進口總數	九,八九二,九〇六
復往外洋	二〇,四三六		

七 外洋竹節鋼彈簧鋼工具用鋼進口數量及價值統計表(二十三年度)

(年度)

國別數	量(公擔)	價	值(金單位)
奧國	二,二五二		八一,八三五
比國	一三,五七八		八〇,二六二
德國	二二,六一七		三三四,五九二
英國	二二,四九八		四二七,〇〇三
日本	五,二六一		三九,五九六
美國	一七,三三八		一四三,一八九
其他各國	三,八五二		八〇,七六三
進口總數	八七,三九六		一,一八七,二四〇
復往外洋	二一五		一六,〇五〇

八 外洋鋼鐵條段截頭進口數量及價值統計表(二十三年度)

國別數	量(公擔)	價	值(金單位)
比國	一六九,五五八		六三三,四八六
法國	一七,〇六七		六五,四一七
德國	一三,八五一		五二,七一
英國	七,七四六		二五,九三四
日本	二〇,六八〇		八一,五三四
魯生堡	一一,〇一二		四二,九九五
其他各國	一三,七三〇		四九,〇〇七



中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(K) 一八

進口總數	二五三、六四四	九五一、〇八四
復往外洋		五

九 外洋鍍鋅鋼鐵片進口數量及價值統計表(二十三年度)

國別數	量(公擔)	價	值(金單位)
比國	五九、一九一		五九三、三三八
德國	九、六六五		一〇九、一二二
英國	一六、六三六		二二二、五四九
香港	二二〇		二、五七八
日本	一二八、七三三		一、三八二、七三七
美國	一九、〇〇二		二二四、七四三
其他各國	一一、一七八		一一〇、四九〇
進口總數	二四五、六二四		二、六四五、四五七
復往外洋	一		一六

十 外洋鍍鋅鋼鐵管子等進口數量及價值統計表(二十三年度)

國別數	量(公擔)	價	值(金單位)
德國	八、三一五		一六二、六五四
英國	二〇、五二二		三二一、〇三〇
日本	八、五七四		一〇一、八三六
美國	二五、〇一五		三七四、九一八

其他各國	一三、九四一	一九三、三一七
進口總數	七六、三六七	一、一四三、七五五
復往外洋	一二三	三、八七一

十一 外洋鋼鐵絲繩進口數量及價值統計表(二十三年度)

國別數	量(公擔)	價	值(金單位)
比國	一一、九六五		一五二、五四一
德國	三九、五六九		四〇一、七七一
英國	二〇、五三〇		三四五、五六八
香港	一七四		三、二五三
日本	一一〇、八八八		九五三、七一五
美國	八、四七六		九八、九七九
其他各國	四、二九一		五七、九五二
進口總數	二〇六、八九三		二、〇一三、七七九
復往外洋	七八		八一九

十二 外洋馬口鐵進口數量及價值統計表(二十三年度)

國別數	量(公擔)	價	值(金單位)
德國	二四、〇四九		三四四、九一七
英國	一〇七、六六一		一、八二五、三五八
香港	五五六		一一、八二二

十三 外洋未鍍銻鋼鐵片板進口數量及價值統計表(二十三年度)

日本	八、二九五	一三〇、九七一
美國	三〇〇、二三一	四、三八四、八四九
其他各國	一九、二六六	二八九、五〇〇
進口總數	四五九、九五八	六、九八七、四〇七
復往外洋	二九	六六二

十四 外洋未鍍銻鋼鐵軌進口數量及價值統計表(二十三年度)

日本	二〇、四八七	一四一、七六五
魯生堡	一一、三三三	七七、四八二
美國	五一、八八四	四六四、八六七
其他各國	二二、〇二〇	一三八、五五一
進口總數	四八一、四九一	三、一六二、六五六
復往外洋	八七〇	七、五六三

國別數	量(公擔)	價	值(金單位)
比國	四三、九六六		三三二、九八二

十五 外洋未鍍銻鋼鐵管子等進口數量及價值統計表(二十三年度)

法國	二二二、〇七六	二、〇九一、二五三
德國	一一〇、四八三	五八八、一五二
英國	五〇七、六三六	三、四六六、六一六
義國		
日本	五、五二五	三三、四一一
美國	一三一、二八七	三三三、〇三三
其他各國	九五、二七〇	二九七、九二八
進口總數	一、二一六、二四三	七、一三〇、三六五
復往外洋	一、一七八	六、五七三

國別數	量(公擔)	價	值(金單位)
比國	四七七		七、一二六
法國	六、三三七		六三、一九四
德國	一一、五三四		一九五、〇二二
英國	二九、八七六		二九〇、三七八
日本	三四、一一九		二六七、三六三
美國	一七、六二二		二五三、一八八
其他各國	九、八三六		一三七、二一四

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(K)110

進口總數	一〇九,八〇〇	一,二二三,三七五
復往外洋	六一	一,九六三

十六 外洋未鍍錫鋼鐵釘進口數量及價值統計表(二十三年度)

國別數	量(公擔)	價	值(金單位)
德國	五,九一六	六五,四九六	
比國	二,二九〇	二五,四一六	
英國	二,一六〇	二二,五五〇	
香港	三三三三	三,六四〇	
瑞典	二五四	三,九八一	
日本	四,五四三	五〇,一〇七	
美國	六七三	一一,四四三	
其他各國	一,〇八八	一一,七一六	
進口總數	一七,二五七	一九五,三四九	
復往外洋	一九	一七五	

十七 外洋未鍍錫鋼鐵條等進口數量及價值統計表(二十三年度)

國別數	量(公擔)	價	值(金單位)
比國	五九六,五五八	三,〇五一	四〇四
法國	二四,七四五	一一二,一一二	
德國	二七三,三八六	一,四三七	〇一八

國別數	量(公擔)	價	值(金單位)
英國	一八〇,六八九	一,〇五三	九六四
香港	五,二三二	三二,七一六	
日本	一一二,八四二	五二四,三二八	
魯生堡	一九五,九六五	九二四,二八四	
美國	三三二,六九三	一七五,〇九九	
其他各國	四六,五六四	一二五,一八八	
進口總數	一,四六八,六七三	七,五四七	一一二
復往外洋	二,〇二六	九,五六六	

十八 外洋未鍍錫三角鋼鐵等進口數量及價值統計表(二十三年度)

國別數	量(公擔)	價	值(金單位)
比國	一〇二,六〇一	五一六	六〇五
法國	六,一九九	三〇,七四五	
德國	七五,八四四	四三二,五三三	
英國	三三,六一四	二一七,三四三	
日本	一四,〇二五	七四,七二九	
魯生堡	六四,六一八	三三〇,九〇五	
其他各國	八,〇二二	四九,二八九	
進口總數	三〇三,九一三	一,六四二	一三九
復往外洋	三三	二二五	

十九 外 國 煤 油 進 口 價 值 統 計 表 (二十三年度)

國 別	價 值 (金單位)	國 別	價 值 (金單位)
法 國	一四六、六二六	德 國	一四二、九九八
英 國	二六五、二四七	香 港	四七、九八〇
日 本	三七、〇三九	和 國	一八八、七〇八
和 屬 東 印 度	七二、七一三	瑞 士	一〇二、五六三
美 國	三七、六五八	其 他 各 國	四二、七七八
總 數	一、〇八四、三一〇	復 往 外 洋	一、五六九

二十 外 洋 煤 油 進 口 數 量 及 價 值 統 計 表 (二十三年度)

國 別	數 量 (公升)	價 值 (金單位)
英 屬 北 婆 羅 洲	一、二六八	八六
庫 拉 薩 俄 島	三、〇四七、八二四	一、九五五、九五四
香 港	四、三五五	二九
日 本	二、七九二、二七七	一一六、一〇八
和 屬 東 印 度	一、三三六、三九九、四九九	五、七〇〇、五三九
美 國	二、三三四、六四四、四四九	一〇、八六二、八六二
蘇 聯 亞 洲 各 路	六七、〇二八	三、五四一
蘇 聯 歐 洲 各 路	四一、一一五、〇六六	一、七八六、六〇五
其 他 各 國	九、一二、八六一	五、一〇〇、四

總 數	四、五三三、九三〇、七〇七	二〇、四七六、七二八
復 往 外 洋	三、三八一、五二六	二、四四、四七八

二十一 外 洋 柴 油 進 口 數 量 及 價 值 統 計 表 (二十三年度)

國 別	數 量 (公升)	價 值 (金單位)
日 本	四、五二九	一一七、二九二
和 屬 東 印 度	二、五一一、一〇八	六、七五〇、二九〇
美 國	一、一三三、六二二	三、一八三、六一九
蘇 聯 歐 洲 各 口	六、〇一三	一一九、一二五
其 他 各 國	三、四二、八二七	六七〇、一八六
進 口 總 數	四〇、九、五四九	一〇、八五〇、五二二
復 往 外 洋	八、五五	二、五四七

二十二 外 洋 汽 油 石 腦 油 扁 扁 油 進 口 數 量 及 價 值 統 計 表 (二十三年度)

國 別	數 量 (公升)	價 值 (金單位)
英 屬 北 婆 羅 洲	七、五七一	八九七
香 港		二
和 屬 東 印 度	九一、〇四八、九六四	五、八二五、〇二二
美 國	四八、八一五、三九三	三、四三三、一〇四
蘇 聯 亞 洲 各 路	五、八、五八五	一七、六八八

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

二十三 外洋煤(煤磅在內)進口數量及價值統計表(二十三年度)

蘇聯歐洲各口	六,六〇二,七二二	三六六,四二六
其他各國	三,一五〇,三三二	一九二,八九四
進口總數	一五〇,二一四,五六六	九,八三六,〇三三
復往外洋	八四,二五六	六,五九八

二十四 外洋地氈青進口數量及價值統計表(二十三年度)

英國印度(緬甸在內)	六三,三二〇	五三三,一六六
臺灣	三六,七四〇	一八二,四一〇
安南	二六九,三五九	一,五四七,三九九
香港	三,六〇二	二五,九三九
日本	二八四,八六二	一,三六四,一五八
和屬東印度	七一,六八五	五二二,四七七
蘇聯亞洲各路		
關東租借地	三三〇,五二九	一,二二〇,六三七
其他各國	七八,四〇七	三七二,〇八五
進口總數	一,〇三八,四九四	五,六五八,二六五
復往外洋	五八	五四三

英國印度(緬甸在內)	五,一八二	二五,八一七
------------	-------	--------

二十五 外洋水泥進口數量及價值統計表(二十三年度)

埃及(英埃蘇丹在內)	五〇,二〇四	一一二,六五九
日本	三〇,八一〇	六八,三〇八
和屬東印度	五	七七
美國	四六,五七六	一九一,五三二
其他各國	一,〇四四	四,一一九
進口總數	一三三,八二一	四〇二,五二二
復往外洋	八九二	三,五七一

英國別數	量(公擔)	價	值(金單位)
安南	三二一,五四二		五三九,四五八
香港	一〇三,九〇一		一六三,一八七
日本	二六三,三三二		二〇三,八〇一
朝鮮	五		四
澳門	一三,九二四		二二,九六四
蘇聯歐洲各口	二七		二二
關東租借地	四九,二四〇		三九,〇三四
其他各國	三六,二〇三		六七,七二〇
進口總數	七八八,一七三		一,〇三七,一八九
復往外洋	一〇九		二三一

第四口 各重要城市煤炭業近況

(一) 南京市

京市年來因戶口逐漸增加，故煤業亦隨之而發達，截至最近止，全市煤炭行大小共有二百餘家，煤業以生泰恆、華興、同盛源、元興等數家資本為最雄厚，約在三萬元以上。以上數家均經營批發生意，攜資赴各產煤省份向各礦公司直接購買煤斤，運京批發。旅行最大者，均在本京水西門外，如福復隆、仁和、衡源、恆泰、興元和雷鴻記等數家，均經營批發。但炭之來源與煤不同，煤係由本京大煤商直接向外省訂購，炭則由客商運來本京，售入各炭行，再由各炭行批售與各煤炭店。

煤分白煤與烟煤兩種，本京所售者，其來路有數十家之多，但其銷量最大者，白煤則以安南之紅崎、河北臨榆縣之柳江、河南之中福、安徽之烈山等礦為最多；烟煤則以山東嶧縣之中興、天津之開灤、江蘇之華東、安徽大通等煤礦為最多。白煤分塊末兩種，其價格不相上下，當視其煤質優劣而定。以目下時價論，大約柳江塊煤每噸十六元，紅崎末煤每噸十五元，中福煤價格較大，每噸約二十三元上下。烟煤亦分塊末兩種，其價格均較白煤為低。如華東煤每噸十元，開灤每噸十一元，大通每噸九元。末炭亦分黑炭、銀炭兩種，黑炭每擔最低價二元，銀炭每擔最低價一元四角。

全市每月煤之銷量約二萬噸，全年約可銷二十餘萬噸，價值三百餘萬元，以烟煤銷量較多；至木炭之銷量，在民國以前每年約銷三十萬擔，近年銷路銳減，僅二十萬擔左右，其減少之原因，約有下列數端：(一)有煤以後，人民均以煤代燃料；(二)本京在未實行烟禁以前，本京烟館極為發達，各烟館燒煮鴉片及燒茶水，均係採用木炭，每年所需之量頗有可觀，自實行禁烟後則減少一用途；(三)綬業及帽業本京在以前素稱發達，所有烘綬、烘帽均採用木炭，現該兩業已一敗塗地，故

木炭又減少一用途也。

(二) 蕪湖

(1) 銷數

(甲) 烟煤

開灤烟煤	二七、〇〇〇噸	中興烟煤	二、〇〇〇噸
大汶口烟煤	四、〇〇〇噸	大通公司烟煤	五、〇〇〇噸
淮南烟煤	八、〇〇〇噸		
合計	四六、〇〇〇噸		

蕪湖全年輸入烟煤約四萬九千噸，其中由蕪湖轉輸安慶者，計有開灤煤五千噸，由蕪湖轉輸合肥者，計有開灤煤一千五百噸，其餘就地由蕪湖銷售，其主顧如次：

(子) 輪船銷數

開灤煤	六、〇〇〇噸	大汶口煤	一、〇〇〇噸
大通煤	一、〇〇〇噸	淮南煤	四、〇〇〇噸
合計	一二、〇〇〇噸		

(丑) 明遠電廠銷數

開灤煤	四、〇〇〇噸	大汶口煤	二、〇〇〇噸
合計	六、〇〇〇噸		

(寅) 裕中紗廠銷數

開灤煤	五、〇〇〇噸	大通煤	一、〇〇〇噸
合計	六、〇〇〇噸		

(卯) 碾米廠銷數

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(K)二四

開灤煤 二,〇〇〇噸

(辰)蕪乍鐵路銷數

淮南煤 三,〇〇〇噸

(巳)其他工廠銷數

開灤煤 五,〇〇〇噸

大汶口煤 一,〇〇〇噸

合計 九,五〇〇噸

(乙)柴煤

饒頭山柴煤 五,〇〇〇噸

合計 一二,〇〇〇噸

(2)煤價(每噸)

開灤飾塊 一四,〇〇〇元

開灤一號屑 一一,五〇〇元

中興統煤 一七,〇〇〇元

大汶口統 一二,〇〇〇元

淮南統 一一,五〇〇元

繁昌柴煤 八,〇〇〇元

煤球 一七,〇〇〇元

饒頭山柴煤零售每元一百四十斤,洪基柴煤零售每元百斤,煤球零售每元九十五斤,洪基年銷七八百噸。

開灤煤及中興煤二十二年度上半年煤價較下半年高一元,上列價值為年底之市價。

開灤洗煤 一三,〇〇〇元

開灤二號屑 一〇,五〇〇元

大汶口屑 一一,五〇〇元

大通統 一一,五〇〇元

饒頭山柴煤 一〇,〇〇〇元

洪基柴煤 一六,〇〇〇元

淮南烟煤浦口實價為每噸九元一角五分,浦口至蕪湖水脚每噸一元五角,小輪燒火工人每噸燒火費二角,煤船在蕪湖九九交貨每噸損失約一角。開灤煤師生泰恆煤號一家包銷,其他煤號向生泰恆購貨,較市價減少五角,而由生泰恆運至煤廠,每噸須推力五角,故各煤號非至缺煤時,不代銷開灤煤。開灤洗煤可供打鐵之用,蕪乍路用淮南飾塊,在浦口交貨,每噸十一元左右。大汶口烟煤揮發物成分頗高,易於起火,輪船及廠家均能適用。水東煤礦自商辦後,迄未開採,就過去經驗而言,燒開灤煤一百噸,祇需燒水東九十噸。中興焦煤每年約銷四百五十噸,每噸市價三十七元八角,最高時曾至每噸五十餘元。經售者有三四家,因成本太大,銷數甚微,但每噸獲利可達六七元。饒頭山柴煤火焰高而起火速,繁昌柴煤石夾重而火力小,惟底火尚好,故煤堂樂於購用。

繁昌柴煤水大時運至蕪湖,每噸水脚一元,水小時須過潑船,每噸運費須洋二元。常年冬季煤價可提高一元,今年因滯銷未加價。煤號進煤英噸,出煤用公噸。經營此業者,烟煤每噸可獲利五角,柴煤一元。銷售烟煤者有六家,柴煤二十餘家。蕪湖有煤鐵業同業公會之組織。

民國十四年煤源斷絕,開灤煤每噸曾漲至二十四元,水東漲至每噸二十元,然不數月即又跌落。十九年開灤洗煤在蕪湖市價約十七元八角,中興烟煤每噸十三元,水東烟煤十三元四角,此時淮南尚未出煤,大通煤亦未銷到蕪湖。

水東煤礦用土法開採,曾出煤三四百噸,作輕便鐵道用。最近售出數十噸在雙橋交貨,每噸十元;據煤業中人言,水東煤價在蕪湖應與開灤一號屑價格相同。

(三)安慶

安慶銷煤,柴煤、烟煤每年各約五千餘噸。柴煤來自貴池縣之饒頭山,其來自

懷寧縣之集賢關者，爲數甚微，不及百分之二，烟煤以開灤煤爲大宗，每年約五千噸，全部銷於電燈廠；此外樂平及淮南烟煤，亦由煤號購運來省，惟銷數甚微，每年共約三四百噸，全部銷於小輪船。茲將各處煤列左：

**饒頭山柴煤** 由本埠安慶湧興德煤號等包銷，每月約四百餘噸，該煤號等去歲向饒頭山協記訂購之煤，在下江口河邊交貨，每噸七元，由下江口至安慶水脚每噸一元四角左右，安慶河邊至煤站起力每噸五角三分，現在安慶每噸售價九元，零售每元一百五十斤。最近饒頭山協記煤礦，以存煤約達三萬噸，經濟上週轉不靈，與義泰興煤行訂約銷售六千噸，每噸煤價五元六角，在下江口河邊交貨，此項堆存之煤，灰分極重，約達百分之四十，故安慶各煤號所訂之煤，概須以井下新出之煤交貨。

**集雲關柴煤** 目前產量不多，間有工人以人力車推送來城，廉價售與各煤號或直接售與銷戶，惟爲數甚微。

**貴池縣穿山無烟塊煤** 運來銷售煤價，在小河邊交貨，每噸十三元半，（由礦山至小鐵路車站，挑力每噸約一元二三角，小鐵路運費每噸約三四角，小河至大河盤端用費每噸一元至三元，均歸賣主負擔）由小河邊運至安慶每噸水脚一元七八角，安慶上棧力每噸五角三分，送力每噸一元二角，現在安慶市價每噸廿一元，銷量甚微，每年約三百噸左右。此煤大都銷於酒坊、糟坊及燒火爐之用。

**開灤特屑** 電燈廠向蕪湖生太恒煤號直接訂購，蕪湖每噸作價十三元一角，蕪湖至安慶每噸水脚一元五角，故在安慶河邊交貨議定每噸十四元六角。該廠冬季每月燒煤約五百二十五噸，夏季每月燒煤約三百六十噸，每次向蕪湖購煤約二千噸至三千噸。

**鄱樂統煤** 在安慶每噸市價十九元餘，由九江運至安慶水脚每噸一元四

角，因起火甚快，小輪樂於購用，惟煤價太貴，小輪往往向九江或蕪湖購買，在安慶不敷用時，始添購少許，故銷數至爲有限，並淮南塊煤計之，每年共計約銷三四百噸。

**淮南塊煤** 在安慶每噸市價十五元三四角，浦口每噸售價十一元餘，小火輪拖運安慶每噸水脚三元餘，各煤號難於獲利，銷數甚微。

**開灤煤價難賤**，以係大批買賣，每船至少運來二千噸，安慶所銷烟煤，除電燈廠直接接在蕪湖訂購外，每年尚不及四百噸，故各煤號多不進開灤煤。

**安慶煤號共約十家**，組有煤業同業公會，每月經費約二三十元，由各煤號攤派。

在安慶經營煤業，不但獲利甚微，抑且放出之賬難於收取，故各煤號皆取緊縮政策。

#### (四) 武漢

##### (1) 來源

武漢烟煤，二十二年度約銷四十五萬噸，柴煤二十二年度約銷二十萬噸，其來源如次：

(甲) 由平漢鐵路南運者

六河溝煤礦烟煤

五萬二千四百餘噸

怡立煤礦烟煤

三千四百餘噸

中和煤礦烟煤

八千五百餘噸

臨城煤礦烟煤

七千噸

井陘烟煤

一萬一千九百餘噸

此外由平漢鐵路運漢口者有六河溝及磁縣焦煤四萬五千一百餘噸，又山



中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(K) 二六

四河北、河南各省無烟煤一萬四千四百餘噸。

(乙) 由湘鄂路北運者

萍鄉烟煤 約四萬噸

醴陵烟煤

約四千萬

(丙) 輪船由長江下游運來者

日煤(烟煤) 三萬餘噸

開灤烟煤

七萬餘噸

大冶柴煤 約十三萬噸

(丁) 民船由湖南運來者

烟煤 約十一萬噸

柴煤

約七萬噸

二十二年度總共運漢口烟煤約三十四五萬噸，柴煤約二十萬噸，無烟煤約一萬四千四百餘噸，焦煤四萬五千一百餘噸。

(2) 銷場

(甲) 烟煤

水電廠及各電廠

約十一萬二千噸

紗廠

約七萬噸

麵粉廠

約八千噸

兵工廠

約三萬四千噸

六河溝鐵廠

約三千六百噸

英美烟廠

約一萬七千噸

磚廠

約一萬一千噸

油廠

約一萬噸

蛋廠

約一萬四千噸

染廠

約一萬一千噸

輪船

約八萬三千噸

其他

約三萬二千噸

開灤六河溝二十一年度存煤在十萬噸以上，雖二十二年度銷數超過來源，而漢口似有存煤也。

(乙) 柴煤

每年約銷二十萬噸，大冶富源、富華兩礦，約佔銷場三分之一，湖南約佔三分之一，其餘三分之一來自大冶各土礦。

(丙) 焦煤

六河溝煉鐵廠，每年銷焦煤四萬二千噸，其中一半係萍鄉焦，一半係六河溝本礦之焦，漢兵工廠每年銷焦約六七千噸，全係萍焦。

(丁) 無烟煤

漢口銷無烟煤不多，每年約二萬噸左右，大多數來自河南中福煤礦，山西及河北周口店坨里等處，僅佔十分之二一。

(3) 最近煤價(每噸)

萍礦統煤 一〇·五〇元

萍礦洗塊 一一·五〇元

六河溝統煤 一二·五〇元

臨城 一二·〇〇元

中和 一一·五〇元

怡立 一二·〇〇元

開灤塊煤 一三·〇〇元

開灤洗煤 一四·〇〇元

開灤一等末 一二·〇〇元

湖南烟煤 八·〇〇元

大冶富源柴煤 九·八〇元

湖南柴煤 八·〇〇至九·〇〇元

萍焦 一九·〇〇元

六河溝焦 二二·〇〇元

無烟煤 一四·〇〇元左右

(五)杭州

販賣商號	商號	地址	銷場	二十二年		二十三年	
				販賣噸數	每噸價值(元)	販賣噸數	每噸價值(元)
劉德昌煤號	直大方伯		本市	九七〇	一八一二六	八五〇	一七一二五
寅盛煤號	新南路永寧橋		本市	一、二四〇	一八一二六	九九〇	一七一二五
信成煤號	萬安橋北河下六號		本市	一、四〇〇	一八一二六	一、四〇〇	一七一二五
義泰興煤號	新橋巷口		本市	一、四七〇	一八一二六	一、三六〇	一七一二五
乾康煤號	金鷄嶺		本市	一、四七五	一八一二六	一、三六三	一七一二五
同盛煤號	東街路橫河橋		本市	一、四八五	一八一二六	一、三三三	一七一二五
仁記煤號	新橋東塊		本市	一、五一三	一八一二六	一、四五〇	一七一二五
鼎昌煤號	東街路		本市	一、五四〇	一八一二六	一、六九〇	一七一二五
永興煤號	察院前		本市	一、七九五	一八一二六	一、五八五	一七一二五
永盛煤號	菜市橋花燈巷		本市	一、九一六	一八一二六	一、七六〇	一七一二五

(六)上海(二十三年份)

日本煤	二六〇、八〇〇噸	撫順煤	一八二、〇〇〇噸
淄博煤	五三七、二〇〇	開灤煤	一、二五九、一〇〇
安南煤	一三二、四〇〇	山西煤	一九七、七〇〇
中興煤	三九三、七〇〇	其他煤	三六五、九〇〇
合計	三、三二八、八〇〇噸		

(七)廣東(二十三年份)

開灤煤	二〇、〇三噸	印度煤	八六、六三二噸
海防煤	二九、九四八	荷屬南洋煤	二一、四〇七
南非洲煤	一、五六七	撫順煤	八八〇
華北煤	二四、四六一	兩廣煤	七六、三四〇
其他	三三一	合計	二六一、五六九噸
廣州煤價(以香港幣元為單位)			
開灤二號塊	一五、二五	開灤一號末	一一、二五

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(K)二八

開灤粒	一四·七五	印度塊	一七·七五
印度粒	一七·〇〇	印度末	一五·五〇
荷屬南洋煤	一七·二五	荷屬南洋末	一四·〇〇
博山塊	一五·七五	博山末	一一·五〇
本省煤(毫洋)	一五·〇〇		

(八)長沙(每噸以元爲單位二十三年份)

柴煤	七·六〇	白塊	一三·二〇
焦煤	一二·四〇	油煤	九·六〇
鐵煤	一〇·五〇	銅煤	一五·三〇
塊末	八·六〇		

(九)鄭州

煤別	整批每噸價值	零售價值
焦作煤末	七·〇元	每元二〇五斤
鍋爐碎	一五·〇元	每元一五〇斤
二三號碎	一六·〇元	每元一一〇斤
煤球	一六·〇元	每元一一〇斤
榮陽及密縣煤		每元二五〇斤

(十)甘肅

平涼

煤別	價值
嵐炭焦炭	二·〇元

煤	別價	值
上炭	每百斤	二·〇元
次炭	每百斤	一·七元
下炭	每百斤	一·五元
煤屑	每斗	二·五元
煤塊	十三塊	一·〇元

蘭州

煤	別價	值
無烟炭	每百斤	〇·九元
南炭(焦炭)	每百斤	一·〇元
煤塊	百塊	二·〇元
煤末	每斗	一·一元

第五目 全國各鐵路礦產品運價及運輸數量

一 最近三年礦產品鐵路運價及其減低

(一)煤焦

(1)膠濟路 向分出口內銷兩種，內銷運價由博山至青島三四五公里，每噸每公里爲〇·〇一三二八元，出口運價里程相同，每噸每公里爲〇·〇〇八一二元，較內銷低約三分之一。民國二十一年因受外煤傾銷壓迫，煤銷不振，該路訂定回扣辦法，呈核施行，凡屬出口煤焦，均給二成回扣，內銷則給一成，試行至今，礦商均感便利。

(2)平綏路 民國十八年鐵道部制定運送晉北煤斤遞遠遞減專章：

一百公里以內	每噸公里	〇・〇一〇二四八元
一百公里以上	每噸公里	〇・〇〇九五六一元
二百公里以上	每噸公里	〇・〇〇八七八四元
三百公里以上	每噸公里	〇・〇〇八〇五二元
四百公里以上	每噸公里	〇・〇〇七二三〇元

民國二十四年重行核定，由口泉平旺至豐台晉煤出口特價計有三種。分述

如次：

(甲) 整車煤運內銷特價

一公里至一〇〇公里	每噸公里	〇・〇二二三一元
一〇一至一五〇公里	每噸公里	〇・〇二一七五元
一五一公里以上	每噸公里	〇・〇〇八九二元

二十三年七月修訂運費，又准按照新訂六等運費，給與減折，計

- 一五至二〇〇公里 減 一〇%
- 二〇一至三〇〇公里 減 二〇%
- 三〇一至四〇〇公里 減 二五%
- 四〇一以上 減 三〇%

(乙) 出口晉煤特價 民國十八年訂口泉平旺大同至豐台，每噸收費四元七角，二十二年二月改收三元七角。

(丙) 平門支線煤運特價 民國十八年訂平門支線各站至北平環城各站及豐台，每噸收費一・一五元，二十三年十二月改爲至環城各站至豐台一・一〇元，至西直門一・〇〇元。

(3) 平漢路 民國二十年以前，適用舊三十二款，及每噸每公里〇・〇〇六八二五元，及其他特價甚爲混亂，二十二年改訂新三十二款運費，全路各鐵一體適用，新款與舊款相較，除一百公里以內，仍舊未改外，一百公里以上者，均減二三成不等，其出口之煤又減一成，最近又將出口特價再減一成，在二十二年十二月鐵部又將新三十二款特價折扣改爲內銷九折，出口八折收費，以前規定漢口爲出口站，現增加北平及豐台爲出口站。

(4) 道清路 原定按平漢新三十二款特價收費後，因普減運費乃改按新訂運費六等收費，並於六・七・八等三個月內另訂淡月特價，照六等運費減百分之十，本年復准將夏季減價辦法，提前一月，——自四月一日起實行，其經由平漢路運至漢口出口者，按該路新三十二款八折收費，僅收四元八角，較平漢之普通六等費，每噸十四元九角低三分之二強。

(5) 湘鄂路 本路沿線所產烟煤及柴煤運費各異，產柴煤之地，如峽山口青山埠，以及蒲圻等站，開採多係土窰，煤質亦劣，不能按普通運費收費，民國二十年變更煤焦運費，提高短途運費時，對於青山柴煤，按短途運費七折收費，峽山口柴煤水漲時，可由水道運銷長沙，水涸時則由鐵道運輸，接照青山口柴煤特價先例，訂定特價，運至長沙附近各站，每噸約收一・九一六三至一・九四三二元，較原運費減低百分之十七。

二十三年又將萍峽等站柴煤運至鮎魚套者，減爲每噸每公里收費〇・〇〇七〇。蒲圻柴煤煤質甚劣，凡整車裝運武漢者，按照現行普通運費，核減百分之十五。由蒲圻至徐家棚，每噸收費一・五四二三元。

萍鄉安源峽山口醴陵各地所產之烟煤及焦炭，初按普通運費九折收費，二十二年四月改爲長途八折，短途九折，同時又訂煤焦運輸回佣辦法，訂約之鐵礦



浦		津			寧		北				漢					
總	東	山	蘇	徽	安	總	北		河		總	南		北		
	寧	嶧	賈	烈	淮		臨	灤	開	唐		六	磁	光	周	
計	陽	縣	旺	山	南	榆	秦	朱	卑	古	開	豐	六	馬	光	周
南	縣	柳	符	蚌	秦	皇	各	灤	家	冶	平	樂	河	頭	祿	口
計	莊	泉	集	埠	島	莊	縣	店	冶	平	山	鎮	溝	鎮	鎮	店
七九,九四九	三,七五五	五八,七〇一	九,五七〇	三,四六六	二七,八三三	九〇,六〇〇	—	—	—	七〇,六六九	一六,三九七	四〇,九七三	二五,〇三六	三九,二五二	二九,一〇五	五,四〇〇
二六,七五一	二,四七〇	九〇,三〇〇	三,四六六	四,九五〇	一六,六五五	七,七三三	—	—	—	—	—	二六,〇七五	三〇,八〇〇	六,一五五	七,〇〇〇	—
二四六,六三三	七〇〇	九六,三二六	九,七七七	九,六二五	三〇,八三三	三三,四五四	九〇〇	—	—	二二,三五〇	四,三三六	二四,五五五	九,八八五	四,一〇〇	八,四〇〇	三〇〇
一三〇,八七九	一,四〇〇	八二,三六八	一三,八八八	八,八七三	二五,四〇〇	五九,一〇〇	一,四一〇	—	—	四〇,五三七	五,九七〇	天,七三五	三三,三〇〇	三,三三〇	六,天〇〇	六,三二五
三二,一八九	三,八九〇	八二,九四六	一四,〇〇五	五,九三三	二五,八五五	四九,〇〇六	—	—	—	三〇,二四九	三,三〇八	八三,八五五	四,六九五	三,四九〇	一八,五五五	九,二二五
二〇,八六四	三,三七五	七,三三三	九,五五〇	四,五六一	二,二二五	六六,九八八	—	—	—	二四,五四五	三,七六七	六,〇九五	二五,四七五	三,六二〇	八,五四五	八,九五五
三三,〇六五	四,〇〇〇	七,七九〇	三,三九〇	七,六六六	二四,七〇〇	三〇,三五四	—	—	—	三六,六六九	三,七三六	八,七五三	五九,六六七	五,九〇〇	二,六五〇	一〇,二五五
一,五七四,六九九	二,六五〇	一〇,一六三,三三三	一六,二二六	七,九二九	二二,三三九	三,二六四,四五	一,四一〇	八〇	—	一,六四一,七九九	四,三三四,七	七,五二〇,九〇〇	四〇六,八九八	六,三三三,七	九〇,七五五	七,七〇〇

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

綏		平					濟		膠										
總	遠	綏			山	爾哈察	北		總	東									
		山	青	大	晉北	宣化	苑	河		博	淄		邱	章		濰			
計	板	積	薩	陶	察	口	下	新	門	三	博	大	慶	南	棗	明	普	王	坊
二五,四九五	九五	三三	三〇〇	三三三	一七五	一四三三	三,一八九	二二,四六五	一〇五,六六五	六,六三〇	七六,五五八	三,七五,五〇〇	一〇六,一三五	二四,四三三	四〇〇	一,五〇〇	八,〇〇〇	二,九〇〇	一七,五五五
三,三,一〇〇	—	—	—	—	—	四〇	五〇	三〇	一八,一三三	八〇	二四,二二五	六七,六五五	一五,九五	三,七〇,〇〇〇	—	一〇〇	一,六五五	三〇〇	一,〇,八〇〇
三,元,二五	—	—	一〇〇	三〇	—	三,二九〇	一,八七五	一,元,八五	三,三〇〇	三三	一三,四〇〇	六,九〇〇	三〇,五五五	三,六,〇〇〇	六〇	一〇〇	六〇	二〇	三,〇,五
五,四六元	—	—	—	—	—	二元,四九	五,〇〇〇	二,九〇	一八,五〇〇	四九	二元,七〇〇	六,七〇〇	三,八,〇〇〇	元,三三三	—	—	八五	五〇	三,五,六〇〇
六,六六	〇	〇	—	〇	—	三,〇四六	六,三〇〇	二,〇〇〇	六,五〇〇	一,〇〇〇	二元,五五	六九,五〇〇	三,二,〇〇〇	六,六,〇〇〇	六	三五	一,五五五	五〇	四,七〇〇
八,三,四〇〇	—	—	—	—	—	三,八〇〇	三,一〇〇	三三	四〇,八〇〇	三,一三	一六,一六	五,二,六五	三,三,〇〇〇	四〇,九三三	三〇	五五	一,六〇〇	三〇〇	七,三三
六,七,六六五	四〇	—	—	—	—	二七,四〇〇	三,一七〇	三,〇〇〇	五〇,八〇〇	三,一三五	二四,〇〇〇	六六,五九〇	三〇,五〇〇	二,四〇〇	一八〇	一,一〇〇	二七,五	四〇〇	五,三五
六,〇,五五	一,一〇	—	—	—	—	二五,二〇〇	四〇,七六	三,八八	二四,八八	一五,九	一,五七,六六	七,四七五	一四〇,三三	六,四三〇	四六五	三,九五五	一七,六五	四,九二〇	四,三五〇

道		大 正				海 隴											
河		總	北 河		山	總	南					隴			河		
管)		修 博	井 陘		平 定	縣	陝		灑	新		隴		榮 陽			
柏 山	常 口	李 封	李 河	南 河	鳳 山	陽 泉	寶 魚	硤 石	觀 音	英 豪	義 馬	鐵 門	新 安	黑 石	孝 義	隴 縣	榮 陽
四,二七五	三,〇三三	五,一七二	三,四八〇	七,〇七〇	三,九,〇七〇	二,一,七五五	三,三,六五五	〇,二,〇〇〇	一,四,一八〇	一,四,〇四〇	四,〇九八	八	一,九〇	八,一四〇	七	一六,三九八	二,六五五
一〇	三,五三三	三,三三三	六,七,三九	一三,三三六	五,七,四〇五	一七,一〇〇	六,三三六	—	一,二二五	一〇	一七	—	一〇〇	四	—	一,〇〇〇	四〇
二六	八,四九四	七,九三三	七,九六〇	一五,六六三	六〇,〇五五	一,一九〇〇	四,六三三	—	六,七〇	四	三六〇	—	七〇〇	三〇	—	一,一四五	三,四〇〇
一五	二,八八四	二,一八五	五,七,〇三	一四,三三六	六四,六〇〇	三,七,八七〇	六,九六	—	一,六二〇	四	四,五	—	一,〇〇	一,三三〇	—	五〇	三〇
四〇	二,三,六七	二,一,二六	五,七,三九	一三,七,一四	四四,六〇〇	二四,三〇〇	一〇,二九	—	一,七〇	—	四,五	—	五〇	一,一〇	—	四,一〇〇	三,四〇〇
四二	二,七,九五	一,四,四七	一四,六九五	一三,二,五五	三六,八七五	一四,三〇〇	一五,六三六	—	一,五七〇	—	四,五	—	三〇	一,七,一〇	—	一,〇,五	一,四〇〇
二七	一,七,三六	一,三,八四	八,四,三二	二六,五五	四,五五	一八,三五	三,〇〇八	—	一,五七	—	四〇	—	三〇	一,四,一七	—	三,四	四〇
六,三三	二,八,四九	二,三,三九	六,〇,八七	二六,五五	五,四,七五	三,六,一五〇	一,三,〇,四七	—	三,四九	—	六,三,四〇	—	二,四〇	一,四,三六	—	三,五,四〇	四,八,八











中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

平		濟		膠		浦		津		寧				
遠綏	西山	察哈	北河	總	東	山	總	東	山	蘇江	徽	安	總	北
(烟)	(烟)	(烟)	(烟)	(烟)	(烟)	(烟)	(烟)	(烟)	(烟)	(烟)	(烟)	(烟)	(烟)	(烟)
大(烟)	大(烟)	宣(烟)	宛(烟)	博(烟)	淄(烟)	章(烟)	寧(烟)	嶧(烟)	賈(烟)	烈(烟)	淮(烟)	秦(烟)	秦(烟)	秦(烟)
素齊	口	新	門	大	南	園	南	棗	柳	符	蚌	共	共	皇
公積板	泉	花	頭	崑	定	莊	驛	莊	泉	離	埠	共	共	島
一,九〇〇	三〇〇,六〇〇	五,八〇〇	四〇〇,〇〇〇	七,七〇〇	二,一〇〇	三〇〇,〇〇〇	九,九〇〇	五,七〇〇	二,一〇〇	三,〇〇〇	一,七〇〇	四,〇〇〇	七,七〇〇	七,七〇〇
七	三,七〇〇	五,二〇〇	三,五〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	四,五〇〇	八,九〇〇	一,九〇〇	五,二〇〇	二,〇〇〇	三,〇〇〇	四,〇〇〇	七,〇〇〇
一〇	二,五〇〇	七,八〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	五,三〇〇	四,〇〇〇	二,九〇〇	四,〇〇〇	三,八〇〇	三,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇
〇	五,〇〇〇	七,八〇〇	三,七〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	五,七〇〇	四,〇〇〇	一,九〇〇	一,〇〇〇	二,九〇〇	三,〇〇〇	四,〇〇〇	六,〇〇〇
一,〇〇〇	三,三〇〇	四,四〇〇	六,〇〇〇	三,七〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	六,八〇〇	四,〇〇〇	一,九〇〇	一,〇〇〇	二,九〇〇	三,〇〇〇	四,〇〇〇	一,三〇〇
七	三,三〇〇	九,四〇〇	八,〇〇〇	三,七〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	七,三〇〇	四,〇〇〇	一,九〇〇	五〇〇	三,三〇〇	三,三〇〇	四,〇〇〇	一,七〇〇
一〇,一三〇	三,六〇〇	四,八〇〇	七,〇〇〇	三,七〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	七,三〇〇	四,〇〇〇	一,九〇〇	五〇〇	三,三〇〇	三,三〇〇	四,〇〇〇	一,七〇〇
五,四三三	六,〇〇〇	九,〇〇〇	七,〇〇〇	三,七〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	七,三〇〇	四,〇〇〇	一,九〇〇	五〇〇	三,三〇〇	三,三〇〇	四,〇〇〇	一,七〇〇



中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

四 二十二年各路用煤數值與煤田之關係

鐵路	機車行駛	耗煤公噸數	耗煤值洋元數	平均每公里	平均每公里耗	平均煤價	起運煤斤	經過煤田
	公里數			耗煤公噸數	煤價洋元數			
平漢	九,八〇七,一九七	二,三三,三三三	七九,七六三	〇.〇三七四	〇.〇八三五	三七.〇三	七二,一〇〇	房山, 磁縣, 六河溝
北寧	一〇,八七,三四	一四,一五三	四四,〇七一	〇.〇二六三	〇.〇四七〇	三一.〇七	三,三六,四五	開灤及臨榆
津浦	九,八五〇,五六一	一八,六六六	九五,九四四	〇.〇二九五	〇.〇九〇〇	四九.五八	一,五五,六九	淮南, 烈山, 賈旺, 嶧, 寧陽
京滬	四,五五,五五八	一〇〇,一五五	一,一四三,〇三三	〇.〇三三四	〇.二二三四	一一.四〇		
滬杭甬	二,一四,四〇〇	四一,〇四八	五七六,八七七	〇.〇二九三	〇.二二八五	一四.〇五		
膠濟	六,二五,九〇〇	一〇六,九五五	七三,八四四	〇.〇七四三	〇.二二九三	六六.六九	一,五七,一六三	淄, 博, 章, 濰
龍海	二,九五,九二三	八五,六六七	六五,五五五	〇.〇三六九	〇.三三九	七四.三三	六,九五	河南之永, 鞏, 偃, 新, 濰, 陝等縣
平綏	七,二五,七三三	一五七,八五五	五三四,九三三	〇.〇三〇四	〇.〇七三三	三三.三四	六〇,三七三	宛平, 宣化, 晉北, 大青
湘鄂	一,七四,七七七	五三,二九二	三六,六五三	〇.〇三〇九	〇.二二六	七.五八	三四,三七	醴陵, 萍鄉
南潯	五,八,五五九	一一,三〇九	一八九,七四四	〇.〇三三七	〇.三三六〇	一五.五五		
正太	二,六〇,三七六	三五,四〇一	一六,四四〇	〇.〇二五八	〇.〇六八五	四.七〇	一,五七,八九	平定, 井陘
道清	五五,九二二	一一,四七三	九,〇〇八	〇.〇二九三	〇.二六八三	八.六六	八六,四三	修博, 晉城
粵漢南段	一,三五,五〇〇	三〇,七三三	五,一七五	〇.〇三七三	〇.四九〇三	一八.九八		
廣九	七四,二八〇	一四,一五〇	二六,一二五	〇.〇二六九	〇.三〇七	一八.九元		
共計	六〇,八三,五六六	一,一七,〇五五	七,四四,六七三	〇.〇二九四	〇.二七五〇	二二.六元	一〇,四九,〇元	

五 膠濟及津浦兩路礦質起運噸數表  
膠濟路

	民國二十年	民國二十一年	民國二十二年
煤	一、三七二、二二一	一、二二二、六三〇	一、五三七、四六三
焦	四一、一七三	二九、九八五	二八、八八五
石灰	一一、三八五	一〇、四七〇	一八、〇六一
石料	九六一	九九〇	六七五
泥土砂	八、八〇七	四、二三〇	一一、一四八

津浦路

	民國二十年	民國二十一年	民國二十二年
煤	三、四七、九二一	四、四九、三三七	七、八三、二二五

第六目 各省礦產最近調查及已知產銷概況

一 廣西省礦產概況

(1) 全省礦產種類 照現在礦務局調查所知者，計金屬礦有金、銀、銅、鐵、錫、鉛、銻、鉍、鉬、又水銀等十二類；半金屬屬有銻、砒等兩類；非金屬屬有煤、石油、硫磺、石棉、雲母、石膏、水晶、大理石、高嶺土等十類。若照需要上分類，則煤、石油、鐵是屬於國防礦，金銀是屬於貴金屬礦，銅、鉛、銻、是屬於日用金屬礦，砒、硫磺、石棉、雲母、石膏、高嶺土、大理石、水晶等仍屬非金屬礦。又最近半月前，懷集方面發現一種鐵礦。

(2) 分佈與儲量：

(一) 煤 散在恭城、鍾山、平樂、荔浦、興安、全縣、羅城、融縣、中渡、柳城、柳州、遷江、

博白、貴縣、橫縣、邕寧、思樂、百色、恩陽、奉議、那波、萬承等處，鍾山計儲烟煤一千〇三十萬噸，羅城儲烟煤一百萬噸，遷江儲無烟煤一千五百萬噸，那波儲烟煤一千五百萬噸，餘未經實測，不列數量。

(二) 石油 奉議、那波圩有含油砂巖層多層，其露頭在二十里外尚能尋見，可知儲量之豐，現正施工開採提煉，並精煉為火油，堪與舶來品相拮抗。

(三) 鐵 產鐵區域，計有懷集等三十三縣，種類或為赤鐵礦，或為磁鐵礦，或為褐鐵礦，儲量經詳測者，只有貴縣之磁鐵礦，約六百萬噸，懷集之磁鐵礦約六百萬噸，懷集之褐鐵礦約一千六百萬噸，其餘各縣均未詳測。

(四) 金 凡有火成岩，或變質岩隣近地方之河谷中，均有金砂發現，最近發見一巨大石英脈，延長百餘里，脈內富含金礦。

(五) 銀 貴州天平山，全縣長界嶺，均為產銀區，儲量未測。

(六) 銅 天保武鳴產最著，其餘橫縣、上思、寧明、桂林、永福、百壽、蒼梧、平南、玉林、南丹等，亦有發現，儲量僅測過蒼梧約三十六萬噸。

(七) 錫 錫為該省最著名之礦產，計分三區：一富賀區，二丹池區，三博白陸川區，富賀產錫之平地有一百九十里，深六十英尺，每方里共約產錫一百五十三萬噸，又山地有四百三十五方里，共約產錫三十六萬二千五百噸，可以開七十二年，丹池博白等區，未經估計。

(八) 鉛銻 鉛銻分為二帶，東北自全縣迄丹池中部，自武宣迄寧明鉛礦，僅將武宣測計約一百萬噸，其餘及銻礦均未測量。

(九) 鎢鉍 產於賀縣、鍾山、富川、及賓陽、上林等五縣，賓陽高地之鎢礦儲量，各約六十萬噸。

(十) 鉍 產於懷集、貴縣、及賓陽，產量未悉。



中國經濟年鑑 第三編 第十一章 礦業

(K) 四二

(十二) 錳 自宜山、柳州、經武宣、來賓、桂平以達平南、蒼梧，作一帶狀分佈，其餘興安、懷集、橫縣、邕寧、武鳴、雷平亦有出產，儲量未測，然自宜山迄桂平一帶，約有三千萬噸以上。

(十三) 錒 紅錒（即養化錒）產於奉議、天保、鎮結、思林等各縣，遍地皆是，青錒（即輝錒）產於賓陽、橫縣、武宣、南丹、河池、義寧、全縣、富川、賀縣、鍾山、懷集等，儲量未測。

(十四) 水銀 養利所產最有名，餘如鎮結、果德、宜北、桂林、恭城、博白等亦有出產，儲量未測。

(十五) 白硝 產於都安、那馬、隆山、羅城、東蘭之石灰岩洞泥土中，產量本不少，惟儲量未測。

(十六) 硫 產於三江、融縣、羅城、興安。

(十七) 砒 由毒砂礦煉得，產於賀縣、鍾山、南丹、河池等錫礦脈中。

(十八) 石棉 產於三江、融縣、羅城、博白、懷集等縣。

(十九) 雲母 產於懷集、桂平。

(二十) 石膏 產於宜象、龍茗、恩陽等縣，以恩陽產量最豐。

(二十一) 大理石 產於富賀鍾礦區，及憑祥縣量最多。

(二十二) 水晶 賀縣產最佳，其餘各縣均有。

(二十三) 高嶺土 產於賓陽、橫縣、邕寧、桂平、賀縣等處，量最多。

(二十四) 各礦探採現狀：

(一) 領照探礦區數，原為省營而由商辦者一區，面積四百四十七畝，其由人民經營者計礦種有十一，公司有六十六家，分為一百〇五區，面積共十九萬五千二百〇二公畝。

(二) 領照探礦區數，礦種有三，公司有五家，分為十一區，面積共一萬六千二百六十公畝。

(三) 小礦區，富賀鍾錫礦區，內有莊頭隆口四百餘畝，丹池錫礦區有隆戶墟、月三百餘戶。

(四) 現在主要礦業：

(一) 錫礦業 富賀鍾礦區容鑛工約一萬人，丹池礦區容一千至三千人，十二年全年出純錫八十九萬五千餘斤，價值一百六十餘萬元，二十三年可產二百萬斤，價值四百萬元。

(二) 金礦業 舊田南道屬各縣年產金砂約四千兩，值五十二萬元。

(三) 錳礦業 錳礦近數年來價值低落，出產不多，但二十二年出口尚達一千六百六十八萬斤，值二十餘萬元。

(四) 鎢鈹礦業 近日鎢礦漲價，每擔港銀自六十元至一百四十元。鈹礦更貴，惟前因政府保留，無貨出口，現雖開放，尚無產量統計。

(五) 煤礦業 西灣烟煤土法開採，月出三百噸，盡供煉錫用，合山無烟煤亦為土法開採，月出四十二萬斤，運銷梧州及廣州。

(六) 鐵礦業 亦係土法開採，年出一千五百一十二萬斤。

(七) 錫礦業 歐戰時最為發達，現已無人開採。

(八) 全省礦稅收入：

全省礦業未十分發達，然其稅收非常確定，且屬一種生產稅，雖抽收略重，亦無苛虐之弊。現據賀縣餉捐局礦稅收入，(二十三年)今年一月至六月共收入國幣四萬七千五百五十四元，又收收砂煉錫貸與金一月至八月收入國幣十萬三千餘元，共計將達二十萬元。又礦業利益極大，如賀縣之賀成錫礦公司，集資十

萬元，開辦僅年餘，已獲純利四十餘萬元。

(6) 鑛業公司一覽 (此表所列各公司均係經廣西省政府整理後取得鑛業權者)

公司名稱	經理姓名	鑛區	所在	地探鑛種類
恆源公司	劉蔚文	鍾山尖逢山		錫
天成公司	方紹基	奉議賓班上隴等處		金
利生公司	翁道生	宜北大安洞		錳
明德公司	韋炳熙	宜山喇墓嶺		錳
普益公司	梁柱南	鍾山馮屋寨		錫
利民公司	徐運啓	桂平白土冲		磁土
建業公司	黃偉	桂平登高灣等處		錳
同德公司	李楚凡	遷江合嶺山西部		煤
同福公司	呂春官	遷江合嶺山東部		煤
民生公司	黃堯煦	百壽風門坳		鉛
天財公司	張紀逢	桂平水確嶺等處		錳
維里公司	黃應中	邕寧潑留村旁		金
合利公司	梁澤南	賀縣黃金坪		錫
地利公司	梁鶴	上林瓊山		金
水盛公司	曾昭松	賀縣牛車地		錫
富華公司	黃祖武	奉議下壩內等處		金

明星公司	秦植南	桂平同德嶺等處	錳
鴻達公司	李季濂	養利硃砂山	硃砂
利物公司	李季濂	南丹長坡山	錫
天寶公司	黃祖武	奉議那用陌伍隴	金
長海公司	梁長海	鍾山大坑口	錫
天利公司	蒙子封	桂平成巖冲等處	錳
庚辛公司	何庚辛	奉議隴寧等處	金
合和公司	何伯才	向都隴避坳等處	金
順昌公司	章鴨章	奉議那三村	石膏
雲開公司	李雲	博白周旺堡中心崗下村	錫
義和公司	張志芳	賀縣清水塘	錫
寶興公司	馬麗華	桂平杜公嶺	錳
利武公司	劉範成	武宣大坑山等	錳
平安公司	張治平	桂平落鷓嶺	錳
益武公司	劉茂模	武宣烏石嶺等處	錳
益利公司	劉春聲	武宣五官	錳
寶華公司	馬泗川	鍾山箭猪隆	錫
瑞豐公司	李德輔	桂林鐵籠山	錳
榮發公司	張卓廷	桂平小蛇地	錳
裕民公司	譚世濃	桂平担輓山及呵氣嶺	錳

同享公司	李芬餘	桂平老虎嶺等處	錳
志成公司	陳洪九	桂平葫蘆嶺等處	錳
餘福公司	岳俊生	桂平猪母嶺等處	錳
星鑫公司	何源慶	奉議龍樓等處	金
民生公司	黃雪端	奉議龍針	金
長發公司	王燧林	桂平荒塘嶺等處	錳
興利公司	蒙昌伯	平南麥垌村	錳
廣太公司	李季濂	南丹同車江	錳
百福公司	黃伯珊	融縣寶山	鉛
賀成公司	鄧澤如	富賀鍾水岩垌	錳
戴文雄		武宣經堂山	鉛
羅廣福		陸川地貢	錳
楊碧香		陸川洪馬埔	錳
大東公司	黃匡東	鍾山白石石寨	錳
利國民公司	覃時憲	賓陽蜈蚣山	鉛
順利公司	李春暉	鍾山牛欄冲	錳
全利公司	李蔚樹	鍾山牛鼻冲	錳

二 雲南礦產之概況

滇省各種礦產，分佈極廣，蘊藏甚豐，前清乾嘉年間，開採頗極一時之盛，就中以銅礦最多，產地達五十區以上，產量達六百萬斤以上，多數運往北京，供造制錢，

其他如金、銀、鉛、(俗稱黑鐵)、錳、(俗稱白鐵)、錫、鑛等礦，產地亦多，惟因昔日之鑛業，概係沿用舊法，技術簡陋，故雖永久維持，且於咸同年間，迭遭兵燹，各種鑛業，遂相率倒閉，民國以還，提倡開發鑛業者固不乏人，然卒因無雄厚之資金，殊少成功，其他如砒、鈷、金、銀、鉛、錳等礦，雖有採辦者，為數甚微，又如錳、錫、鉛、硫磺、水晶、石棉、雲母、石膏、岩鹽、明礬、天然鹼、硝酸鹽、火粘土、滑石、磁土、大理石石等類，亦本省豐富之鑛產。茲將各鑛之現況，分述如次：

(一) 金 分山金砂金兩種，山金產於墨江、蒙自、瀾滄、維西、中甸、鳳儀、祥雲、騰衝等縣，砂金產於金沙江沿岸各地，均係貧民採取淘洗，無大規模之經營。

(二) 銀鉛 銀鑛多含於方鉛鑛中，產地為昆明、嵩明、會澤、巧家、魯甸、永善、永勝、鶴慶、蘭坪、保山、瀾滄、鎮康、姚安、雙柏、鎮沅、文山等縣，含銀量自萬分之六七至千分之二三，以前採辦頗盛，產銀甚鉅，嗣因採辦者均用舊法，成本增高，現在煉銀者甚少，僅東川年約出銀二百噸左右。

(三) 銅 銅鑛產地甚多，就中以巧家、東川、路南、易門、保山、永勝等縣為最多，現因銅價低落，交通不便，銷場滯塞，成品粗劣，故產量較前銳減。計東川約可出二百餘噸，永勝約可出一百餘噸，其他各地所產者為數甚微。

(四) 鐵 產地甚多，就中以路南、平彝、祿勸、羅次、安寧、祿豐、李定、蒙化、鶴慶、峨山等縣為最富，且多係鐵分高之養化鐵，現在採辦者約數十處，概係土法採煉，以供製造農具之用，年約產數十噸。

(五) 錫 產地僅箇舊一區，但蘊藏甚富，品質優良，為本省重要鑛產，現有官商合辦之錫務公司，採煉均用新法，成績良好，但採辦之地，僅佔全廠之一小部份，其餘概係商民採辦，沿用舊法，計全廠可產純錫自五千至七千噸，由滇越鐵路運銷香港，每噸約值港幣一千餘元，工人九萬。近新創設之煉錫公司，能改煉九九。

七五分之純錫，直銷外洋，利益頗厚。

(六) 鋅 產地爲羅平、東川、巧家、魯甸、路南、曲溪等縣，多與鉛礦伴產，現僅東川年產百餘噸而已，其價值亦較低廉。

(七) 銻 多產於開遠、文山等縣，民國五、六年，採辦頗盛，每噸數百元，現尙在停辦中。

(八) 鈷 俗名砲花，平華、富明、嵩明、霽益、宣威、呈貢、昆明、安寧、路南等縣產之，現因洋鈷輸入，採辦者較前爲少。

(九) 砒 俗稱石磺，風儀、蒙化，均有產出，而以風儀所產爲最多，質亦較佳，年輸出約三百餘噸，在交通不便之地尙能運銷緬甸、印度等處，其實價每噸可值小洋二千數百元。

(十) 煤 產地甚多，幾無地無之，產品約分柴煤、烟煤兩種，烟煤之中，可供煉焦者亦復不少，現因各種工業尙未發達，故有供過於求之勢，計全省所產，除供本省家庭及少數工廠之用外，尙可售與滇越鐵路公司，每噸之價，上等等者約值滇現金二十餘元，全年約產數十萬噸。其他各礦，多由商民作小規模之經營，產量殊無一定。

### 三 新疆礦產概況

(一) 白金 產地在奇台西北。

(二) 黃金 南北兩疆均產金，分山金及砂金兩種，茲將其產地列表：

(1) 山金 (1) 塔城之哈圖山，面積數百里，自東而西，蘊藏最富，估計鑛苗約在五千萬噸以上，平均以每噸含金五錢計，藏金即在二千五百萬兩以上；(2) 于闐之克里雅山及喀喇塔什山；(3) 焉耆之額布圖嶺、哈克圖嶺、克爾班嶺、額林哈畢噶山、珠勒都司山；(4) 吐魯番之喀喇巴爾噶遜山。

(2) 砂金 (1) 阿爾泰山隨地皆是，俯拾便得，產金區域之面積，當在二千方里以上，約有純金三千一百三十萬兩以上，爲全省產金之第一重地；(2) 烏蘇

奎屯河產金區域，在前後兩溝，面積當在二十方里以上，約有砂金四百萬兩以上；(3) 綏來瑪納斯河及金溝河；(4) 奇台西北之蘇吉及塔克拜克山；(5) 鎮西無度溝；(6) 焉耆；(7) 尉犁大西溝；(8) 和闐玉龍哈什河；(9) 且末阿哈他克山及卡巴山；(10) 于闐蘇克拉克瓦山及宰列山面積共約三千方里；(11) 昌吉縣南之羅克倫河；(12) 迪化之博克達山迤東一帶；(13) 伊犁之霍里各河谷；(14) 博羅之塔拉各河谷。

(3) 官金鑛 于闐金鑛爲新疆惟一官金鑛，共有五廠：(1) 阿哈他克大金廠，在崑崙山支脈之阿哈他克山中，溝寬四五十丈，金砂頗厚，然鑛在且末縣治之西南九百餘里，地極遼遠，無樹木村落，且山中多雪，一年中僅四月至八月可以工作，故出產不多，每年有工人一千餘人；(2) 卡巴山小金廠亦在且末之西南，舊洞林立近山根者，深二丈餘，遠者深七八尺，廠中可以終年工作，惟頗缺水，金夫約三百餘人；(3) 某羌小金廠，是爲卡巴之支脈，鑛洞多在溝中，有水而無樹木，有金夫百餘人；(4) 曹里瓦克大金廠，在于闐之東南三百餘里，無樹木田地，水流，鑛洞林立，深自二十餘丈至五十餘丈不等，有金夫千五百餘人，然附近無水，故僅藉風揚砂以取金；(5) 裁立克小金廠，在曹里瓦克之西南七十里，無樹木無田，而舊有金洞甚多，新河出產頗微，現僅有金夫數十人。以上五金廠，并非官辦，僅由官派鄉紳二人，一管包阿哈他克卡巴及某羌三廠，一管包曹里瓦克與裁立克兩金廠，聽金夫自挖，惟包繳金若干，每金兩官發銀二十五兩，鄉紳亦復轉包之於金夫頭目，計阿哈他克廠每年包納金七〇〇兩，卡巴與某羌三五〇兩，曹里瓦克二、四〇〇兩，裁立克一二〇兩，總共三、五七〇兩。

中國經濟年鑑 第三編 第十一章 礦業

(三) 銀礦 產地(1)阿爾泰山附近烏什克南之銀墩子(2)且末縣之羊麻山(3)葉城(4)烏蘇(5)吐魯番西之庫木什(6)和闐之塔瓦山(7)焉耆(8)塔城之塔爾巴哈台山(9)哈密。

(四) 銅礦 產地(1)疏附西南之蘇渾山(2)烏蘭烏蘇河(3)庫車曾有官辦鑛廠一官商股各五千兩民四由馬紹武承辦虧折停止(4)拜城之雅哈阿里克爾噶山年產二十萬斤(5)焉耆之庫爾台山(6)阿克蘇(7)溫宿(8)且末東南諸山(9)葉城(10)和闐(11)伊犁(12)吐魯番(13)迪化及焉耆銅鑛為廣濟公司所辦資本二千兩現停(14)伊犁(15)烏什縣麥里克有官鑛一民三開辦資本一千五百兩彭永年經理虧折而停。

(五) 鐵礦 產地(1)烏蘇(2)疏勒(3)拜城(4)溫宿(5)阿克蘇(6)英吉沙(7)塔城(8)伊犁(9)孚遠(10)吐魯番(11)迪化(12)焉耆(13)鎮西(14)庫車(15)吉昌(16)美吉之阿合買提山(17)新塔城之齊爾山。

(六) 錫礦 產地在庫車附近。

(七) 水銀 產地在烏什。

(八) 鉛礦 有焉耆之額爾齊斯山伽師及烏什之依塔里山喀什噶爾焉耆和闐烏什葉爾羌拜城吐魯番鎮西庫爾哈喇烏蘇伊犁等處均產含銀鉛礦。

(九) 硫磺 (1)溫宿之橫山(2)拜城之額什克巴什山(3)焉耆之額布圖嶺(4)烏蘇。

(十) 砂礫 產地(1)庫車之大鶴山(2)拜城之礪付山(3)于闐之礪付達爾烏蘭布遜山。

(十一) 石臘 產地在庫車。

(十二) 石棉 產地在吐魯番。

(十三) 鹽 產地在庫車。

(十四) 礪 隨地皆有。

(十五) 雲母 產地在迪化之博克達山。

(十六) 硝石 (1)和闐之瑪雜爾山(2)葉城之宗農莊。

(十七) 玉石 (1)和闐(2)于闐(3)莎車(4)洛浦(5)墨玉(6)葉

城。

(十八) 水晶 產地(1)迪化(2)墨玉。

(十九) 鹽 產地(1)七角井(2)迪化之鹽俄堡(3)拜城之圖格哈納金

(4)溫宿(5)焉耆(6)阿爾泰(7)庫車(8)阿克蘇(9)葉城(10)于闐之克

里山。

(二十) 煤 產地(1)哈密(2)迪化(3)烏蘇(4)庫車(5)拜城(6)溫

宿(7)孚遠(8)奇台(9)塔城(10)阿爾泰(11)伊犁(12)疏附(13)鄯善(14)

阜康(15)葉城。

(二十一) 石油 產地(1)烏蘇之獨山子有油泉三十二座(2)庫車(3)

莎車(4)喀什噶爾(5)溫宿(6)迪化城西之四盆溝(7)綏來油田計有四區

蘊藏極富(8)塔城(9)阿爾泰。

此外喀什一帶石油蘊藏極巨源源不斷塔城一帶之石油伏流入

綏來縣境約長千餘里據聞新省之石油田於一九〇六年經俄探險家在新省西

北部發現油田七十四處第一油田在天山北麓安樂海之南距瑪納斯河三十公

里之處此油田長南北達百二十八公里合華里三百六十里為中國最大之油田

第二油田在天山北麓迪化之西南距迪化三十公里該處有油田四處水泉一處均在小湖之旁凡從彼處經過者即可聞其臭味。

四 山東全省主要礦產概況

煤		鑛別	產	地	層	質	量	位	探
		鑛	地	鑛	質	量	置	與	掘
		別	產	地	層	質	量	交	現
		鑛	地	鑛	質	量	通	況	
濰縣坊子	三層，厚七尺至十三尺，現採一層，傾斜徐向，因斷層複雜，延綿不長。	三層，厚七尺至十三尺	良好之烟煤屬侏羅紀	可採量 二五〇〇〇〇〇〇	膠濟路坊子車站附近魯大之西礦距站六里東礦距站二里南礦距站十二里	屬魯大東南兩礦為中日合資西礦為日資南礦已探盡北礦及中央礦尚未探現探僅東礦及西礦			
昌樂五圖莊	已知者厚八尺，除夾石外，煤厚四尺，傾斜南二十度，西延長二公里。	三層，其中兩層不詳，厚八尺，傾斜南二十度，西延長二公里。	近於褐煤質劣屬侏羅紀	未	膠濟路昌樂站東南二十里	民國六年開採今停			
昌樂高鎮	三層，傾斜北六度，平西。	三層，傾斜北六度，平西。	半無烟煤粉未多屬二疊石炭紀	未	縣城南六十里	現小規模開採			
博山	十三層，現探者為上二中三下二等七層，厚者六尺，薄者一尺，傾斜北十度，內外遇斷層而上。	十三層，現探者為上二中三下二等七層，厚者六尺，薄者一尺，傾斜北十度，內外遇斷層而上。	良好之烟煤屬二疊紀石炭紀	井淄川一部分可採量 四五〇〇〇〇〇〇〇	縣城東北十五公里至城西十公里之間博山鐵路貫通其中	華資小規模礦約五六十家年產六十萬噸			
淄川	十一層，現探者為第三、四、五、六、七、八等層，厚一尺五寸至八尺，傾斜西十五度，北東北延長十五六里。	十一層，現探者為第三、四、五、六、七、八等層，厚一尺五寸至八尺，傾斜西十五度，北東北延長十五六里。	一部分為良好之烟煤屬二疊石炭紀	井淄川一部分可採量 七〇〇〇〇〇〇〇〇〇	縣城東南四公里東五公里北及西九公里之間蒙山、大嶺、南定等站裝煤運出	魯大有淄川、登井三礦，十里莊二，華資十萬噸			
章邱	十三層現探者為中三及下二等五層厚一尺至七尺，傾斜東十度北遇斷層而止。	十三層現探者為中三及下二等五層厚一尺至七尺，傾斜東十度北遇斷層而止。	一部分為良好之烟煤屬二疊石炭紀	井淄川一部分可採量 七〇〇〇〇〇〇〇〇〇	縣城南十公里沿膠濟路東西長三十公里	華資礦廠二十餘家，惟旭華規模頗大年產二十萬噸			
泰安沈高莊	四層厚二尺至十二尺北二十度東西北東南延長二公里	四層厚二尺至十二尺北二十度東西北東南延長二公里	良好之烟煤屬二疊石炭紀	未	津浦路泰安站南九十里大汶口站東六十里	華資現探年產三百噸			
寧陽磁窯	七層現採第五第七兩層厚三尺至五尺傾斜三十度西北西延長三公里	七層現採第五第七兩層厚三尺至五尺傾斜三十度西北西延長三公里	焦性烟煤粉未多屬二疊石炭紀	儲量 四六〇〇〇〇〇〇〇 可採量 三〇〇〇〇〇〇〇〇〇	津浦路大汶口站南東二十五里南驛站東十二里太平站八里	華豐開採年產四萬噸			
新泰新泉溝	三層厚一尺六寸至五尺	三層厚一尺六寸至五尺	烟煤	未	縣城西二十三里距大汶口站七十里	土質甚多			

岩		頁		鋁		田							
章邱	博山	淄川	莒縣楊家莊	臨沂縣南	嶧縣棗莊	萊蕪顏莊	萊蕪縣南	新泰縣南	七層厚九寸至五尺餘北二十五度延長二十公里	份份多	儲量 一、二、〇〇〇、〇〇〇	縣城南二十五里	明朝以前即探現探者為東部及孫村之煤礦年產約二萬餘噸
帶磁窩場至緒山一	至淄川間又東北關至楊家莊間	黑山及黃莊南定瓦村一帶又刁虎峪磁窩一帶	五層厚五尺傾斜東六十五度長六公里	西部一層東部三層厚一尺至五尺延長八公里	六層厚二尺至三十尺現探第二層傾斜二十度東延長十五公里	東部三層西部二層厚一尺六寸至六尺延長五十里東部傾斜十二度至三十度西部十度至二十度	一層厚一尺六寸至七尺二寸延長三十五里	份份多	份份多	儲量 八〇〇〇〇、〇〇〇	縣城南七十里距津浦泰安站七十五里	明朝以前即探現探者為東部及孫村之煤礦年產約二萬餘噸	
帶文祖埠村一	博山至淄川間又東北關至楊家莊間	淄博間面積三九、〇〇六公頃續層平均厚二、五公尺。	煤	焦性烟煤灰份頗多	良好之焦性烟煤塊多	焦性烟煤	半烟煤易碎灰份及硫頗多	份份多	份份多	儲量 五〇〇〇〇、〇〇〇	縣城南三十里距津浦路六七十里	公司五家現均停	公司五家現均停
章邱磁窩場至緒山一帶	博山至淄川間又東北關至楊家莊間	淄博間面積三九、〇〇六公頃續層平均厚二、五公尺。	煤	焦性烟煤灰份頗多	良好之焦性烟煤塊多	焦性烟煤	半烟煤易碎灰份及硫頗多	份份多	份份多	儲量 三〇〇〇〇、〇〇〇	縣城南三十里距津浦路六七十里	公司五家現均停	公司五家現均停
合計	博山至淄川間又東北關至楊家莊間	淄博間面積三九、〇〇六公頃續層平均厚二、五公尺。	煤	焦性烟煤灰份頗多	良好之焦性烟煤塊多	焦性烟煤	半烟煤易碎灰份及硫頗多	份份多	份份多	儲量 六二一、〇〇〇、〇〇〇	縣城南三十里距津浦路六七十里	公司五家現均停	公司五家現均停

曾經北平地質調查所調查者實部已劃歸國營

現土法開採

現小規模開採年產五萬噸

中興開採年出百萬噸

公司五家現均停

公司五家現均停





中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

青島港務局及東海關續產入口數量表

青島港務局續產入口噸數	東海關續產入口噸數											
	日本	煤	其他	煤	續	石						
民國十年	九,〇八四	一,五三四	一九〇三七	外	洋本	國外	炭	續	國外	洋本	國	石
十五年	二八,六六六	一六,〇〇四	未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳
十八年	九〇〇	二〇,六四九	未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳
二十年	—	三,六五三	無	無	一四九,二五五	無	無	一,三六六	無	無	無	無
二十一年	五,三九九	四四,五九九	無	無	無	無	無	四	無	無	無	一
二十二年	一,八六六	三,三四七	—	—	六〇,四四五 (東三省)	六八,八三三	無	六七	無	無	無	二

出口續產運達地(青島港務局出口計載單位噸)

青島港務局續產入口噸數	東海關續產入口噸數											
	日本	煤	其他	煤	續	石						
民國十年	九,〇八四	一,五三四	一九〇三七	外	洋本	國外	炭	續	國外	洋本	國	石
十五年	二八,六六六	一六,〇〇四	未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳
十八年	九〇〇	二〇,六四九	未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳未	詳
二十年	—	三,六五三	無	無	一四九,二五五	無	無	一,三六六	無	無	無	無
二十一年	五,三九九	四四,五九九	無	無	無	無	無	四	無	無	無	一
二十二年	一,八六六	三,三四七	—	—	六〇,四四五 (東三省)	六八,八三三	無	六七	無	無	無	二

出口續產運達地	魚	炭	博	山	煤	火	岷	崙	煤	淄	川	煤	其	他	煤	續	石	火	黏	土	及	食	鹽	
上海吳淞在內	四,八三三	四四〇	一七,六三三	二〇,〇四四	九,七三三	六,四〇〇	二,二〇〇	三,七三三	八,〇二二	二,四七〇	六,六五五	三	八四	一二七	五〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—
江蘇海州阜寧南京鎮江 江陰石臼十二圩	一〇〇	一三	六	六六六	八,〇〇〇	二,五〇〇	七,〇九七	三〇,一七五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
寧波	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蕪湖安慶在內	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
九江	二〇〇	—	五,九六〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
漢口	—	—	四,〇一五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
廣東廣州汕頭 大浦樓水	九〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—



產地	種類	成分%	鐵 Fe	矽酸 SiO <sub>2</sub>	磷 P	硫 S	錳 Mn	備註
大庚生龍口	錫	杏·矣						
大庚下龍	錫	六·四						所取鑛樣多係結晶純塊故成分頗高
贛縣牛欄坑	鉍		五·壹					
安遠仁風盆	鉍		三·五					
鼓山	鉍							
大庚生龍口	鉍		一〇·三					因含錫錫頗多故含鉍之成分較低
贛縣龍下	銅			五·八	二·四			三·〇 最上鑛
宜春金瑞	銅			五·壹		〇·〇〇四	〇·〇〇五	成分高者含銅約百分之七左右
樂平聚埠街	錳			一六·四〇			五·五	

江西主要鑛產分析概況表(續)

產地	種類	成分%	鐵 Fe	矽酸 SiO <sub>2</sub>	磷 P	硫 S	錳 Mn	備註
九江城門山金雞嘴	鐵		二九·五	四·四	〇·二	〇·〇七		
同上(富鑛)	鐵		三三·〇	三·六	〇·三	〇·〇三		
九江城門山燒火山	鐵		三三·九	三·壹	〇·三	〇·〇九		
九江城門山油洲窪	鐵		四·三	二·五	〇·三	〇·一		
九江城門山滴水崖及鐵門檻	鐵		三·三	二·九	〇·三	〇·〇一		
九江城門山大窩坡	鐵		二·五	四·八	〇·二	〇·〇一		
同上(富鑛)	鐵		三·六	二·〇	〇·三	〇·〇六		
九江城門山小窩坡	鐵		四·五	一·九	〇·二	〇·〇四		
瑞昌銅嶺山	鐵		五·三	八·三	〇·三	〇·〇六	〇·一	

江西主要礦產分析概況表(續)

產地	種類	成分%		水份	揮發份	固定炭素	灰分	硫	磷	備註
		水	揮發份							
萍鄉安源	烟煤	一·六	三〇·三	一·六	三三·五	六三·五	四·八	〇·四八		塊煤
同上	烟煤	一·七	三〇·三	一·七	三三·五	五五·〇	一九·五	〇·四		末煤
同上	烟煤	一·七	三〇·三	一·七	三三·五	六三·五	四·八	〇·四八		
同上	洗煤	一·壹	三三·七	一·壹	三三·七	五〇·三	一九·五	〇·四		
同上	塊煤	一·壹	三三·七	一·壹	三三·七	六〇·三	一七·〇	〇·四		所示均指平均成分言
同上	焦煤	〇·三	二·四	〇·三	二·四	六二·六	八·三	〇·四		
樂平鳴山	烟煤	一·〇	三〇·六	一·〇	三〇·六	四〇·〇	一六·〇	〇·四		
吉安天河	烟煤	一·〇	三〇·六	一·〇	三〇·六	四〇·〇	一六·〇	〇·四		
豐城泉港	烟煤	一·七	三三·五	一·七	三三·五	六八·〇	七·六	一·七		此項結果係該公司寄來 卓煤一大塊由建廳轉發 化驗

永新烏石山	鐵			五〇·一	八·七	〇·五	〇·五			
萍鄉上株嶺三和洞	鐵			五三·三	二·五	〇·六	痕跡			
萍鄉上株嶺三和洞	鐵			五三·三	二·五	〇·五	痕跡			
同上(上層)	鐵			五三·六	七·三	〇·六	痕跡			
萍鄉上株嶺黃毛側(下層)	鐵			五三·五	六·〇	〇·五	痕跡			
同上	鐵			五三·五	九·七	〇·四				
同上	鐵			五三·五	九·七	〇·四				
同上	鐵			五三·五	九·七	〇·四				

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

七 商辦各礦統計表

豐城下澤里	煙	一區	一六三七	六九六〇	二三五	〇.三	〇.〇五	塊煤
豐城楊梅屬	煙	〇.一K	二九	八三四四	一四〇	〇.三	〇.〇五	塊煤

縣別	公司名稱	礦區所在地	向方	續區距離	續種	續業者	核准年月	類質	每年應繳	續區面積	各縣續區	總面積	各縣續區
豐城縣	管成	河西羊公山	西	八公里六十四	採	毛毓漢	十七年五月	煤	三十三元八角	十六公頃九十公畝			
	福中	梅嶺鄉七區七十八	北西	十一公里五十	採	丁福唐	十七年六月	煤	五十五元零二分	二十五公頃六十公畝			
	裕豐	西六區嶺下村葱崗嶺等處	北西	七公里三十	採	熊達	十九年九月	煤	三十三元零四分	十六公頃五十一公畝			
	利用	梅嶺鄉七區七十八都塘游家橋	北	十一公里五十	採	葉向陽	十九年十月	煤	三十九元九角	十九公頃九十八公畝			
	廣業	東北鄉佛嶺墟雞山	北東	三十四公里五	小	余秉九	十九年十一月	煤	三元三角四分	一公頃六十七公畝			
	勵羣	四區四鄉泉田村石	北東	二十七公里六	小	余達三	二十一年三月	煤	二十二元九角	十一公頃四十八公畝			
	利羣	儲山鄉四區儲山彈子石	東	三十四公里五	小	李毓華	二十一年三月	煤	十一元零六分	五公頃五十三公畝			
	合記	四區六合鄉臥虎山	北東	三十四公里	小	張垂寬	二十一年四月	煤	一元二角	六十公畝三十公畝			
	集成	三區三十二鄉店下	北東	二十六公里	小	熊公瑞	二十一年六月	煤	九元五角八分	四公頃七十八公畝			
	久大	四區新河鄉烏鴉抱	北東	三十四公里	小	袁平章	二十一年六月	煤	四元六角四分	二公頃九十二公畝			
	吉安縣	一區光華鄉嶺下村	北西	九公里	小	任紹奚	二十一年十月	煤	九元五角	四公頃七十五公畝			
	昌明	宣化鄉周源地方南	西	七十七公里七	採	蕭琦	六年三月	煤	一百六十四元	三十二公頃九十公畝			
	義昌	宣化鄉周源地方雙山合等處	西	七十七公里七	採	曾兆瑞	六年五月	煤	九角五分	九公畝三十三公畝			
	安濟	宣化鄉周源地方牛角合等處	西	七十四公里八	採	張錫純	六年八月	煤	二十一元二角五分	四公頃二十四公畝			
<p>十五頃公二十九</p> <p>釐公七十二畝公六十五頃公九零百一</p> <p>五·六八</p> <p>六·七三</p>													



中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(K)五六

崇仁縣	贛縣	萍鄉縣	宜春縣	餘干縣	備考
順興	華興	濟民	益大	二十九都桐源村殿 背山等處	以上各鎮合計總面積共一千六百二十九公頃零二十九公厘其中錳礦面積一百三十二公頃六十六公畝磁土面積四公頃七十公畝二公厘錳礦面積十三公頃四十二公畝四十六公厘煤礦面積一千四百七十八公頃二十一公畝八十一公厘
南上區千古嶺山	六由鄉上坪腦	西路美俗鄉庵子坡等處	薦外鄉西冲等處	南四	
南二十公里十六公丈	南東十六公里三十六公丈	西二十八公里八公丈	西二十三公里四公丈	二十九公里	
探	探	探	探	小	
廖長卿	伍人龍	文斐	彭高義	羅英	
十八年八月	十八年九月	十九年三月	十八年十一月	二十二年二月	
煤	錫	煤	煤	煤	
三十二元零四分	二十二元八角四分	三十七元二角	四十五元三角六分	十八元二角六分	
十六公頃二公畝五公釐	十三公頃四十二公畝四十六公釐	十八公頃六十公釐二十二公釐	四十五公頃三十三公畝五十公釐	九公頃十三公畝四十二公釐	
十六公頃二公畝五公釐	十三公頃四十二公畝四十六公釐	十八公頃六十公釐二十二公釐	四十五公頃三十三公畝五十公釐	九公頃十三公畝四十二公釐	
〇·九九	〇·八三	一·一四	二·七八	〇·五六	

八 湖南公鎮鑛產營業處二十三年九月十一日鑛產品出入量值表

品名	月份	上月結存公畝	本月新收公畝	賣出公畝	平均單位元	賣出總值元	餘存公畝
純金 (兩市)	九月			六·二五五	五·五五五	五二·六四〇	
	十月			七·二六六	五·四三〇	五·四三〇	
純銀 (兩市)	九月			七·四〇三	五·四九二	五·四九二	
	十月			一六、〇五五·一六六	一·五七	一九、二七八·三	
純錫	九月			一四、五七三·六四四	一·七五	一七、二四〇·〇	
	十月			一一、〇九七·七四四	一·一六	一三、〇七七·四六	
錫	九月			五·一四五	三〇·一〇〇	一五、四一四·〇〇〇	
	十月			八·〇四一	三〇·〇〇〇	二四、三三九·六〇〇	
	十一月			四·一三五	三二·一五〇	一三、八六六·九〇〇	







錫	每塊	10.0	錫	每條	14.0	錫	每磅	10.0	錫	每磅	10.0	錫	每磅	10.0
鉛	每條	3.0	鉛	每條	15.0	鉛	每條	10.0	鉛	每條	10.0	鉛	每條	10.0
筆鉛粉		3.0	筆鉛粉		16.0	筆鉛粉		10.0	筆鉛粉		10.0	筆鉛粉		10.0
筆鉛砂		3.0	筆鉛砂		15.0	筆鉛砂		10.0	筆鉛砂		10.0	筆鉛砂		10.0
錫碎砂		3.0	錫碎砂		15.0	錫碎砂		10.0	錫碎砂		10.0	錫碎砂		10.0

第二節 分省之部

一 江蘇省

第一目 煤

(1) 民國二十三年度(至四月底止)各煤礦明細表

自 出	價目	一、四九六、六三一·五七元	採 出 數	數量	二二九、七三二·七五公噸	煤 類 種 別 統	華	東 煤 礦 公 司	龍	白	煤	層
	數量	一八九、九五九·五九公噸		一八、一四五·八〇公噸	一、二〇〇·〇〇公噸		一、三〇〇·〇〇公噸					
自用	價目	一一、二四八·九四公噸										一、三〇〇·〇〇公噸

備 考	本礦無篩煤機故無塊層之分	工作 日 數	三五八日	工 數	二二八、四三六工	餘 存 數	三五、六七〇·〇二公噸
							一、二〇〇·〇〇公噸

(2) 民國二十四年度(至四月底止)各煤礦明細表

工 數	餘 存 數	自 用	出 價 目	賣 數 量	採 出 數	煤 炭 種 別 統	華	東 煤 礦 公 司	礦 廠 名 稱	銅 山 縣 賈 家 汪 夏 橋 等 礦 區	礦 區 位 置	上 年 餘 數	採 出 數	賣 數 量	出 價 目	餘 存 數	工 數	
																		煤 共
二五、一〇七四·〇〇工	三四、七二二·二四公噸	一七、二一六·九〇公噸	一一、二八三、〇七一·七〇元	二四二、〇八九·三〇公噸	二四六、六七五·〇八公噸	煤	華	東	華	銅山縣賈家汪夏橋等礦區	銅山縣賈家汪夏橋等礦區	三五、六七〇·〇二公噸	二四六、六七五·〇八公噸	二四二、〇八九·三〇公噸	一一、二八三、〇七一·七〇元	二五、一〇七四·〇〇工	三四、七二二·二四公噸	一七、二一六·九〇公噸

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

工作日數	三五八日	三五八日
備考	本礦無備煤機故無塊屑之分但遇客需要時則以人工加篩	

龍潭煤礦 本礦屬於中國水泥公司之副產，煤質既劣，煤層又薄，而若斷若續（俗稱鷄屎煤）實為本礦最難解決問題，除工人發掘外，未敢輕以機器嘗試。上年水泥公司購用之煤，因與該煤成分不合，難難燒燃，故雖探得數十噸，堆置未用。

大中煤礦公司 本礦在蕭縣白土寨地方，於民國二十三年二月中旬開始進行工程，開直井四座，斜井一座，尙未完成，故未屆正式出煤之期，現工人二百七十一人。

(3) 賈汪華東煤礦近況

華東煤礦老四五號井，自客歲回探，已於上月結束，所有全部工作，現均集中夏橋新區，新區位於舊鎮西南約三華里，地勢較低，煤層亦深，於民二十二秋，開鑿兩直井，各深三百呎，客夏到達煤層後，即將兩井先事溝通，闢成循環繞道，井口附近遍砌磚拱，然後緣煤層趨勢，向南北挺進平巷，（西爲上山，東爲下山）計兩平巷四百五十公尺，北平巷六百餘公尺，經過情形殊多困難。斷層大小不一，均足影響進行，所作之煤爲下層煤，（厚二至二·五公尺）幸頂板爲矽沙岩構成，厚達五公尺，堅固異常，故對於支木既省，工作亦安，現三班出煤，日產六七百噸，每工平均效率一·二三噸。二號井筒因經過黃沙泥（流沙）層，水量過大，爲支持久遠計，乃由該井底向上起砌圓形（直徑十呎二吋）水泥石圈，中安鐵梁環道，於九月底即可完工。排水設置有離心力電泵三座，三相交流馬達，出水有管，口徑

六吋，每泵每分約抽水二五〇加侖。

二 浙江省

(1) 民國二十三年度煤礦業明細表

備考	公司名稱	種別	上年餘數	探出數	實出		自用	餘存數	工數	工作日數
					數量	價目				
本礦採煤係包工制工數無從查填	長興煤礦	統	二二、一六七·五〇公噸	一九七、七五三·〇〇公噸	一三一、五二九·〇〇公噸	一、〇八五、三一七·四八元	一六、三二〇·〇公噸	四四、六〇四·五〇公噸		三六五天

(2) 長興煤礦近況

煤層及煤質 煤系屬二疊石炭紀，受地質變動甚烈，尤以廣興方面爲甚，四畝墩方面爲斷層所限，探巷雖延長甚遠，而仍未探到煤層。煤層厚三尺至七尺，傾斜四十五度至六十度，幾成立槽。屬焦性烟煤，經建委會礦業化驗所化驗結果：

	水分	揮發分	固定炭	灰分	硫分	發熱量	加路里
四畝墩新層	0.55	31.7	80.8	23.13	4.5	9,880	
大煤山舊統	1.2	30.7	77.5	30.3	4.0	9,350	
廣興新層	2.0	31.4	33.0	35.4	4.7	8,550	

探礦 探礦用鑿相長鑿法。四畝墩有直井二座，暗井三座，最深者一九六公尺。大煤山有直井二座，暗井一座，最深一九六公尺。廣興有大井一座，風井一座，暗井一座，最深一六六公尺。捲揚機共六座，最大捲揚力每日九百噸。發動機用蒸汽，共四座。井內水量，來源不甚大，多者每小時三十六噸，少者二十五噸。共有電泵四座，每座每小時排水量十八噸，共七十二噸，揚高二百四十公尺。井內有沼氣，去年三月間曾大爆發一次，死工人二十三名，傷十餘名。現井內照用蓄電燈，燈式有二：一為沙利式，一為華夫式；共有二千盞。用機力通風，有吸力風扇一座，吸力三萬立尺；電力風扇二座，一座吸力一萬三千立尺，一座八千五百立尺。因頂底鬆軟，支柱木料需用頗多，如杉杉楊柳等，均購自附近，售價不貴，而平均每噸煤須木料幾至九角。茲將二十三年份各礦木料費列表：

	產煤噸數	木料價元數	煤每噸攤木料費
四畝墩	103,905	9,566	0.0925
大煤山	66,600	20,250	0.3040
廣興	15,000	20,875	0.9555
合計	177,505	17,741	

鑛場設備 本廠共有鍋爐十二座，總共六百馬力。發電機三座，舊機二座，負

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

荷量共二〇〇KV A；新機負荷量三七五KV A；共五七五KV A，合七七七馬力。計其馬力用於自來水房者四七，用於鋸木廠者三〇，用於機務股者三〇·五，用於電燈者四二，用於水泥者二六六，用於吹風機者四五，用於電絞車者九八，用於壓氣機者一〇八，用於鑛燈者一三·五，共計六八〇馬力。但實際用量，可打八折，共耗五四四馬力。鑛山至五里橋五四公里，修有三十五磅軌之輕便鐵路相通，井將三鑛場連絡一貫。有機車三輛（一輛備用）；貨車二十八輛（二十二輛可用）；每輛裝煤十五噸，一次可拖煤七輛。又有客車四輛。路上分設五站，即鑛山、三里橋、合溪、莊塢、五里橋。五里橋有煤棧碼頭。

產量及費用 二十二年度產量及成本，較二十四年經濟年；茲將二十三年產銷實價各情列表：

(A) 產量

二十三年	產量(公噸)	本鑛	用煤	本鑛	銷售
一月	15,600	1,200	1,200	1,200	1,200
二月	10,700	1,300	1,300	1,300	1,300
三月	16,400	1,500	1,500	1,500	1,500
四月	17,400	1,300	1,300	1,300	1,300
五月	16,900	900	900	900	900
六月	18,000	1,000	1,000	1,000	1,000
七月	16,800	1,100	1,100	1,100	1,100
八月	16,900	1,300	1,300	1,300	1,300
九月	16,400	1,200	1,200	1,200	1,200

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(K)六二

十月	一六,四二〇.〇〇	一,二五〇.五〇	三〇.〇〇
十一月	一六,九六〇.〇〇	一,四九五.〇〇	七〇.〇〇
十二月	一八,八三〇.〇〇	一,五九五.〇〇	一三〇.〇〇
合計	一九,七〇〇.〇〇	四,三四〇.〇〇	七〇.〇〇

自用煤爲量甚大,每日平均電廠約十一噸,機廠約三十一噸,火車約七噸,雜用約三噸半,共計每日五十二噸半。

(B)採煤費(每噸攤數四·九一二八三元)

工資	五九五,七三〇.六
材料	三七五,八一六.六六
合計	九七一,五二九.七二

(C)產煤成本

產煤成本大別爲事務及工務費,事務費項下包括公司代表審監會費,經理稽查,建委員專員,地方諸費及總務,營運,會計諸科及駐滬辦公處等費。工務費項下包括工程師,化驗,測量,考工等費及採煤,機務,電力,土木,材料諸股用費。但歸納乙,不外薪,資,材料,辦公等等。茲將二十三年各款實支及分攤成本列表:

薪俸	一六〇,五〇三.一一	〇.八一
辦公費	一一三,三三三.四二	〇.五六
工資	六四五,八三三.三八	三.二六
合計	八八七,六七〇.〇一	三.六三

材料	二九四,二九一.六六	一.四九
用煤	一一〇,〇三〇.一九	〇.六一
特別費	二四二,五九四.九八	一.二二
合計	一,五七六,五七五.七四	七.九七

(D)收入

售煤	一,三八八,八一八.三七元
鐵道	二九,一五一.二八元
材料	三七,七〇〇.五一元
雜入	九,七〇〇.一一元
合計	一,四六五,三七〇.二七元

(E)資產(計至二十二年底止)

鐵道	六〇〇,〇〇〇元
井巷	四〇〇,〇〇〇元
機械	五〇〇,〇〇〇元
房地	二〇〇,〇〇〇元
共計	一,七〇〇,〇〇〇元

(F)負債(計至二十三年底止)

銀團借長	二〇〇,〇〇〇.〇〇元
銀團往來	一,一七,四五二.一二元
保證金	六四,九〇〇.〇〇元

未付材料	七〇、〇三三、〇七元
暫存	一三三、三二七、九〇元
共計	一四六、五、六〇三、〇九元

(G)各地銷量及售價

	銷	量	每	噸	售	價	每	噸	運	費
五里橋	二四二噸	九、四〇元	〇、二四元							
無錫	二七、八五一	七、七一	一、四五							
蘇州	一五、一〇七	八、〇三	一、四〇							
宜興	二、九四二	八、一〇	一、四〇							
嘉善	一、三三五	八、三五	一、四〇							
嘉興	六九八	八、三五	一、二〇							
常州	一六、三八八	七、八二	一、七五							
杭州	一三三、七二八	八、三〇	一、一〇							
李家巷	一九、六六一	八、〇〇	〇、二三							
上海	三三三、一〇八	七、八〇	一、七〇							
合計	一四二、〇六一噸									

工役及鑛警 凡採煤掘巷推車均外工制，計有包工頭共三十九名，工人二二〇六名。裏工計有副監工二十九人，工目五十一人，工人一、一三名。五里橋運輸處工人共二三一名。鑛警共一三五五人。公役共六五人。

三 安徽者

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(1) 烈山煤礦產銷及價值

二十二年產額	一五七、五〇〇噸
二十二年販賣數	一四四、〇〇〇噸
每噸價值	山廠售平均價七元
二十三年產額	一四六、〇〇〇噸
二十三年販賣數	一二〇、〇〇〇噸
每噸價值	山廠售平均價六元
備考	山廠符離集蚌埠係直接銷售餘均包商人

(2) 大通煤礦產銷及價值

二十二年產額	二〇五、〇〇〇噸
二十二年販賣數	二〇九、〇〇〇噸
每噸價值	八元餘
二十三年產額	一八八、〇〇〇噸
二十三年販賣數	一八八、〇〇〇噸
每噸價值	七元餘
銷場	安徽江蘇二省

(3) 淮南煤礦近況

淮南煤田居皖北懷遠鳳台壽縣等三縣之交，在舜耕山與上窰村一帶已呈請領採之鑛區計：

淮南煤礦局

- (1) 九龍崗區 五四、七九九 公畝
- (2) 洞山區 五八、一七五 二六
- (3) 長山區 二〇、二六三 九四
- (4) 上簷區
- (5) 新城區

大通煤礦局

三三、〇二四 〇〇

舜耕山

儲量及煤質

本煤田儲量，據北平地質調查所估計，二公尺以上煤層七層，總厚達二三·六公尺，包括大通在內，約儲煤六〇、二〇〇、〇〇〇噸。據大通工人稱，煤層在五尺以上者計十五層，可數出者十二層，共厚一百一十二尺，照此估計，全部約儲煤十萬萬噸。據民國二十一年中央研究院之估計，九龍崗及洞山兩區儲煤二七、〇〇〇、〇〇〇噸，若就本礦局依探掘所得而估計，九龍崗區應儲煤七一、七〇〇、〇〇〇噸，洞山區四三、七〇〇、〇〇〇噸，且將來猶有新煤層發見之可能，估兩區應為一七〇、〇〇〇、〇〇〇噸，若以三成為可採量，至少有五〇〇、〇〇〇、〇〇〇噸。

淮南煤為高焰烟煤，據北平地質調查所燃料研究室化驗屬低炭烟煤，須摻和低焰烟煤，始可煉冶金焦，惟甚適於低溫蒸餾之用，據該室研究，每噸可得粗油三十加侖。茲將地質調查所大通煤之分析及經濟委員會礦產試驗所淮南煤之分析列表：

大通煤

層	水份	揮發份	定炭	灰份	硫	加路里
第一層	〇·三	四二·五	四八·三	七·九	〇·七	七四·五
第三層	〇·五	四〇·五	四六·五	九·五	一·六	七七·七
第六層	一·三	三〇·三	五〇·〇	一四·七	二·〇	七二·七

淮南煤

槽	水份	揮發份	定炭	灰份	硫	B.T.U.
東井中四槽	二·六	三三·五	五二·三	三·六	〇·八	三、二六
東井南三槽	一·九	四〇·五	四六·四	一四·七	〇·六	二、九三
西井南二槽	二·三	三〇·六	五三·六	三·三	〇·六	三、三二
西井北三槽	一·八	三五·五	五〇·五	二·五	〇·五	三、七二
蚌廠統煤	七·四	二六·三	四九·九	二〇·元	〇·六	一〇、四五
浦廠統煤	七·五	二五·三	四七·九	一九·七	〇·六	一〇、七七
鎮廠統煤	七·六	二六·六	四六·六	二〇·九	〇·六	一〇、三九

淮南歷年運銷及最近產存

月份	二十一年(噸)	二十二年(噸)	二十三年(噸)
一月	一·五	三、四三·七	一八、九四·七
二月	三、三三	三、九〇·三	五、五四·五
三月	三、三八〇	四、九五〇·〇	一〇、〇一·五
總場	開始營業		
總計			一四、六九·六

四月	三三〇.〇〇	五,一四八.八五	一〇,〇九二.八九	三三,六六七.〇
五月	四三七.〇	六,九八六.八	一三,〇八九.四四	二,〇〇〇.六三
六月	五〇〇.〇	六,五五二.〇	一五,〇四六.〇三	一五,〇三三.七九
七月	六〇九.〇	六,三四二.〇	一四,八三三.元	二,〇〇〇.六
八月	運場 運輸 二五,六〇.〇	一〇,〇九六.〇	三〇,七四三.五	三,〇四六.五
九月	三五五.五	一〇,〇四二.〇	一七,一三七.七	一六,〇七.〇
十月	七三三.五	七,六八〇.〇	一六,四一〇.〇	一五,六八.八六
十一月	一,七七一.〇	六,八七三.〇	一八,一三〇.三	一八,九三.八七
十二月	一,六九二.〇	六,九六.〇	一四,一七六.〇	一八,四七.九
總計	五,五二.五	六,七三.五	一六,三六.四	一六,四〇.四

結至二十三年底止存煤四一,二九九.八七噸。本年一月至五月共產煤一〇七,二九四.四八噸,每日平均產七一〇.五六噸,共銷一一三,一一〇.六.四五噸,平均每日銷七四九.七一噸,結至五月底存煤三五,三二七.九〇噸。

開支成本價盈餘

全年度產煤噸數	二十一年七月一日至二十二年六月三十日止	二二,三〇〇.六一	每噸攤派量 (元)	二十二年七月一日至二十三年六月三十日止	一九,六四三.五
	井內用(工料等)	元 三三,〇三三.三		一八.六一	三九,五七.天
地面用(工料等)	元 六七,九六.〇	〇.五七	八四,〇五.五	〇.四元	

盈餘	一四,七九九.五	(已除運費等)	二五,九四九.四	(已除運費等)
合計	六〇七,五五五.〇	九六.九七	一,五五〇.〇三	八八.五
浦口售	七九,四八二.五	一〇.一〇	一,四九〇.六八	九〇.三
蚌埠售	七五,〇六五.四	九.五六	五,三〇六.五	八四.九
洛河售	一六,一四七.九	八.五六	一〇〇,一四九.五	七六.三
鑛山售	二六,五九六.五	七.一五	一,八五七.九	六〇.三
總成	四九,一七三.〇	四.一七	六,六〇九.九	四一.〇
鑛業試驗室經費			三,〇〇〇.〇〇	〇.〇六
各煤廠經費	七,〇〇〇.〇〇	〇.〇五	五,一三〇.四	〇.二七
購料委員會經費			九,一七〇.〇〇	〇.〇四
建委會管理費			三,〇〇〇.〇〇	〇.〇三
鑛山管理費	一〇九,二二五.五	〇.九五	一三,八五八.〇	〇.六九
攤還開辦費			一三,七五五.五	〇.七三
折舊	二九,八五二.〇	〇.二五	四七,九六一.一	〇.五〇
捐稅	三,九五五.四	〇.〇三	付全 三,五六一.元	〇.一五
擴充	五七,三九八.八	〇.四〇	六,三〇七.三	〇.四九



中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

山東省

(一) 全省各煤礦業調查表

煤田別區		產額		價值		元產額		元價值		職人數		薪工		井上井下合計		每日工資		
礦業權者		民國二十一年		民國二十二年		民國二十一年		民國二十二年		職人數		薪工(元)		井上井下合計		每日工資(元)		
所在地		產額		價值		元產額		元價值		職人數		薪工(元)		井上井下合計		每日工資(元)		
博東礦業公司	博山入陡莊黑山	五,三六	三三,一〇元	七,七五	四八,七〇	三	五〇〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	六七〇	三〇	四九〇〇	八.九〇	
樂成煤礦	博山殷家溝	五,二六〇	三三,六〇	四,五三	四八,五三	三	三〇〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
悅昇煤礦	博山桃花峪	四,九六	二七,五八	四,三三	三三,一〇元	六	三五	六	三五	六	三五	六	三五	六	三五	六	三五	六.三五
福源煤礦公司	博山耿家峪	四,五五七	三〇,四三	四,七七一	三〇,四三	三	三〇	三	三〇	三	三〇	三	三〇	三	三〇	三	三〇	三.〇〇
博平煤礦	博山城東房家地	四,五〇二	三〇,一〇元	三,六一	二二,〇八	四	一,一〇〇	四	一,一〇〇	四	一,一〇〇	四	一,一〇〇	四	一,一〇〇	四	一,一〇〇	二.七五
同興煤礦	博山荒場地	一,七〇〇	一〇,一〇〇元	三,七三	一四,八三	六	七〇〇	六	七〇〇	六	七〇〇	六	七〇〇	六	七〇〇	六	七〇〇	一.七〇
大成煤礦	博山後池	三,三〇七	一四,〇三	二,九〇一	一四,〇三	三	四〇〇	三	四〇〇	三	四〇〇	三	四〇〇	三	四〇〇	三	四〇〇	二.〇〇
永和煤礦	博山蔣家林	三,一八九	一八,一八	三,〇〇〇	一四,〇三	五	五〇〇	五	五〇〇	五	五〇〇	五	五〇〇	五	五〇〇	五	五〇〇	一.〇〇
吉成煤礦	博山青沙嶺	三,三五六	二〇,〇六	二,八四〇	一七,〇〇	五	七〇〇	五	七〇〇	五	七〇〇	五	七〇〇	五	七〇〇	五	七〇〇	一.七〇
吉成煤礦	博山長埭地	一,七三三	一〇,九三	一,九二五	一五,三三	五	七〇〇	五	七〇〇	五	七〇〇	五	七〇〇	五	七〇〇	五	七〇〇	一.五〇
義德煤礦	博山城東南周家台	二,四三〇	一四,五〇	九,九五	五九,七〇	二	二〇〇	二	二〇〇	二	二〇〇	二	二〇〇	二	二〇〇	二	二〇〇	六.九〇
黃家山煤礦	博山大黑山後莊	八,九六	四七,七〇	七,六六	三六,三〇	一	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇	一.九〇
同聚公司	博山嶺莊南溝	九,六四	四七,三〇	七,五五	三七,七〇	二	二〇〇	二	二〇〇	二	二〇〇	二	二〇〇	二	二〇〇	二	二〇〇	三.三〇
魯興煤礦	博山嶺莊南溝	九,六四	四七,三〇	七,五五	三七,七〇	二	二〇〇	二	二〇〇	二	二〇〇	二	二〇〇	二	二〇〇	二	二〇〇	三.三〇
東魯煤礦	博山福山莊	三,五五	一七,七〇	五,四〇	二七,一〇	三	三〇〇	三	三〇〇	三	三〇〇	三	三〇〇	三	三〇〇	三	三〇〇	八.〇〇
隆昌煤礦	博山入陡鎮五畝地	—	—	四,一〇〇	二〇,〇〇	三	三〇〇	三	三〇〇	三	三〇〇	三	三〇〇	三	三〇〇	三	三〇〇	三.七〇
同成煤礦	博山勝廟地	三,六五	一八,五	二,四	一〇,〇	四	四〇〇	四	四〇〇	四	四〇〇	四	四〇〇	四	四〇〇	四	四〇〇	七.〇〇

煤

博

本		博												淄	
志興煤礦	博山趙家林	容	300	金	45	八	100	?	?	100	33	25	博山區合計	其	他
久豐公司	博山安上莊	3,800	2,000	2,190	3,000	3,700	3,700	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	3,800	3,800	3,800
華東煤礦	博山兩花溝	3,200	1,700	1,700	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
利和煤礦	博山後峪莊	3,700	1,900	1,900	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700
實業煤礦	博山安上莊	3,000	1,500	1,500	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
大生煤礦	博山張家碾	3,800	1,900	1,900	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
振業煤礦	博山羊欄河	3,200	1,600	1,600	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
益成煤礦	博山孫家地	3,900	1,950	1,950	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
朱振基	博山黑炭溝	3,300	1,650	1,650	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
興盛煤礦	博山黃屋頭	3,500	1,750	1,750	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
杏花天煤礦	博山杏花天	3,400	1,700	1,700	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400
西大井區	博山田家林	3,200	1,600	1,600	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
裕華煤礦	淄川油坊後	3,600	1,800	1,800	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
利興煤礦	淄川東萬山莊	3,800	1,900	1,900	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
魁盛煤礦	淄川高家碾	3,300	1,650	1,650	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
張子岱	淄川青草溝	3,900	1,950	1,950	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
慶來公司	淄川袁家屋	3,700	1,850	1,850	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700
邵弼塵	淄川大峪口	3,500	1,750	1,750	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

煤		邱		章		田																			
						區					河					西					部				
						淄博	博	田	共	計	西	河	區	合	計	其	寶	慶	悅	淄	其	義			
啓新公司	協達煤礦	裕興公司	義豐煤礦	天成煤礦	福盛公司	龍山煤礦	官莊煤礦	惠元煤礦	旭華公司	淄博煤田共計	西河區合計	其	寶興煤礦	慶泰公司	悅昇公司	淄博本部合計	其	義和煤礦							
淄川台頭崖莊	淄川梁家店子	章邱三元莊	章邱青野六畝	章邱翟家莊	章邱文祖鎮	章邱宋上莊	章邱普集	章邱陳家林	章邱天尊院	一,三三〇,八八三	二,三三〇,三三九	九,六四〇	淄川東頭樓	博山麥根地	博山西河莊淄川西坡地	博山西河莊淄川西坡地	他	博山李家地							
一,九〇〇	—	八九〇	二六八	—	二,五五二	—	—	一,三四〇	五〇,〇〇〇	七,二六,〇五五	一,七三三,四〇三	五,一八四〇	三,八九〇	一〇,三六六	一五,三三五	四九,〇四四	一七九,六四〇	—							
九,五〇〇	—	四,五〇〇	一,四四〇	—	三,七〇一	—	—	六七,〇七〇	二〇〇,〇〇〇	七,二六,〇五五	一,七三三,四〇三	三,八九〇	六,七六六	九,九六〇	九三,三六六	二〇,四一,六三三	七六,五五〇	—							
一,四,〇〇〇	八,六〇〇	一六,六〇〇	三,二二八	五,〇六六	一,五九一	二,六八八	三,〇六六	一四,〇〇〇	四,二九〇	二,一〇,二六三	七,四七,六三三	一四,〇五〇〇	七,五四〇	九,八四四	一八,五四〇	一〇,四九,四四四	七八,一〇〇	—							
五,九六〇〇	三,四六〇〇	六,四〇〇〇	二,五二二	三,〇三〇	六,六八八	二,三三三	二,三三三	五,六一〇〇	一,四八八	八,三三,〇七一	二,四四,三三三	八,四〇〇,〇〇〇	四,四四〇	五,九〇七	二二,一四〇	二,一〇,三三,三三三	七三,四〇〇	—							
四	五	三	八	?	?	一〇	三	?	四	一〇,七	一〇,七	三	五	六	六	三六	三	二							
五	一〇〇	一五〇	二〇	?	六〇	八〇	三	?	四,五〇〇	—	—	一〇〇	二〇	三	三	—	六〇〇	二〇〇							
—	六	三	三	—	七	—	—	—	二〇	—	—	?	三	六	六	—	?	一四							
—	一五	六	六	—	—	—	—	—	二五	九,五三三	三,五三六	四〇〇	六	一	一七	二,五三三	六〇〇	—							
?	二五〇	三〇〇	一五〇	—	—	—	—	—	一七,〇〇〇	—	—	一〇〇〇	九	一七	一〇,〇〇〇	—	二〇〇〇	一〇,〇〇〇							



















中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

同興 博山	共	華東		共	天		益 成	悅 昇	公 司	共	利		大 成		
		煤			鐵						和			博 山 縣	後 池
		博 山 縣	西 花 縣		博 山 縣	天 鐵 縣					太 平 嶺	博 山 縣			
煤塊	計	煤粉	煤塊	煤粉	煤塊	煤原	煤烟	煤原	計	煤原	煤塊	煤原			
八六〇〇	二,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	無	無	無	一八,〇五	二五	六五、八四	無	無	六、五			
三三、一〇	二,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	三、九六	六	五、三四	三三、二四	二、五二	五、八四	五、九六	二、六六	六、七六			
三、九〇	四、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、八六	八	五〇元	二八、四八	二、三五	五、八二	四、九	一、三六〇	五、八五			
六元	平均每噸三元	每噸二元	每噸六元	每噸二元八角	每噸五元六角	二元	四元五角	二元	一、三、五、八、八、〇	二、四、五、五、五	六、六、三、二、五元	每噸四元五角			
三、五〇〇	三、五〇〇	一、五〇〇	二、〇〇〇	七	七	一噸	三、五〇〇	一六八	六、〇五	五、七七	三、八	二、六三			
三、〇	五、〇〇〇	三、〇〇〇	二、〇〇〇	無	無	無	七、三、八、〇、四	二、六四	六、〇五	無	無	六、五元			
	六、〇〇〇工		七、一、五		七、一、五名	一〇、二、五個	七、三、八、六	二、六三	六、〇八〇人	鐵木石工 九〇〇〇 一〇、〇〇〇	探炭工 七、六〇〇 上下工人 五、四〇〇	天三九人			
	三日		二、二天		二、二天	二、二天	二、二天	二、二天	二、二天	天	作三〇	日			
註後							民國二十三年份		二十三年份			本表所填係 民國二十三年份			





中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(K) 八〇

新裕煤礦公司	張家莊	煤統	1,100	八、五〇	六、二二	每噸五元	1,010元	1,130	七、四〇〇	日	註後
利達煤礦	章邱縣 周家林										
華東煤礦											
博山同興煤礦											
窩南頭礦廠											
大成煤號											
惠通煤號											
華寶謙記煤礦股份有限公司											
華盛煤礦公司											
新裕煤礦兩合公司											

本礦於二十三年二月開工，試探迄今，尙未透煤。  
 (1) 工數只限井下，全年計六千工，井上人工未計入。  
 (2) 工作日數與工數兩欄數目，係塊煤與粉煤合計。  
 二十三年度，售出價目係在礦實價，工數係全年井下井上工人共數(每工時高八四時或一二四時)。  
 二十三年二月開工，撤水至四月，始行出煤，七月一日為雨水所阻，停班撤水，至十一月二十五日，始再開班出煤。  
 二十三年春開採，因於資本短少，時作時輟，并屢遇水，空至十二月十六日始行採透出煤。  
 二十三年一月開辦，計擊煤井二個，因煤層太薄，煤質又劣，進行無利，於四月杪停辦，現正籌備繼續開採。  
 自用原煤分爐房用煤每日約二噸三成，全年共用八百四十一噸，日用原煤每日約四成共一百四十四噸，煉焦用煤一百六十八噸，工數每日每工可採入成，煉焦每噸約工二人，本礦以公辦為單位。  
 本年二月二十五日見炭，工作至三月二十七日，即被劉匪將礦場搶劫一空，茲後繼續集工打水，奈因夏季雨水過大，至今仍未開工，銷路不暢，前均用土法採取，產量甚微，今擬按設汽機，不日完備開工。  
 一本礦烟煤渾合，銷售不分塊煤粉煤，故僅有統煤一項。  
 一本礦每逢陰曆年停工十日，餘均一致工作。

五 河北省

(1) 全省各煤礦產額表(二十三年度)

公司名稱	產額(噸)	公司名稱	產額(噸)
開灤煤	四,二二五,〇二二,〇〇〇	井陘礦	七五三,〇〇〇,〇〇〇
門頭溝煤	四三八,三〇〇,〇〇〇	臨城礦	一六九,六六四,二〇〇
柳江公司	一五六,二二七,二二八	務局	一四〇,〇四八,〇〇〇
其他	二,一一七,六九二,六二二	怡立公司	一四〇,〇四八,〇〇〇
共計	七,九九九,九六四,一〇〇		

日	二十二年	二十三年
日本	二八一,九〇〇	四六七,七〇〇
上海	一,〇四九,八〇〇	一,一〇二,八〇〇
廣東	二〇二,五〇〇	二二三,二〇〇
香港	五一,六〇〇	二四,一〇〇
其他	四三一,二〇〇	四八五,六〇〇
共計	二,一〇七,〇〇〇	二,三三三,四〇〇
外船用煤	一二六,九〇〇	一三七,九〇〇
開灤煤運至秦皇島數量	二,四〇二,六〇〇	二,七〇七,八〇〇

(2) 開灤煤由秦皇島輸出噸數

六 河南省

(1) 民國二十三年度各煤礦明細表

礦廠名稱	礦區位置	種別	上年餘數	採出數	賣量	價目	自用數	餘存數	工數	工作日數	備考
振興煤礦	濟源縣北	火炭	二千噸	無	一千噸	每噸洋四元	無	一千噸			本礦二十
興煤礦	鄉距城二里	火炭	無	無	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百八十噸			工上年未開
興煤礦	村十里	火炭	無	無	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			列上年所
興煤礦	方一帶地	火炭	三萬三千噸	無	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			貨一數列二
興煤礦	共計	火炭	三萬五千噸	無	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			年係上年十
興煤礦	共計	煤末	三萬五千噸	無	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			度十餘
興煤礦	共計	鍋爐碎	無	無	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			產
興煤礦	共計	一二三號作	二一〇〇噸	二五,〇〇〇噸	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			
興煤礦	共計	玉河炭	無	一〇,〇〇〇噸	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			
民有煤礦	博愛縣後	玉河炭	無	一〇,〇〇〇噸	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			
民有煤礦	新莊	玉河炭	無	一〇,〇〇〇噸	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			
民有煤礦	共計	煤末	三〇〇噸	一五,〇〇〇噸	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			
民有煤礦	共計	鍋爐碎	無	二五,〇〇〇噸	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			
民有煤礦	共計	一二三號作	二一〇〇噸	二五,〇〇〇噸	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			
民有煤礦	共計	玉河炭	無	一〇,〇〇〇噸	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			
協盛煤礦	宜陽縣南	有烟粉煤	四百四十三噸	二,七七八噸	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			
協盛煤礦	鄉柏坡竹園	有烟粉煤	四百四十三噸	二,七七八噸	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			
協盛煤礦	共計	有烟粉煤	四百四十三噸	二,七七八噸	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			
大昌煤礦	安陽縣西	無烟煤	無	九千二百噸	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			
大昌煤礦	鄉中城村	無烟煤	無	九千二百噸	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			
大昌煤礦	共計	無烟煤	無	九千二百噸	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			
有限公司	地方	粉塊煤	無	七千三百噸	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			
有限公司	地方	粉塊煤	無	七千三百噸	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			
有限公司	共計	粉塊煤	無	七千三百噸	每噸洋二元五	二百四十噸	無	七百六十噸			



中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(K) 八二

(2) 民國二十四年(至四月底止)各煤礦明細表

礦廠名稱	礦區位置	種別	上年餘數	採出數	實量	價目	自出	用餘	存數	工數	工作數	備考
六河溝煤礦		原煤	六,四八〇.〇噸	二,六三三.〇噸	二,六三三.〇噸	每噸一元五角五分五釐	無	二,一八三.〇噸	三,七〇一.〇噸	每日平均 裏工二七〇名 外工二七〇名	三日	
中華煤礦	宜陽縣	粉煤	無	三,千六百二十五噸	三,千一百二十噸	每噸一元五角二分五釐	無	二百八十三噸	三,七〇一.〇噸	每日平均 裏工二七〇名 外工二七〇名	三日	

礦廠名稱	礦區位置	種別	上年餘數	採出數	實量	價目	自出	用餘	存數	工數	工作數	備考
鴻利煤礦	滎陽縣 徐莊	無烟煤末	無	約六十萬公斤	約六十萬公斤	每公斤十文	無	無	無	約三百餘人	每月七	
中順豫	濟源縣	粉煤	七,〇〇〇噸	一五,〇〇〇噸	一〇,〇〇〇噸	四,三〇〇元	三五噸	一,七五〇噸	一五,〇〇〇噸	每日平均 裏工二〇〇名 外工九〇名	五日	見後
六河溝煤礦		烟煤	三,七二五噸	八,一四〇.九噸	一〇,一〇一.〇噸		二〇,四一四噸	五,八〇〇噸	七〇一噸	每日平均 裏工二〇〇名 外工九〇名	二天	
中華煤礦	宜陽縣	粉煤	二,二九噸	四,二一六噸	四,二一六噸	每噸一元二角	三七噸	七〇一噸	三,三七噸	每日平均 裏工二〇〇名 外工九〇名	二天	
大順煤礦	林縣 凌集	烏煤		二,〇〇〇噸	一,〇〇〇噸	六,〇〇〇	五〇噸	五〇噸	五〇噸	每日平均 裏工二〇〇名 外工九〇名	二天	
大順煤礦	村	明煤		一八,〇〇〇噸	七,〇〇〇噸	三,七五	五〇噸	一〇,五〇〇噸	一八,〇〇〇噸	每日平均 裏工二〇〇名 外工九〇名	二天	
中順豫	共計			一〇,〇〇〇噸	八,〇〇〇噸	三,三三〇	一,〇〇〇噸	一,一,〇〇〇噸	一〇,〇〇〇噸	每日平均 裏工二〇〇名 外工九〇名	二天	見後

本礦每年採煤，上半年自元月起至四月底止，即行停工，因雨量過大，不便採取，下半年自十二月開始工作，全年採煤期間計五個月。本礦逼近洹河，時夏季雨水盛行，山洪洶湧，即須停止開採，每年約自九月上工，至次年六月停工，烏明各煤，因本地方不需要煤塊，於專採煤粉時，不過略帶少數供礦內鍋爐燃燒，故未分填煤塊，二十二年始領照挖井，未曾採煤。

(3) 中福聯合辦事處之整理概況

產銷方面之整理

(一) 裁汰員工 該廠自裁汰員工後，每月開支計者一萬數千元，茲將二十三年八九十一、四個月，兩廠職工及裏外工之薪資，列表如左：

九 月			八 月			數 人	職 員
合 計	第 二 廠	第 一 廠	合 計	第 二 廠	第 一 廠		
98	39	59	104	45	59	(元)水薪	員
6,597.70	2,481.20	4,116.50	7,032.80	2,722.80	4,310.00	(元)水薪	員
76	31	45	76	31	45	(元)水薪	員
1,570.13	668.37	903.76	1,785.18	740.18	1,045.00	(元)水薪	員
174	70	104	180	76	104	(元)水薪	合 計
8,167.83	3,147.57	5,020.26	8,817.98	3,462.98	5,355.00	(元)水薪	合 計
2,570	1,163	1,405	2,632	1,149	1,483	(元)資工	裏 工
43,280.36	18,781.44	24,498.92	44,250.40	18,794.21	25,456.19	(元)資工	外 工
6,991	3,749	3,242	7,749	3,392	4,357	(元)資工	合 計
70,361.67	33,909.31	36,452.36	74,183.48	34,922.79	39,260.69	(元)資工	合 計
9,561	4,914	4,647	10,381	4,541	5,840	(元)資工	員
113,642.03	52,690.75	60,951.28	118,433.88	53,717.00	64,716.88	(元)資薪	計 工
9,735	4,984	4,751	10,561	4,617	5,944	(元)資薪	員 計
121,809.86	55,838.32	65,971.54	127,251.86	57,179.98	70,071.88	(元)資薪	員 計

十 月			十 月		
合 計	第 二 廠	第 一 廠	合 計	第 二 廠	第 一 廠
77	35	42	77	35	42
6,150.00	2,638.00	3,512.00	5,806.00	2,409.00	3,397.00
43	17	26	44	17	27
1,081.00	446.00	635.00	1,083.38	424.00	659.38
120	52	68	121	52	69
7,231.00	3,084.00	4,147.00	6,889.38	2,833.00	4,056.38
2,076	1,011	1,065	2,092	1,015	1,077
34,691.79	15,943.2	18,748.67	36,860.35	16,918.08	19,942.27
8,012	4,291	3,721	7,525	3,818	3,707
73,960.92	37,810.98	36,149.94	71,554.44	35,257.98	36,296.46
10,088	5,302	4,786	9,617	4,833	4,784
108,652.71	53,754.10	54,898.61	108,414.79	52,176.06	56,238.73
10,208	5,354	4,854	9,738	4,885	4,853
115,883.71	56,838.10	59,045.61	115,304.17	55,009.06	60,295.11

(二) 節省材料 合併兩廠材料股為材料庫，不獨節省薪資，即於驗收材料亦可劃一，且大批採購，價值亦可特別減低，管理稽核亦較便利，并積極縮材料之領用，舊料之整理，廢料之利用，計自二十三年八月至十一月間所節省之材料費，為一萬餘元。

(三) 增加碎炭 碎炭市價較末煤高三四倍，市場需要亦較大，故多出碎炭一分，即減低成本三四倍，第一廠在淹水前，僅占百分之二七，水勢大減後，碎炭成

中國經濟年鑑 第三編 第十一章 礦業

(K) 八四

分逐漸增高，至十一月份達百分之三十五，二廠平均碎炭成分約百分之三十六，現在每月較整理前增加碎炭一萬餘噸，即每月增加收入十萬餘元。

(四) 合併機廠 第一及第二礦廠之機械廠內，原均有機工木工翻砂等廠房之設備，茲將此等廠房合併為一，所需工料既可減少，而工作效率及製造品質，亦可增高。

(五) 劃一電氣管理 該處原有之電機，或歸第一廠管理，或歸第二廠管理，事權向無規定，現將兩廠及各處所有電機工程，概歸電氣工程師管理，以一事權而謀整理，並附設電機庫房一處，將各處不急用之備件，悉存庫房。

(六) 減低工程成本 以上諸端皆屬之工程方面者，自整理以來，效果顯著，茲將八月至十一月間之產量，成本列後：

份	八		九		十		份
	第一廠	第二廠	第一廠	第二廠	第一廠	第二廠	
每月產額(噸)	六,九七〇	四,一六五	六,五五五	六,八七五	六,五六二	六,六〇四	七,三三六
每日平均(噸)	一,七七一	一,三三九	一,八〇六	一,七二六	一,三九四	一,三三〇	二,〇〇五
碎炭成分	一七.七%	一五.五%	二〇.〇%	一五.六%	三三.八%	三三.七%	三三.七%
每噸成本(元)	二.四七	二.〇五	二.二六	二.一九	二.〇七	二.〇四	二.〇元

按以前平均碎炭成分二成五計算，(煤末硬碎等七成五，以平均售價三元計算，玉河炭鍋爐碎等二成五，以平均售價七元計算)，每噸平均售價不過四元，若按十一月份碎炭三成六計算，每噸平均售價可增四角五分，售價又無形增高，十一月之成本較上年度兩廠總均價減低九角，再加上此種因碎炭提高所增之售價共一·三四元，即成本減低之共數，以每月出產八萬噸計，全年可節一百二十萬之譜。

(七) 發展銷路 一面開闢新市場，一面派員分赴各地經理處詳細考查以往營業情形，以資改進，並剔除積弊，公佈煤價，使各商號燃戶實得單價之惠，又次第規定各地售價，以杜各銷處及各煤商私自抬價；又因該礦存煤達七十餘萬噸，積壓成本，無法變售，因而借欠外債，坐耗巨額息金，而各種開支急須現款，無法張羅，加之旺月將近，急須爭回市場，乃實行減價推銷。又該礦除道清、平漢、隴海各路各大商埠，以及京津、滬、漢均已設經理及分銷處，仍積極擴大銷售外，又新闢銷場數處，如洛陽軍分枝合作社、津浦路濟南、蚌埠等處。再近年常口、柏山一帶小窰大事開採，成本甚低，在道清、平漢、隴海各線，與該礦之煤競銷，使該礦受創不小，雖經一再減價推銷，而各煤商仍觀望不前，希圖賤購，長此以往，必至兩敗俱傷，因是該礦乃與各小窰協商合作，擬定收買草案，尙待進行。銷路方面，經此整理後，銷量大增，茲將二十二及二十三年之九、十、十一月銷量及售價列表：

份	一		份
	第一廠	第二廠	
四,〇五三	四,八六六	八,四四〇	九,一五二
一,三九四	一,四九三	二,八八七	三,六三〇
三〇.五%	三〇.七%	三三.七%	三三.七%
一.九〇	一.七五	二.〇元	二.〇元

	銷煤噸數	售價元數
二十二年九月	六二、六三一·九四五	四五五、〇二九·九七〇
二十三年九月	四三、五五〇·四八〇	三〇一、〇〇一·二五五
二十二年十月	二七、三八八·五九九	二三〇、九九二·〇二〇
二十三年十月	八八、八二一·三七〇	五七一、八一九·一三〇
二十二年十一月	八〇、八九九·一一一	五八一、八一五·四七五
二十三年十一月	一一二、二五九·四〇五	七六九、九七〇·一四〇

註 二十三年九月份係從十二日算起，僅二十天，故較減。

(八) 發展運輸 該礦運輸全賴道清路為根基，惟過去積欠道清路運費多至三十二萬餘元，該路已聲言拒絕裝運，而該路局曾於民國八年因車輛借款合同，尚短欠福公司借款，經三方往返商洽，中福聯合辦事處九代該路局向福公司償還此項合同中債務之一部分，計洋三十萬元，以抵償該處所欠該路之運費，其餘二萬餘元則列入欠賬內，經該路呈奉鐵道部核准，並互換票據在案，惟該處並無現款可資過付福公司，將此項過撥之三十萬元，以年息六釐五借與該處，訂立借款，經省府核准在案，於是道清之停運解決，並與該路商定由十月份起，實行記賬運輸，每月繳付運費六萬元，按期結算，又分向平漢、隴海、北寧、津浦等路接洽撥車，亦得良好結果。茲將二十三年六月至十一月該礦與土鑿運煤數量之消長，列表次：

六	本礦運出噸數	土鑿運出噸數
月	二二、八四二	七、八三〇

七	月	三三、四九〇	一四、二四九
八	月	五一、一八三	七、二二五
九	月	五三、七〇二	一〇、一一一
十	月	六三、六九八	七、九三六
十一	月	七六、一二五	七、八二八

附註 本礦十一月份較二十二年同月增運四七、三二二噸，土鑿十一月份較二十二年同月減運七、七二九噸。

(4) 六河溝煤礦之產銷資債及成本

民國二十三年度各井產量如左：

和順井	台寨	小寨	合計
一三七、六一九噸	三九二、三五九噸	四六、二〇八噸	五七六、一八六噸

民國二十三年度銷量四七八、四七四噸。

該礦原設有營業處及各辦事處，專司平漢路沿線推銷事宜，自民國二十四年一月起，改歸鹽業、金城兩行與該礦合組之通和公司承辦，並先後取銷營業處辦事處，停止原有包商合同，統由通和公司經銷，以一事權，礦勛在礦裝運後，由通和公司墊交每噸山價三元五角入賬，每月一結。

資本及負債 該礦創辦於清光緒二十九年，資本二萬兩，嗣後陸續添籌半股半借，至光緒三十年有股金三十四萬兩。民國以來迭經改組，迨至正式成立，向

中國經濟年鑑 第三編 第十一章 礦業

官廳註冊時，所報資本為三百萬元，現在陸續添加，總資本已增至六百萬元，內以一百萬元列入優先股，餘為普通股，所負借款至今已達七百餘萬元之巨，其中以公司債票抵押者有四百萬元，北平鹽業、金城兩行所持債票居大半數，其餘債票屬諸匯業銀行，轉賬之存戶，及其他零星債戶，至未發債票各戶，則約定以現金分期攤還。

開支及成本

(一)二十一年及二十二年實際所用採煤成本

採煤費	二一十一年	二一十二年
採煤費	三、四五四、九四四、九二元	三、五八八、七一五、〇一元
收買土薯煤費	七八、五一九、〇五元	三四七、一四元
共計	三、五三三、四六三、九七元	三、五八九、〇六二、一五元
採煤	六九二、九〇二噸	五一三、六八一噸
收買煤	五六、二二三噸	八七噸
共計	七四九、一一五噸	五一三、七六八噸
總成本	四、七一七元	六、九八六元
本年共付利息	六四五、九〇八、五四〇元	七九七、七四八、一六〇元
每噸煤攤負利息	〇、八八〇元	一、五五四元
收買土薯煤價每噸合	一、三九七元	三、九九〇元
自採煤用費	四、九八六元	六、九八六元
自採較收買	三五八九元	二、九九六元

(二)二十三年六月核計之數(本月產煤以四萬八千噸計)

(K)八六

(子) 鑛廠經付費用(六月份)	每噸煤攤
(1) 採煤工資(連裝卸包工一概在內)	五五、〇〇〇元
(2) 材料費	一〇、〇〇〇元
(3) 井外各廠裏工	二六、〇〇〇元
(4) 各項機械材料	一五、〇〇〇元
(5) 鑛廠員司薪水	一〇、〇〇〇元
(6) 附屬費用(如警所、醫院、鑛校等等)	六、〇〇〇元
(7) 事務費(津貼、攤款、雜費等)	一二、〇〇〇元
共計	一三四、〇〇〇元
(丑) 總公司一切開支	一一、〇〇〇元
(寅) 營業費(包括鑛產稅、鑛區稅、道租、路耗、佣金、雜費)	四五、〇〇〇元
(卯) 利息	五〇、〇〇〇元
每月開支總計	二四一、〇〇〇元

(5) 湯陰煤鑛產銷近況

湯陰煤鑛現有土薯八家，每日每家產百噸左右，銷本地附近居民，因交通不便，各鑛銷路所恃惟此，因柴草甚稀，附近各地燃料亦恃諸鑛供給，煤價甚廉，每噸售洋二元以下。各鑛有時僅鑛工三人，其二人在井下挖煤，其一人在井上絞煤，因一人之力不夠，須待買主前來幫同絞起，可見其開支之小，雖售價低廉，而仍能獲利。

七 山西

(一) 全省各縣煤礦產額表(二十三年度)

縣別區	數產	額(噸)
平定	九五	一、五六〇、五〇〇
大同	三〇	六八〇、八五〇
潞城	一七	四三一、七九一
高平	六二	八八、五七三
醇縣	三二	六二、四九〇
臨汾	三〇	五五、七〇九
昔陽	一九	五三、八一七
靜樂	六八	四五、一七〇
襄垣	三九	三八、五〇八
清源	二〇	三七、一〇〇
長子	二二	三〇、〇九三
左雲	三一	七五二、七八五
懷仁	二〇	四三五、四七三
陽城	七七	九四、一七九
壽陽	二四	七三、五四一
晉城	四二	六一、四二六
廣靈	二六	五四、六五〇

長治	七九	四五、二一五
隰右	五六	三七、七二一
孝義	三一	三七、三三一
平遙	一六	三〇、四〇〇
洪洞	一〇	二七、五〇〇
文水	二五	一三、七七〇
介休	五四	二〇、二八二
壺關	三七	一八、六〇五
渾源	四六	一四、七六四
陽曲	三五	一二、三七八
興縣	一〇	六、七三七
寧武	三一	六、一七〇
孟縣	三七	五、四五〇
隰縣	一一	四、三〇四
鄉寧	三八	三、八七四
靈邱	三九	三、五二五
趙城	一〇	二、三二五
蒲縣	一五	二、〇〇三
神池	一一	一、八六〇
右玉	一一	一、〇二一

離石	二七	二二,五二三
浮山	一七	九,五六六
和順	一一	七,三九八
陵川	二二	一八,六六七
榆次	二八	一五,〇九五
太原	六二	一二,六一五
臨縣	二〇	一〇,五一〇
遼縣	四二	九,二二四
偏關	一七	七,〇七〇
河曲	二二	六,六六一
五台	七五	五,六五二

(2) 永定莊礦二十二年探煤經費一覽表

類別	月份	煤洞呎數		大二炭噸數		煤洞噸數		煤洞噸數		煤洞噸數		煤洞噸數		煤洞噸數	
		回探	方數	回探	方數	回探	方數	回探	方數	回探	方數	回探	方數	回探	方數
一	一	三,三〇〇	三,三〇〇	一,六六六	一,六六六	四,九〇〇	四,九〇〇	一,三三七	一,三三七	五,三〇〇	五,三〇〇	六,六六六	六,六六六	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
二	二	一,二六三	一,二六三	一,五五五	一,五五五	三,六六六	三,六六六	一,二二二	一,二二二	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三
三	三	一,七五七	一,七五七	二,五五二	二,五五二	六,六六六	六,六六六	一,二二二	一,二二二	四,四四四	四,四四四	四,四四四	四,四四四	四,四四四	四,四四四
四	四	一,七五七	一,七五七	三,三三三	三,三三三	一,六六六	一,六六六	一,六六六	一,六六六	一,六六六	一,六六六	一,六六六	一,六六六	一,六六六	一,六六六
五	五	七,九〇〇	七,九〇〇	三,三三三	三,三三三	四,六六六	四,六六六	七,五五五	七,五五五	四,六六六	四,六六六	四,六六六	四,六六六	四,六六六	四,六六六
六	六	—	—	二,七六六	二,七六六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七	七	—	—	二,六六六	二,六六六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
八	八	七,三〇〇	七,三〇〇	三,六六六	三,六六六	三,五五五	三,五五五	四,九〇〇	四,九〇〇	二,五五五	二,五五五	二,五五五	二,五五五	二,五五五	二,五五五
九	九	七,三〇〇	七,三〇〇	二,六六六	二,六六六	一,四六六	一,四六六	三,三三三	三,三三三	一,七七一	一,七七一	一,七七一	一,七七一	一,七七一	一,七七一
一〇	一〇	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	二,四六六	二,四六六	二,二二二	二,二二二	四,九〇〇	四,九〇〇	四,九〇〇	四,九〇〇	四,九〇〇	四,九〇〇
一一	一一	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	一,八五五	一,八五五	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三
一二	一二	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	一,八五五	一,八五五	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三
合計	合計	六,六六六	六,六六六	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三	三,三三三

平均每噸價五・四元,共值二七,〇〇〇,〇〇〇元。

總計	一,八九六	五,〇三四,七〇二
其他	三三二	二七,五〇四
沁水	八	一,五八五
朔縣	一五五	一,九四四
汾西	三九	二,一六六
保德	二五	二,七六七
更城	一一	三,七〇三
沁源	九	四,一八四
安澤	一六	五,〇一七

大巷尺數	總計		採煤消耗		機器修理		機器消耗		機工工資		採煤材料		採掘工資		井下運輸		地面運輸		數
	煤洞	探回	煤洞	探回	煤洞	探回	煤洞	探回	煤洞	探回	煤洞	探回	煤洞	探回	煤洞	探回	煤洞	探回	煤洞
五三	四五四·四	三八九四·二	三〇·六	一〇三·〇〇	九·三	八四·七四	三九三·八三	三〇三·〇〇	一四七·六九	天三〇·〇〇	四〇五·〇〇	一六〇·五	三〇三·三〇	三二五·〇〇	一四八·〇〇	三〇·〇〇	三〇·〇〇	六〇·〇〇	一六六·〇〇
八三	三、九五〇·六	三、八四〇·二	三〇〇·〇〇	七〇〇·〇〇	八四·七四	八四七·四	三〇〇·四三	一九七·六九	四五六·五	四〇五·〇〇	三〇四·七三	四〇〇·二	二、〇四七·一	八〇〇·五	九四〇·二	二、〇四三·〇	二六〇·〇	二六〇·〇	一、五五〇·〇〇
一四三	四、五五〇·八	五、七二一·五	四〇〇·〇〇	七〇〇·〇〇	一五七·六	二五三·六三	三〇〇·四七	二七〇·〇〇	四二二·三	四二二·三	五〇〇·〇〇	一、〇〇〇·〇〇	一、〇四九·九	一、〇四三·〇	二、〇三九·一	二、〇三六·六	五七〇·五	三五六·〇	三、〇〇〇·〇〇
一三〇	六、六三九·六	三、〇六八·三	一〇〇·〇〇	一〇〇·〇〇	一九六·〇	八五五·五	一七四·四	四〇〇·〇〇	一、〇〇〇·〇〇	一、〇〇〇·〇〇	三、〇〇〇·〇〇	七〇〇·〇〇	三、〇四六·三	二、〇四三·〇	二、〇三九·一	二、〇三六·六	六〇〇·〇	四五六·〇	三、八六八·〇〇
九四	七、九四〇·〇	三、七〇〇·〇	七五〇·〇〇	二五〇·〇〇	二五〇·〇〇	一五〇·〇〇	三〇〇·〇〇	五七〇·〇〇	三、〇〇〇·〇〇	三、〇〇〇·〇〇	一、〇〇〇·〇〇	六〇〇·〇〇	二、〇四三·〇	二、〇四三·〇	二、〇三九·一	二、〇三六·六	一四〇·〇	二四〇·〇	四、五八〇·〇〇
一七	—	—	四六〇·〇〇	—	五八六·六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三、〇〇〇·〇〇
一〇一	—	—	六〇〇·〇〇	—	四〇〇·〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三、〇〇〇·〇〇
二九	—	—	五〇〇·〇〇	—	四〇〇·〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三、〇〇〇·〇〇
一〇三	—	—	七〇〇·〇〇	—	五〇〇·〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四、〇〇〇·〇〇
二二	—	—	八〇〇·〇〇	—	六〇〇·〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五、〇〇〇·〇〇
一三三	—	—	九〇〇·〇〇	—	七〇〇·〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六、〇〇〇·〇〇
一四	—	—	一〇〇〇·〇〇	—	八〇〇·〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七、〇〇〇·〇〇











中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(5) 煤哈嶺二十三年度採煤經費一覽表(附工程費表)

採煤消耗 元	採煤材料		井下運輸		地面運輸		採煤工資		總產煤噸數	噸		產		回探方數	類別	月份
	洞	採	洞	採	洞	採	洞	採		合	噸	大	噸			
三六·九七		八六·七	三八〇·五	七六·九七	一五·六	四〇·二六	一、四二·五	一、四三·九	六、一六九	一、六八	三三	三三	三三	三〇·六	一	
三六·七三		三八三·二	四〇〇·七	二七四·七	一八二·八	三三·四七	一、〇〇一·六	八四三·三	三、五七一	一、五五	二〇	二〇	二〇	六·五	二	
六八·三		五八〇·二	四九七·三	三三三·四	二〇三·七	一、九三	一、四三三·九	六、七二〇	四、四四五	二、四七	四	四	四	九·三	三	
九一·一五		五三三·九	七五七·四	三五五·九	二五三·三	一、七〇六	一、八八八·六	一、〇七八·一	一〇、七六八	五、八〇一	四	四	四	二九·三	四	
四八·八		五九七·元	六四九·五	四三三·八	二六四·九	三三·七〇	一、六三三·六	一、五九一·五	六、五六六	三、三三六	七	七	七	一〇·五	五	
三一七·五		七三三·二	六四〇·〇	八〇三·八	七〇·九	七〇·一	三、三三三·三	三、三三三·三	七、六三六	三、五	六	六	六	三二·六	六	
二九七·三		六二四	六二四	六四六·六	四九七·五	六六三·三	三、五九六·九	三、五九六·九	九、二四九	五、三	七	七	七	三九·一	七	
二〇四·五		七七七·五	一三三·七	五八·六	三三·四	六六三·五	四、四四二·元	三、八四二·五	八、二五八	七、四七一	八	八	八	二五〇	八	
一一〇·七		七三〇·六	一、二〇·五	八三·五	五五·七	五五·七	四、九四四	三、二〇六·九	六、六七〇	六、六	九	九	九	一九·四	九	
一一六·五		四四·五	一、〇〇·五	七三·七	六七·七	四三·三	五、一六	一、四二·三	八、四〇一	一〇·六	一〇	一〇	一〇	三三·六	一〇	
一三四·〇		五七七·六	三〇七·〇	三三三·七	一五八·四	五五·四	五、二六	二、〇七五	八、六三五	一、七四八	一一	一一	一一	三〇·三	一一	
七〇·八		九一·四	六四二·五	九元三	二五三·六	五〇·四	五、四七	二、八五三	一〇、九六四	六、六三	一二	一二	一二	三六·二	一二	



(2) 各煤礦產銷及價值表

公司名稱	二十一年		二十二年		二十三年		備考
	產額(噸)	販賣噸數	產額(噸)	販賣噸數	產額(噸)	販賣噸數	
厚生煤礦公司	一三,二〇〇		二八,五〇〇		一八二		二十三年鑛巷倒剝甚多故出煤減少
新村溝煤礦	三,二四〇	三,二二八	三,四六一	三,四五八	六八〇		
廟底溝煤礦	一,七〇二	一,六九八	一,七〇四	一,七〇〇	六八〇		
灰堆坡煤礦	二,〇一四	二,〇〇四	二,一一五	二,一一二	六八〇		
陳家河煤礦	四,一五七	四,一五四	五,〇五九	五,〇五五	七二〇		
熊陽炭廠	一九八	一一四	一七六	一四七	三二〇		上項煤係鑛山零售

九 湖北省

(1) 煤業之概況

鄂省為多山之區，鑛藏甚富，煤質極豐，惟為財力所限，不能盡量開採，如鄂境內之武昌、嘉魚、蒲圻、大冶、陽新、黃岡、監利、興山、秭歸、巴東、房縣、枝江、宜都、長陽、五峯、建始、恩施、利川、咸豐等縣，均有煤礦生產。據湖北建設廳之調查報告，最近鄂省內業經開採之煤礦，合計不下七十處左右，以武昌、大冶、秭歸、興山、陽新、嘉魚、蒲圻、宜都等縣為最多。鄂省內之煤礦生產儲量，雖頗豐富，但產量則不甚多，遠不足以應付全省人民之需用，更因各地煤礦運輸既不便利，運費及成本又過於高昂，以致消煤最多之地方，如武漢一帶，乃時有煤荒之虞，在此等情勢之下，外煤利用其成本低廉乘虛而入，跌價傾銷，國煤市場被其侵佔，國營及民營煤礦事業，愈難期其向上發展。據湖北建設廳最近之統計，民國二十二年度鄂省境內之民營煤礦重要者約有十一家，產煤總量合計約達四十八萬五千噸左右，此外尚有不止民營

小煤業，但皆無甚設備，且時作時輟，資本及產額均難確定。茲將鄂省境內重要民營煤礦公司，每年產額及礦區面積分述於次：

- 富源公司 每年產量十八萬噸，礦區面積為四八八公頃。
- 富華公司 每年產量十四萬噸，礦區面積為四五二公頃。
- 利華公司 每年產量未詳，礦區面積為四九五公頃。
- 德和公司 每年產量二萬噸，礦區面積為三一公頃。
- 四維公司 每年產量五萬噸，礦區面積為三四公頃。
- 裕鄂公司 每年產量二萬噸，礦區面積為九八公頃。
- 福東公司 每年產量二萬五千噸，礦區面積為五三三公頃。
- 裕利公司 每年產量一萬噸，礦區面積一七公頃。
- 正大公司 每年產量二萬噸，礦區面積一八公頃。
- 元合公司 每年產量一萬噸，礦區面積二六公頃。

桂元公司 每年產量一萬噸，礦區面積一六公頃。

合計每年產量四十八萬五千噸，礦區面積一七二八公頃，資本額數共一百八十九萬元，最近湖北建設廳為開闢鄂省礦產，曾派技士王德森前往秭歸縣採取烟煤二百五十噸，運省研究，茲王技士業將此項烟煤如數採購，於九月二十日運抵省垣，聞建廳即將此項烟煤飭交航政處試用，如試驗結果良好，當從事開採云。

(2) 大冶利華煤礦產銷及價值

二十二年產額	一、一三九噸
二十二年販賣數	六一八噸
每噸價值	七·五元
二十三年產額	四七、三三九噸
二十三年販賣數	三四、四六八噸
每噸價值	七〇元
銷場	漢口 上海 南京 鎮江 九江等處

(3) 陽新裕利煤礦公司產銷及價值

二十三年產額	約三千噸
二十三年販賣數	同上
每噸價值	大果十一元小果七元粉六元
備考	本礦尚在工程時期附帶出煤故產量不多但果煤大而堅起火既快熱火更佳灰份少

(4) 湖北大冶富源煤礦近況

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

工程現況 湖北大冶富源煤礦之外關直井，開掘已經十餘年，第一第二層煤，次第告罄。第三層則向東西兩面伸張，由是達第四層，進行採取。其內關向南之中心煤床，由頭層底開平巷約六百公尺強，再開正副直井兩處。現平巷已打通四百餘公尺，其餘百餘公尺及直井工程，約二十四年可以竣工。現出之煤，係由老直井第三層東西巷內及南平巷第一層舊井底之西路各處採掘。每日產量約五百噸。二十二年所購之四百馬力煤氣機即裝置就緒。大小舊機三部，亦已修竣，現與新機交換使用，於防水設備頗有相當把握。

二十二年度經費產銷及成本 該礦二十二年度產煤總額為一三一、四九七·五噸，售煤總額為一三四、〇七八·五噸。二十一年度餘存利益洋一一四、一九三·九二元，本期純益計洋四一、〇八一·〇四元，除股東分配利益十萬元外，二十二年度實存純益洋五五、二五四·九六元。茲將二十二年度一切開支列次：

(一) 經費

薪資	四三、五九四·〇〇元
工資	三九九、三七五·五六
夫馬經費	六六〇〇〇〇
鑛警工餉	一〇、四六五·三〇
醫藥撫卹費	一〇、四八四·二〇
膳費	八、五一九·六一
房地租	二、一〇七·九六
起卸力	一四二、〇六·八〇
工人代表外津貼	一、四二八·五〇



礦業工會津貼	一一,〇〇〇.〇〇
共計	五〇八,七八一.九四

(二) 稅捐

礦產稅	三五,九三四.〇〇元
礦區稅	三,〇八二.五五
礦租稅	二四八.四〇
印花稅	二八四.〇〇
行政警察捐	二,九九二.六七
公益教育捐	五,四三〇.四五
國防經費捐	五,八五二.五二
剿匪捐	五,〇〇〇.〇〇
商會捐	四一〇.〇〇
義賑雜捐	四,四一五.二五
共計	六三,六四九.八四

(三) 材料費

木材	一三九,四四九.五三元
磚瓦	一一〇,九四五.三二
五金電料	六五,四九六.二二
烟煤	一一一,九六七.〇〇

機油	三七,八一.四九
共計	三七五,六六九.五六

(四) 工運雜費

海輪過駁	一五,四九二.三六元
裝機	一,四三一.六〇
小輪租金	五,二一四.七四
窿工加資	五,五五二.五〇
共計	二七,六九一.二〇

(五) 事務營業雜費

鑛警服裝	九五八.〇〇元
軍隊招待費	二六五.七九
鑛區註冊	一,八二三.一七
律師酬勞	六〇〇.〇〇
銀錢餘水	四九.六一
石膏訟案調解費	三,五〇〇.〇〇
優待炭價	五,八四五.〇〇
共計	一三,〇四一.五八

(六) 利息花紅

股息	二八,二〇〇.〇〇元
利息	四一,五五九.四四

鑛師紅利	一〇〇,一〇七〇
役工提賃	一,六四四·一〇
共計	八一,四一四·二四

總共計一,〇七〇,二四八·三六元

在決算中，損失項下應有折舊一門，惟本鑛不列，其所有房屋機器等設備費直接列入損失項下，即作此一年度中之開支，并不視作資產。非僅此也，即全鑛資產亦均視作純益，蓋其原有資本股額二十八萬元已在漢口建築富源里房屋一弄，即以房租付股息外，猶年有紅利可分，鑛山資產視若額外之利潤，無所謂折舊損價諸事也。二十二年度新購機器計洋一六一,一六五·〇六元；若照本鑛舊例，一次算入二十二年度開支內，則共計損失項下洋一,三三一,四一三·四二元。若照普通習慣，其地產新舊機器等，合共洋五十六萬餘元，茲以年派二十分之一計，則損失項下應派折舊洋二八,一六二·八四元，合共為一,〇九八,四一一·二〇元。故其煤炭成本亦可分為兩個算法：一為本鑛舊法，計每噸合洋九·三六元；一為普通算法，計每噸合洋九·三五元。

十 湖南省

(一) 醴陵石成金煤鑛概況

沿革 民二十年，當地袁氏組織石成金公司，呈准領採，以經營失當，無甚進展，卒因債累，將鑛權及全部工程讓於合記石成金煤鑛股份有限公司。合記成立於二十三年十月，繼續開採，生產日增，營業較盛。

位置及交通 鑛場在醴陵縣南一區西岸境，距縣治十二里，與石門口鑛局比鄰。東北距株萍路陽三石站十五里，南距潯淥支流之豆田市約八里。

煤層量質 煤至地層屬侏羅紀，煤層夾於沙岩與頁岩之互層間，走向南北，傾角五度至十五度。已知煤層凡五，現採三層。茲估計此三層之儲量：東西闊三千公尺，南北廣三千五百公尺，平均厚四·五公尺，比重一·三，合計煤量約六千一百餘萬噸；假定可採量為六成，含三千六百六十餘萬噸。煤質為烟煤，無焦性。湖南鑛產化驗所之分析結果，水分三·〇〇%；揮發分二八·三三%；固定炭六三·八五%；灰分四·八三%；硫分〇·五%。

採鑛工程 於鑛層低處開平坑，寬二公尺，沿煤層前進，已達一百九十餘公尺；內敷十二磅鋼軌，自平坑左右向上開巷，穿過煤槽三，採上山，煤放入煤斗，由平坑推出坑，自動傾入煤倉。間亦用人工挑出坑外。全場煤斗約二十具；每斗載煤半噸；運煤車十六輛，每輛載三噸半。由鑛場至陽三石站，築有輕便鐵道，行走小機車，窿水由平坑自動流出，現出抽水設備。通風用自然通風，另有風眼，眼外築烟突，導窿內空氣外出。每日出煤百噸左右，新近又在月塘開一平巷，又擬開直井，設捲揚機提煤，以增產量。地面建有辦公房，工人住所，儲煤場等。陽三石、豆田市、長沙、漢口等處均有煤棧。

運銷現況 本鑛自二十三年十月始接辦，每日出煤一百噸，運銷長沙漢口。鑛場售價六元八角。由鑛場自築輕便路運至陽三石，每噸用費三角。在漢口銷電燈廠、烟廠及和記公司，售價每噸一二·八至一三·六元。在長沙銷慶記公司，售價九·二元。茲將每噸水陸運費列次。

起站	止站	湘鄂	運費	民船	運費
陽三石	株州		一·二六元		一·六〇元
陽三石	長沙		一·六三		二·一五
陽三石	漢口		三·九五		?

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

粵漢路修成後 粵漢南段機車用煤，每月約四千噸；在廣州買進每噸約毫洋十九元半，年約九十餘萬元。本礦距漢口四七二公里，計本礦煤運至漢口運費

四·二五元，加礦場售價，每噸共合洋一〇·〇五元。由礦至粵漢路樂昌四六三公里，較由礦至漢口少九公里，路用煤運費減半計，為每噸二元一角，合售價共八·九〇元，加二申毫洋為一〇·六八元。在鐵路方面，若銷醴煤，每噸可省八·八〇元有奇，一年可省四十二萬元之巨。在鑛廠方面，每月所產，僅供路用尚不足一千噸，自須擴大工程，增加產量；除路用外，以餘量推銷廣州。計本礦煤運至廣州，照普通運費計算，連採運各費，每噸合毫洋十六元二角，較市價約低三元。則將來營業自可望興旺。惟可慮者，近有石門口官鑛之爭銷；外有湘粵政府大規模開採之狗牙洞煤鑛，坐扼湘煤入廣之關門耳。

(2) 邵陽萬安鄉螺絲嶺寶昌煤鑛

位置與交通 邵陽縣第十一區之萬安鄉螺絲嶺煤田，在縣治東南一百里，潭寶公路之新田橋站東南三十五里，西距資江支流邵水之雙江口約四十里，東距湘江支流濠水之余田橋二十五里。上游水淺，秋冬不能行船，春夏水漲，僅通載重三四十擔之小船。水陸交通均屬不便。

地質與煤層 區內地層為一緊逼之向斜，軸向北東至南西，軸心在猪婆冲螺絲嶺一帶。兩翼岩層傾斜均急。西翼傾向南東，傾角約自四十度至七十度；東翼傾向北西，傾角自三十五至六十五度。

地層屬二疊紀。煤系屬斗嶺煤系，厚一百三十公尺，由上而下，計  
紅土層——厚度不一  
黑色頁岩——厚度不詳

駿馬大炭——一至二公尺，平均厚一·〇公尺

黑色油質頁岩——厚度不詳

黑炭——〇·四至〇·九公尺，平均厚〇·六公尺

頁岩及砂岩——六至八公尺

大炭——〇·六至一·三公尺，平均厚〇·九公尺

頁岩及砂岩——七公尺

另夾炭——〇·二至〇·八公尺，平均厚〇·五公尺

砂質頁岩

黃色砂岩頁岩及黑頁岩

煤量與煤質 本煤田長達四十里，寬約半里。就寶昌公司所領鑛區面積南北長一千三百餘公尺，東西寬二百五十至四百五十公尺，計面積四十六公頃三十六公畝——言之，約佔本煤田全面積百分之五。設其可探深度為五百公尺，長一千三百公尺，比重一·二，厚度取其平均之數，則寶昌公司鑛區內儲煤量為

(一) 另夾炭	七八〇、〇〇〇噸
(二) 大炭	一、四〇四、〇〇〇噸
(三) 黑炭	九三六、〇〇〇噸
(四) 駿馬大炭	一、五六〇、〇〇〇噸
共計	四、七八〇、〇〇〇噸

煤質係上等烟煤，灰分不重，焦性亦佳，適於冶煉鋼鐵之用。除「另夾炭」未煤較多外，餘均塊煤較多。茲將湖南地質調查所化驗結果如次：

	水份及揮發份	定	炭	灰	分	硫	磷
另夾炭	二七·六〇	五五·〇〇	一七·四〇	一·三〇			
大炭	二八·六〇	六四·六〇	六·八〇	一·四〇			
黑炭	三三·七〇	五七·五〇	八·八〇	一·六〇			

開採情形 寶昌公司分四廠採煤，均爲土窖。爲財興廠，在豬婆冲，民國二十一年開辦，窿深已達十六丈；一爲再興廠，在黃絲冲之草魚塘，於二十二年十月開辦，窿深亦達十六丈，巷道已與財興廠相通；一曰福星廠，在螺絲嶺楊家牌，於二十二年開辦，窿深二十丈；一曰寶福廠，在螺絲嶺之梧桐樹脚，已辦三年，窿深四十餘丈。各窿均爲長方形直井，窿口長三尺，寬二尺；每廠一對，相距六七丈至十餘丈。一爲出入總道，一爲通風抽水之用。上下用絞盤，絞索繫羅，可容一人；煤可容一擔，用人力絞動。

照明用乾電燈，由廠雇人製造，每月三小時，結洋八分。支柱用松樹，穴者每根重二十五六斤，小者十五六斤，每斤銅元十四文；因頂底均砂岩，用支柱不多。井筒用壁用杉木，價稍昂。抽水用孔明車。

工人 各廠各項工作，如挖、拖、鼓風等均用包工制；惟雜工及車水用雇工。挖工每日分兩班，每班自二人至四人不等，每班每工限定挖煤四十羅，給包價一千二百文，大致只需五、六小時。（每羅官秤重約百餘斤。）鼓風例爲四人，每三小時爲一班。每班每人給錢六百元。所用工具燈火均由廠備；伙食自理。

雜工及車水工，每日工錢一千至一千二百文；伙食由廠供給。財興廠及再興廠現各有工人四十五人，福星廠三十人，寶福廠二十人，總共全礦鑛工一百四十五人。

產額與運銷 財興廠現每日平均出煤一百二十羅，再興一百一十羅，福星八十羅，寶福二十羅，合共每日出煤三百三十羅；每羅合官秤一百一十斤，共計十二噸。

因運輸困難，除本地銷售外，運銷外埠者極少。二十三年春間，曾煉焦數十噸，擬挑至蒸水，運銷衡陽，適久旱水涸，終未運出，所煉之焦仍堆存余田橋堆棧。由續至余田橋陸程二十五里，每擔運費二角二分，每噸合三元四角；此外尙須出棧看守等費。煤價在山零售每日多者四五十擔，少者僅二十餘石；每擔售價最高一角三分，低只一角一分。無甚獲利。

十一 四川省

(1) 各縣煤產量(二十二年度)

江北	七二,〇〇〇噸
大邑	七〇,〇〇〇
南溪	二〇,〇〇〇
萬縣	三〇,〇〇〇
崇慶	三六,〇〇〇
璧山	二五,〇〇〇
其他各縣	四五三,〇〇〇
共計	七〇六,〇〇〇

(2) 黔江縣煤鑛情形

黔江地處邊陲，山多田少，但地利蘊藏特富，煤鐵各鑛隨處皆有，惜該地人民迷信甚深，許多地方不肯開採，尤以煤鑛更盛。全縣各鄉均有煤苗，如縣屬正陽、中

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(K) 1011

塘、正誼、五里、三義、黑溪等各鄉，均有煤礦。其採取之法，多係土法，是以每日產量有限，且多危險，常遭坍塌斃人之慘；然全縣產量，平均供全縣居民三分之二之燃燒之用。

用，價復低廉，每斤不過二三十文。現黑溪一帶所出之煤炭，概係運往彭水所屬之郁山鎮，以作燒熬花鹽之用，每年約數十萬斤。

十二 江西省

民國二十四年度（至四月底止）各煤礦明細表

備考	廠名	廠址	種別	上年餘數	採出數		賣出		自用	餘存數	工數	工作日數
					數	量	數	量				
興隆煤廠	豐城縣西	南十公里	粉	無	四百六十公墩	四百六十公墩	三千六百元	約二千噸	無	三千六百工	九十日	
												煤
豐城通惠煤礦股份有限公司	豐城縣七區崗貝山嶺下壩等處	粉	煤	十噸	三萬噸	一萬噸	每噸約八元	約二千噸	二萬噸	四十八萬工	一百二十日	
												煤
興華煤礦	豐城縣石	粉	煤	十五噸	四萬六千公墩	四萬六千公墩	十二萬五千元	約二千噸	二萬五千噸	二十萬八千七	一百四十六	
												煤
共	計	塊	煤	五噸	一萬噸	五千噸	每噸約九元	五千噸	二萬五千噸	二十萬八千七	一百四十六	
												煤
共	計	塊	煤	無	餘噸	餘噸	五角	一百餘噸	無	百八十七	日	
												煤
備考	本礦因地勢低窪，地腹所含之水分甚多，在一年四季中，惟冬季始可採煤，兼之煤層薄弱，採取惟艱，故全年產量，為數極微。	計	塊	煤	四萬七千五百餘噸	三萬七千八百餘噸	二萬八千七百餘噸	餘噸	二千五百餘噸	一萬一千四百八十	百八十七	日

十三 廣東省

(1) 富國煤礦近況

探探工程——本年度產煤一二五〇四五噸，內白煤八一、二九九噸，烟煤四三、七四六噸。最高約日產五百噸。舊窿因離地較深，日產已逐漸減少。本礦輕便路運量為一二七、八七九噸，自礦運者為一二三、〇〇〇噸。新井進行中，出煤之井有

六、七、八、五各井。禾嶺、白茅坑、大嶺等試探區，祇禾嶺有煤三層，厚自三尺至五尺，但自八十尺至百三十尺即遇石壓，以下有煤與否當待再深探；白茅坑、大嶺二處雖曾遇煤，但無價值。

井工傷亡——本年傷亡十一人；計跌死者六人，石壓斃者一人，水淹者二人，受煤氣毒者二人。就中煤毒一項，因逐漸用手電燈可登減少。

工作效率——本年產煤一二五〇四五噸，大小工共計二一九九三六工。每工效率爲〇·五六九噸。

出井成本——運煤價尺價監工裏工材料共用小洋三六一·四三三元，以本路運出一二七·八七九噸計，每噸合洋二元八角三分。

#### 十四 福建省

##### 龍岩廈門間煤礦誌略

福建西南煤田分佈甚廣，在龍岩廈門間，沿漳龍鐵路預定路線附近一帶，大概可分五區，茲分述如次。

##### (一) 龍岩區

龍岩區包括蝦公山、翠屏山及東寶山一帶，位龍岩城東岸，距城至多不過七八里。煤田可分南北兩部：南部自蝦公山煤窩向南延展以達塔山後溝一帶，已知可靠長度約二千二百公尺，寬可二千公尺。北部自翠屏山沿山東麓經東寶山向北延長以至鐵石洋，已知長度約七千公尺，寬一千至二千公尺以上。煤層現祇一層，厚度自一公尺至一三公尺。以比重一·三計算煤量，共計一三、七七八、四〇〇噸。煤質爲無烟煤，鬆脆而純潔，光彩而硫分低。據實業部地質調查所分析結果：含水四分·六五、揮發分二·一一、二·七〇，固定炭八一·六五、八八·三三，灰分四·二〇、一·六二、五、硫分·七九、一·九一，發熱量最低七、三〇〇加路里，最高七、五八〇加路里。現在煤業，在離城三里之蝦公山一隅，有土窖六家。每窖每日鑽工五人至十餘人不等，視需要而定。工人合夥採煤，每日多者出百餘擔，每擔一百斤。山價每擔一角；城內售價三角。

##### (二) 龍門區

龍門區在龍岩城西十里之龍門墟南山。煤層分佈於龍門寬谷之東坡，南北

延長，爲向斜構造，現只見一層，厚度一·四公尺。其下尙有他層與否，須鑽探始知。煤質爲高級無烟煤，質地堅硬，與龍岩區所產者同屬二疊紀。煤系露頭南北延長約二千五百公尺。然系內不必便有煤層，故計算煤量，暫以龍門附近可靠之範圍，以比重爲一·三，共計得煤量三、三四八、八〇〇噸。現有土窖數家，每窖十餘工人，日出煤數千斤，銷附近一帶；山價一角，城售三角。

##### (三) 龍岩東北區

本區煤田位龍岩城東北，面積頗廣，又可分爲五處，分述如下：

(1) 夏老煤田 在龍岩城東北二十餘里，在雁石之南。南北二山煤層，成背斜構造。煤層厚約一公尺，東西延長約四千公尺。煤質爲無烟煤，據分析結果：水分一·九四，揮發分五·三六，固定炭八二·七八，灰分八·九二，硫分·九五，發熱量七、五四二加路里。儲量估計約四、六六四、〇〇〇噸。

(2) 大吉葛藤圩煤田 在水龍潭之西，雁石之北。煤系露頭南北延長約五千公尺，煤層厚一·四公尺，尙有規則，適於開採。煤質屬無烟煤，據分析結果：水分二·九七，揮發分六·九三，固定炭七七·一八，灰分二·九二，硫分·八五，發熱量爲七、二六三加路里。儲量估計約三、六四〇、〇〇〇噸。

(3) 蘇邦一帶煤田 南北延長約四千公尺，煤層厚一·三公尺，甚規則，大致傾斜向東，與大吉之煤成向斜層。煤質爲無烟煤，分析結果：水分二·二七，揮發物四·九三，固定炭八三·二五，灰分九·五，硫分一·一一，發熱量爲七、三五〇加路里。儲量估計約二、七〇四、〇〇〇噸。

(4) 白沙煤田 與寧洋縣爲隣，西南距雁石四十餘里。所產之煤可由霍溪船運，下銷漳平。煤層隨背斜層之兩翼向南北傾斜甚急，平均作三十五度之角，延長五千公尺，厚度一·三公尺，煤質爲無烟煤，分析結果：水分一·七七、一·二、三











中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

銷場	售與雲南箇舊臨屏鐵道及錫務公司機廠外，兼售與滇越鐵道公司機車之用；燒煤售昆明市普通使用。
每噸市價	二十一年售價九元至九元五角，二十二年九元五角至十元，二十三年（一月至六月）平均十元〇五角。
營業狀況	自民國二十一年起至二十三年六月，煤量供求相濟，除納礦區稅以及股息各項開支外，純益付合年息四釐。
備註	工資以月計算，每月工作二十五日，現在開辦之廠，距離宜良縣可保村火車站二十公里以內，因運輸不便，在二十公里以外之鐵區，尚未開辦。

十六 貴州省

各縣煤產量及當地售價

產地	每月出產量(噸)	產地售價(元)	銷售地方
貴陽	一二五〇〇	八〇〇	本城
湄潭	八七五	八〇〇	同
遵義	一二五〇〇	三二〇	同
鳳泉	六二五	九六〇	同
安南	九二五〇〇	三二〇	同
正安	二五〇〇〇	四八〇	同
赤水	二八二二	九六〇	同
印江	二五〇〇	一一二〇	同
廣順	三二二五	八〇〇	同
水城	七五〇〇	四八〇	同

紫雲	三一二五	未詳	本城
息烽	五〇〇〇	四八〇	同
耶岱	二三一二五	六四〇	同
思南	一八七五	八〇〇	同
平越	一八七五	四八〇	同
盤縣	二五〇〇〇	六四〇	同
平壩	一八七五〇	九六〇	同
湄水	五〇〇〇	四八〇	同
貞豐	五〇〇〇	八〇〇	同
仁懷	二八七五〇〇	三二〇—四八〇	四川合江
威寧	六二五〇〇	六四〇	滇東
興仁	一八七五〇	八〇〇	本城
鎮寧	七八一二五	四〇〇	同
沿河	六二五	六四〇	同
黔西	一八七五〇〇	九六〇	同
甕安	七五〇〇〇	四〇〇	同
普安	三二二五〇〇	四八〇	同
龍里	二五〇〇〇	六四〇	同
清鎮	二五〇〇〇	四八〇	同
都勻	六二五〇	四八〇	同

葵川	三二二	八〇〇	本城
織金	五〇〇〇〇	四八〇	同
貴定	五九三・七五	四八〇	同
總計	一六、六二二・二四		

註一 所產之煤質，多為上等無烟煤及有烟煤。他如安龍、三合、安慶、安順、亦產煤，以產量未詳，故未列入。  
註二 本統計係根據繳納礦務稅之統計。人民自採自用未經報納礦稅者，尚不在內。

十七 察哈爾

(一) 民國二十三年度(至四月底止)各煤礦明細表

礦廠名稱	礦種別	上年餘數	採出數	賣量	價目	自用	餘存數	工數	工作數	備考
成平煤礦公司	無烟末煤	無	三、九〇〇噸	三、八六六噸	每噸六元	三噸	無	三、三〇〇工	三、三〇〇天	
北大煤礦股份有限公司	粉煤	無	四〇〇噸	三三噸	二元	公噸一元	無	三六工	六個月	註後
正陽煤礦公司	無烟煤	一、五二二噸	七、三三五噸	五、〇〇六噸	二、七五元	七、五〇〇噸	一〇、五四五噸	七、〇〇〇名	三〇〇	註後
寶成煤礦	同前	一八五噸	五、四〇四噸	三、四四元	一、七三元	二、〇五噸	一、〇四五噸	九六名	一八	註後
永成煤礦	同前	無	七、三三五噸	五、四四元	三、九四元	一、八五噸	無	一二二名	一八	註後
寶興煤礦股份有限公司	有烟煤	一、五四〇噸	七、三九九一噸	四、三〇〇・五三	九、八六元	四、四一〇・〇〇〇	一〇、一〇七	九、三三七	三〇	
公司	無烟煤	一、〇〇三・六〇	二、四八七・七六二	三、八七〇・〇四	三、五二四元	三、九四〇・〇〇〇	六、七六元	六、三二二	三〇	
化興煤礦	烟煤	公噸五	三、三六二	三、九七五	一、三三三元	公噸一、一三七	無	三、五〇〇工	三〇	

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

東升煤礦	無烟煤	一、公畝	六、六〇〇	五、五〇〇	三、〇〇〇	九、五〇〇	二、二五〇	九五〇〇	一畝	註後	
三成地煤	同前	七、二〇〇	六、二〇七	五、九六五	一、五〇三	六、四四五	無	三八〇〇	三〇〇	註後	
雙合煤礦	同前	七、二五〇	三、三六〇	三、九六四	一、五四七	二、八〇〇	四、九八	一四、九〇	三五	註後	
世合煤礦	同前	八、二一五	一、九、五〇〇	一、〇、六四五	二、三三、二七五	二、五二〇〇	四、八〇〇	一三、六〇	三〇	註後	
天興煤礦	蓄火炭又	公畝	一、九二一	一、七、三三〇	四、四一三	二、三三三	無	五、一〇〇	三〇	粉煤約產七成 每公畝約合價二元	
厚豐煤礦	有烟原煤	一、八〇〇	二、七〇三	一〇、〇四五	一、〇六	二、〇四六	一、三九三	一、〇〇〇			
華北煤礦	有烟塊煤	公畝	二、七七一	二、四四七	六〇〇	一、三三	二、九				
華北煤礦	蓄火炭又	公畝	六、〇七三	五、六五三	九、〇九一	一、四一六	無	二、三六五	三〇〇	所產係宿火煤 炭又名天然木	
鼎新煤礦	宿火炭	公畝	一、七〇五	二、四一六	三、七六一	四、〇〇六	無	三、六五	二五五		
福順煤礦	塊煤	無	一、八〇〇	一、八六六	每公畝三元	公畝	無	二十煤工	二〇	註後	
北大煤礦	股份有限	二十二年六月因同盟軍起，工人逃散，即行停止工作，故是年無餘數。二十三年因二十二年既停止工作，故是年春即另行籌辦開工，惟於夏間大雨時行，所有房屋倒塌，窰井淹沒，故出此亦停止工作。									
正陽煤礦	所有工人及水工	鑛匠木匠雜役人等工資，鑛區租印照稅，均未依次列入。									
寶成煤礦	因水大治工	所有工人及水工工鑛匠木匠雜役人等工資，米麵油鹽柴木，鑛區租印照稅，均未依次列入。									
永成煤礦	春夏因風不順	暫停工作，秋冬治工，所有工人及水工工鑛匠木匠雜役人等工資，米麵油鹽柴木，鑛區租印照稅，均未依次列入。									
東升煤礦	所有工人及水工	工鑛匠木匠雜役人等工資，米麵油鹽柴木，鑛區租印照稅，均未依次列入。									

三成地煤	同前
雙合煤礦	同前
世合煤礦	同前
福順煤審	本礦全年僅工作春冬兩季共六個月理合註明
厚豐煤礦	紅砂石山與水泉溝係同一礦床現紅砂石山一井出煤已走向水泉溝開採特此聲明
股份有限	

(2) 東新燠炭礦概況

(一) 位置 察哈爾東新燠炭礦，位於涿鹿縣之西二十里長嶂村迤西東溝門地方，距平綏路下花園車站約五十里，道路平坦，火車可以直達，車站至礦場，如建築鐵路直線，約有四十里。

(二) 地質 煤田在宣化之南桑乾河流域之內，重要產地在北距黃陰山之南麓，南臨桑乾河流域黃土灣，東界懷來宣化兩縣交界之東溝門，西接鼎新礦之韓家垠及天興礦之武家溝，山陵起伏無常，地層現纏曲之狀，煤層露頭，歷歷可辨，岩層為震旦系石灰岩，侏羅紀煤系，及白堊紀凝灰礫岩，頁岩，所成煤系與灰岩不整合，因凝灰礫岩之掩覆，或斷層之關係，故煤系分佈不相連續，常散而成盆形構造，王家樓及四審即此類盆形之實例。煤系可分三部：(一) 主要含礦層以棕色及綠色頁岩為最多，夾石灰質結核，然不含煤，共厚三百公尺；(中) 雜色砂岩及頁岩之互層，含重要煤層，上段或中段砂岩多於頁岩，有時且有礫岩，砂岩中偶見黃鐵礦結核，但不多，共厚二百公尺；(上) 紫綠色頁岩及砂岩，不含黃鐵礦及煤層，厚度不詳。

(三) 煤層及煤質 煤層厚薄不一，計有十五層，其中可採者十層，以頭層二層、大小礫、大紅礫、砂礫、六對子礫、黏泥礫為最著，厚自四五尺至十六七尺，走向

東西傾向南，傾角平均三十度，煤質灰少易燃，無烟無臭，名燠炭，北平地質調查所分析結果，如次：

種類	水份	揮發物	定炭	灰份	硫磺	熱力 (cal)
一號炭	六.九	二八.〇	七六.六	六.四	〇.二六	四、四七一
二號炭	六.〇五	三五.天	五〇.三	八.〇五		七、〇九五
三號炭	一三.五	二九.七	五三.三	五.〇一	〇.四三	六、三〇〇

(四) 成本 秋冬每日可銷一百噸左右，張家口宣化一帶在此兩季內可銷二萬噸，設日產二百噸，一半可銷礦廠附近，及平綏路沿線，一半可銷平津等處，成本每噸三元，由礦場至下花園用騾馬轉運，運費每噸四元，(如用汽車可減至二元)，下花園至張家口每噸鐵路運費一元，該處每噸可售十二元左右，下花園至塘沽每噸鐵路運費八元，該處每噸可售十八元至二十元左右。

(五) 礦區 桑乾河流域西部燠炭礦區有三：(一) 李家垠即東新公司呈請地，距下花園四十餘里。(二) 韓家垠在桑乾河之西，毗連東新礦界約半里，即鼎新公司呈請之礦區，面積約三方里餘，現已開鑿井一口，深約五百尺，每日產煤數十噸。(三) 武家溝為天興煤礦礦區，在鼎新礦區西二里餘，屬宣化縣，有山溝為界，煤

苗顯露，設備完全，為發現宜化煤炭最早之地，開辦已十餘年，獲利有數十萬元。

(六) 施工 該礦擬從小辦入手，先開長方形火井一口，深五百尺，斜風井一口，深四百尺，高車一架，大鍋爐二個，水泵二個，鍋爐房、機器房、高車房、辦公室等各一所，以十個月為完成之期，約需工料洋四萬元，再以一萬元為流動資本，若每日產煤至一百五十噸，即須修築汽車路運煤，約須建築費五萬元，若每日產煤五百噸，則須增加資本四十萬元，作修築輕便鐵路之用。

(3) 康保煤礦

察省康保縣城西里許發現煤層，沿隘口北面一丈下之煤層，厚約尺半，兩面厚及八尺，煤層上頂距地六尺許，所產均係煤末，普通煤質溼如煤泥，投火可燃，微有黑烟，間或雜以可辨帶皮之松木塊煤層，似有向西南兩面發展模樣，因在迤西百步地方，又挖一井，亦經發現煤層，煤色較黑，而煤層略薄。

十八 寧夏

(1) 各縣煤產概況

二十二年各縣產煤數量

中 衛	四六八、〇〇〇噸	豫 旺	三六〇噸
平 羅	二、九七六	磴 口	七五〇
靈 武	二四、〇〇〇	寧 朔	不詳

二十三年各縣調查概況

(1) 靈武縣磁峯堡煤礦 面積約三萬五千二百八十七公畝，成分二炭質占百分之八十以上，灰質占百分之五。於民國十二年開採，炭井分立洞橫洞兩種，均用人工掘挖。搬取時立洞用滑車，橫洞用人工挑拉。運銷時用牛車。工人日計二百餘人。平均每日產量計二萬五千九百市斤。此煤俗名礮子，為無烟煤之最上者。

(2) 中衛上下河沿煤炭礦 面積約三千二百八十七公畝。固定炭質占百分之六十以上。於民國七年開採，炭井有立洞橫洞兩種。運銷時由黃河皮筏輸運。平均每日產量約三萬市斤。

(3) 中衛鹹溝山煤炭礦 面積約三千三百六十七公畝。固定炭占百分之三八。於民國十九年開採。洞隨煤層起伏。每日產量一萬二千市斤左右。

(4) 中衛單梁山煤炭礦 面積約一百八十四公畝。固定炭占百分之七五。於清光緒年間開採，民國十九年核准。洞隨煤層起伏。用人工採取。運銷時用牛車。工人日計五十餘人。平均每日產量一萬二千市斤。

(5) 平羅箕溝煤炭礦 面積約三千六百八十公畝。固定炭占百分之九十。於民國二十年開採。用人工掘取。運銷時用牛車。工人日計二百餘人。平均日產三萬二千市斤。

(6) 寧朔素哈口煤炭礦 面積一千三百七十五公畝。尚未開採。

(7) 靈武石溝堡煤炭礦 面積約三萬五千七百六十三公畝。用人工掘取。運銷時用牛車。工人日計一百餘人。平均日產一萬九千市斤。(大公報)

(2) 民國二十三年份(至四月底止)各煤礦明細表

前	同	張樂善堂合辦王銀			上 下 河 沿			公 常 河				名 稱	礦 廠		
		共 計	同 前	煤	共 計	中 衛 縣		共 計	中 衛 縣 上 下 河 沿					位 置	礦 區
						粉 煤	塊 煤		質 變 煤	粉 煤	烟 炭				
		無	無	無	噸三百	噸一百	噸二百	噸三十	噸六	噸一	噸二十	餘 數	上 年		
萬二百二十	五萬一百五十	六十五萬	三十三萬	噸三百	噸一百	噸二百	噸三十	噸六	噸一	噸二十	採 出 數	實			
四萬八千	一萬一百二十	八千	三十三萬	噸三百	噸一百	噸二百	噸三十	噸六	噸一	噸二十	數 量	價			
七元	六元	二元	三元	元	元	元	元	元	元	元	目	出			
萬六千	萬三千	萬三千	噸三百	噸二百	噸一百	噸五十六	噸六	噸一	噸十	噸四十	自 用				
七千三百	無	無	噸四百	噸二百	噸二百	噸五十五	噸一	噸五	噸四十	噸四十	餘 存 數				
七千三百	六千四百	三千八百	個工	個工	個工	個工	個工	個工	個工	個工	工 數				
	三三五天	六十七天									日 工				
	查本礦每年不時水火相爭，工數多寡不等，又係一人力工作，本年營業情形計算，得虧成本十分之一，特此聲明。(此表係二十三年度)	查本礦二十二年營業比較往年水增火息兼之財政奇困全年平均計算每資本尙虧十分之二特此聲明				查中衛縣屬常樂區之上下河沿炭區多係貧民全用苦力挖炭背煤在本縣境銷售十分之七外縣銷售十分之三工人工資每日四五角不等除農忙停工一月有餘故全年工作約有三百一十五日之譜					查上下河沿出產烟炭俱用人力挖煤背炭運合發明	考			



中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

山 溝 減			山 溝 減			前 同			銀	王萬	合辦	善堂	張樂
共 計	堡空石縣寧中		共 計	堡空石縣寧中		共 計	前	同	共 計	縣	羅	平	張
	粉煤	塊煤		粉煤	塊煤								
八公 噸	無	八公 噸		無	無	七十 噸	二十 噸	五十 噸	九十 噸	三十 噸	六十 噸	六十 噸	
斤三 百七 十 七 公 噸	斤三 百七 十 七 公 噸	斤四 百七 十 七 公 噸	斤三 百七 十 七 公 噸	斤三 百七 十 七 公 噸	斤四 百七 十 七 公 噸	五、四 〇〇 噸	噸一 千四 百	四 千 噸	五、七 五〇 噸	一、五 〇〇〇 噸	四、五 〇〇 噸	四、五 〇〇 噸	
斤三 百七 十 七 公 噸	斤三 百七 十 七 公 噸	斤四 百七 十 七 公 噸	斤三 百七 十 七 公 噸	斤三 百七 十 七 公 噸	斤四 百七 十 七 公 噸	五、一 〇〇 噸	一、三 〇〇 噸	三、七 五〇 噸	五、五 四〇 噸	一、五 〇〇 噸	四、〇 〇〇 噸	四、〇 〇〇 噸	
一、七、〇〇〇元	一萬二千元	五千元	一、七、〇〇〇元	一萬二千元	五千元	二、〇、〇〇元	角每噸二元五	每噸二元	二、八、〇〇元	角每噸二元五	每噸二元	每噸二元	
						二百噸		二百噸	二、五噸		二、五噸	二、五噸	
	無	無		無	八公噸	九十噸	三十噸	六十噸	五十噸	一十噸	四十噸	四十噸	
一萬工	八千工	二千工	一萬工	八千工	二千工	百六千一	百二千一	四千工	六、五〇工	三、五〇工	四、三〇工	四、三〇工	
	同 前	自八月起 至二月止 共二百餘日		同 前	自八月起 至二月止 共二百餘日			六個月				六個月	
		此表係二十三年			此表係二十二年			此表係二十二年				此表係二十三年	

十九 綏遠

本省煤礦近況

綏遠省煤炭各窯皆在城北大青山內，其煤炭界分界之處，由歸綏縣察素齊鎮迤西老虎溝爲界，此溝以西皆係炭窯，以東均屬煤窯。(一)包頭縣迤北石拐溝，距包頭六十里，內有炭窯四座，均係大窯，其中最大者有漢南公司；(二)包頭縣東北五當溝，距包頭五十里，溝內有炭窯二座，皆係中等窯；(三)薩縣西北大斗林沁溝，距薩縣三十餘里，溝內有炭窯二座，係中等窯；(四)薩縣西北小斗林沁溝，距薩縣三十里，溝內有炭窯三座，係下等窯；(五)薩縣正北把圖溝，距薩縣二十餘里，溝內有炭窯三四座，係下等窯；(六)薩縣西北哈刀亥溝，距薩縣二十里，溝內有炭窯四座，係下等小窯；(七)薩縣東北水家溝，距薩縣二十五里，溝內有炭窯二座，係中等窯；(八)薩縣東北總蓋子溝，距薩縣三十餘里，內分五小溝，計召溝、正溝、白石頭溝、前壩溝、老虎溝，以上召、正、白石頭三溝，內各有炭窯一二座，惟前壩老虎兩溝各有煤窯二座，皆係下等窯；(九)歸綏縣察素鎮西北名曰東溝，距綏一百二十餘里，溝內有煤窯四座，係中等窯；(十)歸綏縣察素鎮西北萬家溝，距綏一百十里，溝內有煤窯四五座，其中大窯二座，餘皆小窯；(十一)歸綏縣察素鎮西北西溝，距綏一百里，溝內有煤窯三四座，係中等窯，又名無烟煤；(十二)托縣迤南喇嘛灣，有炭窯十三處，皆係下等窯。以上各窯，全年共煤炭若干，無從查悉，一因人力財力不濟，產煤不多，一因領礦照手續太煩，索照費太多，平民無人敢問津。

二十 甘肅省

(一)本省煤礦調查表

地	積	全年產額
皋蘭南山小山頂	一、七八七·九〇四八公畝	三、五二〇噸

南鄉山寨	一、七五一·〇四〇公畝	二三四噸
南鄉劉春溝	二五八·〇四八公畝	一四〇噸
南鄉鐵冶溝	八八·四〇〇公畝	
南鄉火洞扒	二五九·〇〇〇公畝	
吳子溝	三〇〇〇公畝	
大千溝	二〇〇〇公畝	
旋風灣	九四·九八六公畝	三〇〇噸
會寧縣黨家水	四九五·五七五公畝	
西南鄉馬苴濟	七三八·七五二公畝	
西南山板打口	二二八·八四〇公畝	
永登縣西鄉窯街南山	六一七·四七二公畝	
拉爾幹山	九四一·五一〇公畝	
民勤縣小青山	三三一·七七六公畝	
崇信縣新窯鎮	二三八·三八七公畝	
平涼縣東鄉土古堆	二一六·〇〇〇公畝	

(二)本省煤礦概況

甘肅煤田可分爲三部：(一)西部沿祁連山北麓，東自武威，西至玉門，煤層厚，連續可見，屬二疊石炭紀。沿途多土窯，產量甚少，以山丹及張掖兩縣較多。(二)中部皋蘭煤層，屬侏羅紀，產量最多。(三)東部東自崇信，經平涼靜寧，至涇源，煤層屬二疊石炭紀，產量甚少。(四)南部東自兩當經徽成、武當至西固，屬二疊石炭紀。

中國經濟年鑑 第三編 第十一章 礦業

(K) 一一六

埋藏量較少，而產量較多，所產之煤，可煉焦。總共全省埋藏量約五百萬噸，大都烟煤。茲將曾在甘肅省府呈請領採各礦列后：

礦區所在地	鑛業權者	鑛區面積 (平方碼)
皋蘭小山頂	顏瞻魯	一、七八七、九〇四
山秦	楊生華	一、七五一、〇四〇
劉夏家溝	龔大智	六五、〇四八
旋風灣	侯永才	九四、九八六
南鄉鐵冶溝	邱世榮	八八、〇四〇
阿千鎮火洞	華克恭	二五九、〇〇〇
南鄉泉子溝	馬玉珊	三〇、〇〇〇
張掖馬蓮溝	師鴻制	一、七三八、七五二
打板口	任公傑	一一、二一一、八四〇
永登黨街	齊顯文	六一七、四七六
拉爾幹山	魯和碩特	四九一、五二〇
民勤小青山	常運善	三三三、七七六
會寧黨家水	蘇保三	四九五、五七五

採掘均係土鑛，運輸全憑牲口。茲將煤業較盛之處分述如次：

- (1) 皋蘭阿千鎮煤鑛 鑛在小山頂，北距縣城四十里，有土鑛八家，煤層厚二尺至三尺，埋藏量約三百七十萬噸，煤屬烟煤，無焦性，多灰，現年產約一萬噸。
- (2) 玉門縣紅溝等處煤鑛 玉門縣屬紅溝北窰昌馬三處，均產烟煤，在縣

城東南三百里紅溝，煤層厚一丈，有土鑛二家，每日出煤共約三千斤，北窰煤層厚二尺，硫分頗高，有土鑛三家，每日出煤約二千五百斤，昌馬煤厚四尺，可煉焦，有土鑛二家，每日出煤三千斤。

(3) 酒泉煤鑛 鑛區在大紅溝、小紅溝、東溝、樑大溝、大算溝一帶，距縣城一百二十里，煤層厚三尺，面積東西長一百三十餘里，硫分甚高，現有土鑛十四家，每日共出煤約一萬二千斤。

(4) 張掖煤鑛 鑛區在馬蓮溝、三陰嶺、大小肋巴一帶，東西長約三四十里，距縣城約三百里，煤層厚八尺，煤可煉焦，現有土鑛三十四家，每日出煤一萬餘斤。

二十一 大通縣煤鑛產銷狀況調查

本地漢回民人集股在縣屬小煤洞地方開採，由煤販直接向煤鑛商販賣，其產銷及價值如次表：

二十二年產額	六五〇噸
二十二年販賣數	五八五噸
每噸價值	一〇二、一二元
二十三年產額	五二五噸
二十三年販賣數	五一二噸
每噸價值	六八、〇八元
銷場	運往西寧、遼源、互助、大通、遼源各縣零星銷售
備考	本縣原產煤鑛係屬粗鑛，內分六煤、煤渣、末煤三種

第二目 石油

- 一 陝西省
- (1) 延川石油鑛探勘近況

陝北油鑽探勘處永坪區事務所以前所鑿各井產油量甚富，茲悉現仍繼續穿鑿二〇二等井。按二〇二井位於審坪西北里許之峪子溝山口山坡間，因坡勢險峻，工作頗為不便，三月初旬開始動工，挖土達四十公尺，架設樁台遊梁，立主動輪，裝置機器，建築房舍，於十五日開鑽，經砂岩、頁岩煤層等，刻已鑿深五十餘公尺。二〇三井位琵琶溝二〇一井之西南，相距約半里許，已於四日釘樁台架，八日立主動輪，定二十日開鑽云。

(2) 陝西延長石油官廠工人人數及產類調查表(二十三年度)  
鑽延延長縣西門外

類別	九月份	十月份	十一月份	十二月份
原油	八、八〇〇斤	三、〇六〇斤	五、九一〇斤	
甲油	三、三〇〇斤	一、四五〇斤	一、七五〇斤	
乙油	二、〇〇〇斤	二、〇〇〇斤	八七五斤	
四號蠟	七四〇枝	二五〇枝	一、一〇〇枝	
工人數	七名	七名	七名	七名

二 新疆省

本省石油鑽概況

烏蘇縣屬之安集海獨山子出產石油最富，民國八年於該處開辦石油鑽。計有獨山油鑽於橫洞子內挖成若干直井，井深七尺至一丈。全區有橫洞子兩個，長五丈餘，直井十個，分佈橫洞之間。夏季日產原油五六百斤，冬季減縮，亦產七十餘斤。又有清水河子石油鑽，係於坡下近河岸之處，開挖明井，每年春季可取油五百餘斤；至夏季水漲時，油井湮沒，即無法採取油料，水退後仍可照常採取；至冬季則

枯矣。先期採取油料運至省城提煉。二十三年將鍋爐移設安集海，就地煉出燈油四十斤，中油(即黑油)三十餘斤。燈油色白無烟，為最佳之燃料。黑油潤滑機車用途甚廣。其地烏蘇縣屬之元興公，沙灣縣屬之小拐河及庫車等縣均產石油。現新省農礦廳擬具計劃，定購機器，從事大規模之開採矣。

三 河北省

井陘煤礦附產石油量

民國二十三年度產量

一〇五·二五噸

第三目 鐵

一 安徽省

(1) 寶興鐵礦公司產量及成本

凹山及東山兩區產出鑽石數量及每噸價值表

二十二年	三七、九三九噸	每噸四元
二十三年	一一〇、二六五·五〇噸	同前
二十四年	一三四、五〇〇·二五噸(至九月底止)	同前

每噸成本如下表

採鑽	〇·四九二五元
排除浮土廢石	〇·七三六五元
火車運費	〇·八〇〇〇元
上下挑力	〇·三一四七元
材料	〇·一六四八元

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(K) 一一八

設	備	〇・一四八〇元
事務費		〇・八〇四一元
合計		三・四六〇六元

鑛石出山至江岸碼頭	三・四六〇六元
捐稅及報關檢查等費	〇・七三九四元
總計每噸成本	四・二〇〇〇元

就各種稅捐及碼頭上報關與關員檢查等費合計每噸成本如下表：  
(2) 福利民公司牯山鑛場產砂表

年份	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	本年度總數
二十三年							三五八〇〇	五〇九三三	三三〇一〇				三七四〇〇
二十四年	三、零〇〇	一、六六二	三、七五〇	四、四四〇	四、九六元	五、九四三	一、七六〇	三、五三〇	五、七六五				三、三三〇

查牯山自民九開辦，甫產三萬餘噸，即因成分太劣，宣告停辦。二十三年秋，復於原有舊砂中，揀選其合用者配成裝出，故表內二十三年七、八、九三月份所列之

數字，即係選出之噸數，計約一萬餘噸，十一月份始正式開採。

(3) 南山採鑛工場歷年採砂噸數及成本概算表

月份	一九一九年	一九二〇年	一九二一年	一九二二年	一九二三年	一九二四年
一月		一五、八〇〇	停	停	一五、〇一八	一三、二二八
二月		三、四五〇	同前	同前	四、五二四	五、九六四
三月		一〇、四八二	同前	同前	九、〇五三	一三、九八九
四月		一〇、〇四一	同前	同前	一三、四五三	一三、六七〇
五月		一〇、八三六	同前	同前	七、〇六五	一〇、二九三
六月		一一、七四八	同前	同前	四、三五六	停
七月		七、四〇四	同前	同前	停	二五、二六〇



中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

二 湖北省

大冶象鼻山鐵礦狀況

(一) 儲量 據丁格爾氏估計，象鼻山鐵砂儲量在水平面以上者為七、九六八、七五〇噸，在水平面以下者為三、七一八、七五〇噸，兩共一一、六八七、五〇〇噸。又據漢冶萍公司於十八年根據鐵山鑽探結果，計算象鼻山存留儲量

(二) 鑛質 六河溝鐵廠歷年化驗象砂平均成分如次：

如次：

象鼻山	一七、〇〇〇、〇〇〇噸
尖山	三、〇〇〇、〇〇〇噸
共計	二〇、〇〇〇、〇〇〇噸

年 別	鐵	矽	氧	二	硫	磷	錳
民國十二年	五六·三六	二·五二	一〇·一六	〇·〇二四	〇·〇五五	〇·一五	〇·二二
民國十三年	五八·四九	一·〇一六	八·五六	〇·〇二二	〇·〇六二	〇·一五	〇·二二
民國十四年	五八·六九	八·五六	〇·六六一	〇·〇六〇	〇·一五	〇·二二	〇·二二
民國十六年	五八·七二	八·七五	〇·〇三二	〇·〇七八	〇·二二	〇·二二	〇·二二
民國十七年	六〇·〇三	七·〇七	〇·〇二〇	〇·〇九〇	〇·二二	〇·二二	〇·二二
民國二十年	五六·八八	一〇·三一	〇·〇二五	〇·〇六〇	〇·一六	〇·二二	〇·二二
民國二十一年	五一·五二	一六·三四	〇·〇二五	〇·〇六〇	〇·一六	〇·二二	〇·二二
民國二十二年	五〇·六二	一八·〇二	〇·〇二五	〇·〇六〇	〇·一六	〇·二二	〇·二二

左表列象鑛化驗處分析結果：

年 別	鐵	矽	氧	二	錳	銅	硫	磷	鉛	鈣	水	分	燒	耗
民國九年	六二·三三	七·九	〇·〇	〇·三	〇·一〇天	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·七	一〇·一	一·六	三·六	三·六	三·六
民國十年	六〇·五二	六六·六三	〇·五五七	—	〇·一〇	〇·〇	〇·〇	〇·二	〇·六八	〇·四元	一·五	三·七	三·七	三·七
民國十一年	六二·六	七·四	〇·〇	〇·二	〇·一〇	〇·〇	〇·〇	〇·三	—	—	四·九	—	—	—

民國十二年	五·五	八·九	0·一	0·一五	0·一〇	0·一〇	0·一〇	0·一〇	六·三
民國十三年	六·〇	八·七	0·一	0·一六	0·一〇	0·一〇	0·一〇	0·一〇	五·九
民國十四年	六·〇	八·四	0·一	0·一六	0·一〇	0·一〇	0·一〇	0·一〇	五·五
民國十五年	六·二	七·四	0·一	0·一五	0·一〇	0·一〇	0·一〇	0·一〇	五·一
民國十六年	六·五	八·三	0·一	0·一七	0·一〇	0·一〇	0·一〇	0·一〇	五·五
民國十七年	六·三	八·六	0·一	0·一七	0·一〇	0·一〇	0·一〇	0·一〇	四·七
民國十八年	六·三	八·三	0·一	0·一七	0·一〇	0·一〇	0·一〇	0·一〇	四·五
民國十九年	六·五	八·四	0·一	0·一三	0·一〇	0·一〇	0·一〇	0·一〇	六·三
民國二十年	五·六	八·四	0·一	0·一三	0·一〇	0·一〇	0·一〇	0·一〇	六·三
民國二十一年	六·五	八·二	—	—	—	—	—	—	—
民國二十二年	五·〇	一·〇〇	—	—	—	—	—	—	—
民國二十三年	五·〇	九·〇	—	—	—	—	—	—	—
三九四次化驗 平均成分	六·五	八·六	0·一	0·一	0·一〇	0·一〇	0·一〇	0·一〇	0·一〇

六河溝鐵廠與象鼻山管理處化驗象砂結果，相差頗遠；買主求低，賣主求高，最近會同取樣化驗，其結果均在百分之五十八及百分之五十九之間。

(二)採礦 採礦用露天掘，由上而下分層採取。採礦工人計有一百三十八人，每月可採礦砂八千四百噸，每工採砂效率約二噸。最大產量曾至二萬噸，需採礦工二百人，每工效率為三·三噸。工制係包工，包價在沈家營河邊過磅，每噸〇·一二五元。炸藥由管理處代購，以廉價轉售每包工頭。本年六月份共用炸藥（百分之七十）三千二百筒（每箱五十七元八角，計有四百筒。）茲將六月份

每噸鐵砂需炸藥費用列表於左：（六月份共出鐵砂八四三五噸）

名目	六月份用 量	價 值	包工扣價	實支炸藥費	每噸砂炸藥費
炸藥	三,100筒	五三·〇四元	四八·〇元	五八·四元	〇·六五元
銅帽	三,700粒	一八·〇	八·九一	九·〇元	〇·二八
引線	一至五捲	五·六元	二·六	五·九	〇·〇六
共計		七五·三	五·七	六三·二五	〇·九〇



中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(K) 1111

(四)產量 象嶺係露天掘，雨雪不能工作，每年工作日數約二百六十天。近年產量如次：

年	別產	量	工作日數
二十一年度	一三四、五五六·六〇〇噸	二六七	
二十二年度	七二、九八四·〇二八五	二五〇	
二十三年上半年 (一月至六月)	三五、〇五二·〇〇〇		

(五)成本 象嶺管理處直轄於湖北建設廳，處長隨廳長為進退，亦有同一廳長數易處長者。成本之高下，視處長之奢儉，食廉為轉移，民國十七年產砂二十萬噸時，每噸成本一元五角二分。最近以停止售砂於日，力事緊縮，成本尙不甚高，茲列不相同之成本表於次：

(1)二十一年五月至十二月成本

月別	費用(元)	產量(噸)	每噸成本(元)
五月	二五、七二八·六〇	六、五三四·七七	三、九三七
六月	三〇、六三五·三〇	一五、九六六·九五	一、九一八
七月	二九、四二四·四八	六、四六〇·九六	四、五五四
八月	二九、六八八·七四	四、六四六·四〇	六、三九〇
九月	二五、五二一·六四	四、六四六·四〇	五、四九三
十月	三一、四七三·五五	六、五九二·八〇	四、七七四
十一月	三一、四八七·二三	九、八八八·九九	三、一八四

(2)二十二年五月至十二月成本

十二月	二五、五三二·八三	九、六一〇·三〇	二、六五七
共計	二二九、四九二·三七	六四、三四七·五七	三、五六六

(3)今年以一萬噸為標準之預算

月別	費用(元)	產量(噸)	每噸成本(元)
五月	一八、五八六·九二	五、一六八·九一	三、五六
六月	一六、七〇五·八三	一〇、八九九·四八	一、五五
七月	二〇、六二五·四五	一四、七二三·九八	一、四四
八月	一八、七七七·九七	九、七二五·三五	一、九三
九月	二四、九七三·六三	二一、八四七·三一	一、一四
十月	二七、六九八·三八	二二、八三五·〇六	一、一六
十一月	一九、二八九·五八	一〇、三一七·〇〇	一、八七
十二月	一五、七七〇·一五	八、三三四·五四	一、八九
共計	一六二、四二七·九一	一〇四、八三一·六三	一、五五

職薪	二、五一五·〇〇元
鑛警	三八九·〇〇
工資	五、七四七·四四
鑛價	一、三〇〇·〇〇
土價	八〇〇·〇〇

烟煤	一、八〇〇・〇〇
枕木	一、三五〇・〇〇
炸藥	五八〇・〇〇
五金	六七〇・〇〇
化驗藥品	二〇〇・〇〇
雜件	一〇〇・〇〇
工程	一五〇・〇〇
打炮眼存廠裝鑽	一四三・九〇
鑛砂裝卸工資	一、二六〇・〇〇
運輸起卸及消耗	三八〇・〇〇
購置	四〇〇・〇〇
辦公費	八九二・九〇
特別	七六二・六〇
共計	一九、二六〇・八四
每噸成本	一・九三

(4)二十三年一月至五月每噸成本之決算

月別	產量(噸)	費用(元)	每噸成本(元)
一月	六、六五四・〇〇〇	一一、四五二・〇〇〇	一・七二
二月	二、四〇〇・〇〇〇	一〇、〇一三・〇〇〇	四・一七

三月	五、九四四・〇〇〇	一三、六六九・〇〇〇	二・三〇
四月	四、〇六二・〇〇〇	一一、七六六・〇〇〇	二・九〇
五月	七、五五七・〇〇〇	一四、六八六・〇〇〇	一・九五
共計	二六、六一七・〇〇〇	六一、五八五・〇〇〇	二・三三

六月份產砂八千四百噸，費用約一萬四千元，每噸成本約一元六角七分。  
 (六)運輸 由鑛山至沈家營有六十磅標準軌距鐵道三十八華里，茲分述於左：

(1)車輛——象鑛有拖重二百噸車頭四輛，五百噸車頭一輛，裝重二十八噸貨車四十八輛。

(2)現在運量——每日往返二次，每次拖運鐵砂一百六七十噸，每日三百四五十噸。

(3)燒煤——每往返一次燒煤約一噸，每日燒烟煤二噸。  
 (4)運費——每噸鐵砂運費如次。

薪水	四五五・〇〇元
工資	二、五〇〇・〇〇
枕木	一、〇〇〇・〇〇
烟煤六十餘噸	九〇〇・〇〇 (六河溝烟煤每噸價十三元五角)
機油	六〇〇・〇〇
五金材料	七〇〇・〇〇
共計	六、一五五・〇〇

本年六月份運砂八、四三五噸，每噸運費攤洋七角三分。

下河裏工每人每月工資十六元，每工可下八噸，每噸下河力約合洋一角。

(因天雨不能下砂，工資照給) 歸買主支付。

(5) 河運——象砂在沈家營交貨，每噸四元，六河溝鐵廠由沈家營運至沈家礦鐵廠，其運費如次：

沈家營下河力	每噸 〇・一〇元
水脚湖北航政處包運	一・二五
諸家礦上力	〇・二〇
失耗	〇・二〇
共計	一・七五

(七) 銷售 象鑛歷年所產鐵砂，十九銷於日本，隨採隨銷，銷數幾與產量相埒。茲錄歷年銷數如左：

年 別	銷 數(噸)	每噸砂價(元)	買主
民國九年	五三、九四四・〇〇〇	三・八九五(日金)	日本
民國十年	一五一、二三六・〇〇〇	三・九〇〇(日金)	日本
民國十一年	四六、一八四・〇〇〇	三・九〇〇(日金)	日本
民國十二年	一五六、七八一・〇〇〇	三・六〇〇(日金)	日本
民國十三年	一五四、八七二・〇〇〇	三・三〇〇(日金)	日本

(1) 銷數

(2) 售價——現在象鼻山一寸至六寸大小鐵炭祇售於六河溝鐵廠，砂價每噸四元，在沈家營江邊交貨，成色以含鐵五十六分爲標準，如增加一分，加價一角，象砂成色平均爲百分之五十八九。

(八) 鑛工 象鑛本年六月份鑛工人數及每月工資如左表：

年 別	最高工資(元)	最低工資(元)	平均工價(元)
民國十四年	一〇三、七九三・〇〇〇	三・五二	(國幣)
民國十五年	二九、七二八・〇〇〇	三・三五	(國幣)
民國十六年	七九、八二一・〇〇〇	三・七〇	(日金)
民國十七年	七〇、八七九・〇〇〇	四・〇〇	(日金)
民國十八年	二二〇、九七七・〇〇〇	四・二六	(日金)
民國十九年	一四一、一六七・〇〇〇	三・四六	(日金)
民國二十年	一〇四、〇九九・〇〇〇	四・五六	(國幣)
民國二十一年	一四、六七六・〇〇〇	四・五〇	(國幣)
民國二十二年	六〇、〇〇〇・〇〇〇	四・〇〇	(國幣)
共 計	一、六二二、〇四八・〇〇〇	四・〇〇	(國幣)

(1) 工務課採鑛部份

工 別	人 數	最高工資(元)	最低工資(元)	平均工價(元)
監工	一	—	—	五四・〇〇

外有採鑽夫一三人，每噸在沈家營過磅，工資〇・一二三五元。

(2) 工務課鑛山機廠

工別	人數	最高工資(元)	最低工資(元)	平均工資(元)
匠目	一	—	—	—
機務司事	一	—	—	—

司事	二	—	—	—	二〇〇〇
檢鑽夫	一	—	—	—	一六・三八
分路夫	五	—	—	—	一五・三八
背藥夫	三	—	—	—	一三・〇〇
更夫	二	—	—	—	一三・〇〇
採鑽領工	一	—	—	—	二〇・〇〇
小工頭	二	—	—	—	二二・七〇
小工	三	—	—	—	一四・〇四
傳達	一	—	—	—	二〇・〇〇
公役	二	—	—	—	一一・〇〇
花匠	一	—	—	—	一三・七〇
工役	三	—	—	—	—
廚役	一	—	—	—	一五・三〇
共計	八九	—	—	—	—

(3) 總務課

打磨	二	—	—	—	一九・八〇	一五・六〇	—
車床	三	—	—	—	一六・五〇	一五・〇〇	—
紅爐	二	—	—	—	二四・〇〇	一五・〇〇	—
加油	二	—	—	—	—	—	一六・八〇
水匠	一	—	—	—	—	—	一九・二〇
搖水	三	—	—	—	—	—	一五・〇〇
雜工	一	—	—	—	—	—	一五・〇〇
更夫	一	—	—	—	—	—	一三・〇〇
山廠司事	六	—	—	—	一九・二〇	一六・一〇	—
材料廠	四	—	—	—	二八・〇〇	一一・〇〇	—
道撥工頭	五	—	—	—	—	—	二五・〇〇
道撥工人	三	—	—	—	一七・五〇	一四・七〇	—
看水槽夫	二	—	—	—	—	—	一〇・〇〇
共計	八九	—	—	—	二八・〇〇	一一・〇〇	—

工別	人數	最高工資(元)	最低工資(元)	平均工資(元)
公役	一	—	—	—
碼頭照料	七	—	—	—
船頭目	一	—	—	—
水手	三	—	—	—

分路夫	九	—	—	一六〇〇
小工頭	一	—	—	二五〇〇
小工	一二	一八〇〇	一四七〇	—
電話生	五	—	—	二二二〇
挑礦夫	二〇	—	—	一四七〇
機匠	六六	三八〇〇	一〇〇〇〇	—
共計	一五一	三八〇〇	一〇〇〇〇	—

(九) 白石營業 象鐵採運白石一千噸，其費用如次：

(一) 採石費

名目	每白石千噸之費用(元)	每白石一噸之費用(元)
炸藥一〇〇〇筒	一四四·七三	〇·一四四七三
銅帽八〇〇粒	三三二·〇〇	〇·〇三三二
引線一〇〇圈	三七〇·〇〇	〇·〇三七〇
工資	二二六·〇〇	〇·二二六
運費	一四一·〇〇	〇·一四一
共計	五九〇·七三	〇·五九〇七三

(2) 售價——每噸實洋〇·六四〇七三元，可盈餘洋五分。

三 福建省

華安漳平龍溪鐵礦概況

(一) 華安之洛陽鐵礦

華安縣濱九龍溪，舟楫可通至距城二十里之嶺兜。礦區在縣城北九十里洛陽村西北三里，四面皆峻峭山嶺，險惡異常，向為匪巢。村東距安溪一百餘里，西距漳平六十里，為三縣交界之特別區範圍，交通不便。

礦床成一大脈狀，走向北五十度西，其東南一端則深入河中。礦石為暗紅色之赤鐵礦，產於「南靖系」石英砂岩中，其西北一帶盡為花崗岩侵入體。礦石含三氧化二鐵百分之九四·九七，矽酸百分之一·七五，硫百分之〇·二二，其結構多呈塊狀或粒狀。在顯微鏡下，赤鐵礦多呈紅色，其邊緣常有不連續之褐鐵礦，成繭狀外殼，顯係風化之結果。礦床內間見少量之黃鐵礦及塊狀磁鐵礦，此外尚有鉀硫鐵礦與硫鐵礦伴生。想係花崗岩內之鉀長石與風化之硫鐵礦經天然化學作用而生成者。鐵礦石之邊緣又常發見結晶完美之石榴石，足證此礦為高熱接觸礦床。礦脈突出於石英砂岩之上，高約四十尺，寬五十公尺，惟長度因一端沒於河度，一端向西北展延，未止於何處，茲假定為二千公尺，比重三·三，計其礦量為一二、八〇〇、〇〇〇噸。

(二) 漳平草洋鐵礦

漳平在華安之北，縣城濱九龍溪之上游，礦區在城東北一百二十里之草洋，生於山坡之上，山路崎嶇，交通至為不便。

礦區中部有二疊紀石灰岩，為花崗岩所侵入，衝為南北兩段。石灰岩之上為二疊紀砂頁岩，因與花崗岩接觸，亦多為變質。有石英脈寬約二十公尺，橫貫其間，該鐵礦即生成於此石英脈兩側與砂岩接觸處，形體不整，厚薄不一，有時成稜體，有時僅沿石英脈之邊緣而為脈狀。在石英脈之北面者質劣脈細；在南面者則寬厚而質佳。其成分含三氧化鐵百分之九二·二〇，矽酸百分之三·九二，硫〇·三三，六為磁鐵礦。

鐵石之結構亦不均一：距花崗岩近處者，多為晶狀，呈三八面體，常包圍於次生之褐鐵礦內，共生礦物有石榴石、晶粗不大，風化甚深，及微量之燧灰石、鎢英石、金紅石等；距花崗岩較遠處者，鐵石多呈塊狀及粒狀，色黑而光亮，表面常現腎狀或葡萄狀之構造，間有赤鐵礦等之共生。估算諸量，過貧者除外，茲分段計之：在脈之南面，距花崗岩甚近之凸鏡體，露於地面者甚大，長約一百公尺，最寬處十公尺，平均五公尺，深假定為百公尺，比重為四，計其量為二〇〇、〇〇〇噸。其西脈狀礦，長約二百餘公尺，寬平均二公尺，深估為一百公尺，計其量為一六〇、〇〇〇噸。合計二者共三十六萬噸。

(三) 龍溪丹林鏡鐵礦及其他

丹林在龍溪縣城東十五里，南距漳廈汽車路僅二里，居於平原之邊際，其他三面皆花崗之鑛山。其邊際為斑狀花崗岩，中部為角閃花崗岩。在丹林之東，有偉晶花崗岩脈侵入，成東北西南之走向，寬約五十餘公尺，脈中有鏡鐵礦，散佈於石英長石間，有時集聚而成塊狀或脈狀體，灰黑色，有金屬光澤；呈雲母或纖維狀之構造，質軟易碎；一部分已風化為褐鐵礦。該鑛應為岩汁分泌，大約與偉晶花崗岩同時發生而凝聚較富者也。分散於火成岩內，無一定之形狀；沿母岩走向尋索，數里以外即告枯竭，故無甚價值。鑛石含三氧化二鐵百分之八九·九四，矽酸百分之四·七，硫百分之〇·三。

此外尚有更小之鑛鑛數處：如龍岩城北有赤鐵礦沉積於黃色砂岩內，層薄質劣；漳平蓋多洋有鐵砂，為由附近含鐵地層沖聚而來，鑛量甚小。

四 貴州省

本省鐵鑛業及各縣產量

貴州鐵鑛，多由人民自由挖取鐵沙，售與廠方，以土法熔成鐵磚或鐵餅，再行

發售，鐵廠係由當地稍有資產者集資開設，現有此項小規模之鐵廠一百二十餘家。人民所取鐵沙，內含鐵質約百分之八十，即鐵沙百斤，可熔成純鐵八十斤，現已開採者四十餘縣，每月出產最多者，為威寧、平越、青溪、龍里，計每縣約十萬斤至五十萬斤，其次為惠安、沿河等縣，統計現全省每月可出產鐵約二百萬斤，其產地售價每百斤五元或七八元不等，多銷於滇、桂、湘各省邊境。茲將各縣每月產鐵量列左：

縣	名	數	量
貴	陽		八五、〇〇〇
鳳	崗		五、〇〇〇
正	安		三〇、〇〇〇
赤	水		一四、七〇〇
綏	陽		不詳
水	城		一〇、〇〇〇
平	越		一〇〇、〇〇〇
大	定		二〇、〇〇〇
安	龍		五〇、〇〇〇
安	南		二四、五〇〇
三	合		五〇、〇〇〇
印	江		二〇、〇〇〇
紫	雲		四〇、〇〇〇

青	都	肇	沿	仁	貴	織	龍	黔	威	石	鑼	盤	郎
溪	勻	安	河	懷	定	金	里	西	寧	阡	水	縣	岱
三〇、〇〇〇	八、〇〇〇	七〇、〇〇〇	八四、〇〇〇	三一、〇〇〇	一四、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇	二一、〇〇〇	五〇、〇〇〇	一、〇〇〇	四〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	二〇〇

五 廣西者

北流之鐵礦概況

廣西北流縣城西南二十餘里之蟠龍產鐵，地濱北流河，可行民船，達藤縣而出西江，交通稱便。產鐵礦之山以大牛山及化石山爲大，各高二百餘公尺。礦爲含錳之赤鐵礦，成層狀鑛床，夾於厚層狀之石英岩中。石英岩上之黃色頁岩中夾有層狀之鐵礦。大牛山至少含鐵礦兩層：下層厚三四尺，中參雜其他岩石，上層掩於

浮土內。化石山之鐵礦應與之同屬一脈。大牛山鐵礦現在有商公司一，雇工採掘，每鑛石萬斤，付地主毫洋六元。或就地鍊鐵，或運至隆盛入爐，視燃料之價值爲轉移。桂南全部無煤，燃料惟木炭，每百斤售毫洋一元。故鍊鐵成本，燃料占十分之四；採掘費僅十分之一。鍊出之鐵製成鍋鑪家具，每七十斤售洋十元。

容縣之靈山興業之山心城隍亦產鐵，均爲原生鑛床，由水中沉澱而成，與大牛山者相同；惟此二縣之鑛床露頭不若大牛山之清晰。現時尚未開採；觀其鑛床之零亂與不連續，恐儲量不大。然就鑛質論，容縣者較大牛山者爲純。茲將兩廣地質調查所之化驗結果錄次：

產	地	蟠龍	大牛山	靈山	大刺山
鐵		三三·五六			六二·三四
錳氧二		三二·八〇			〇·五〇
矽氧二		八·三二			一·二五
磷二氧五		一·二二			〇·二〇
鋁二氧三		六·六五			四·一七
鈣氧		〇·六二			〇·〇五
鎂氧		〇·四一			微
硫		〇·八〇			〇·二四
燃燒損失		九·六四			七·五九

此外，鬱林大寒山附近之九村山，亦有一種片狀之赤鐵礦，生於偉晶花崗岩

脈之中，惟鐵量無多。

六 甘肅省

(一)本省鐵礦調查表

地	點	面積	積(公畝)
兩當縣大山地			一、二二六、七三七
南鄉太平里			二二八、八〇〇
徽縣田家河鋪			七三七、七二八
南鄉梁家後溝			二四五、七六〇
成縣南鄉趙家鋪			三、二九〇、一一一

(2)成縣鐵礦

四耳溝鐵礦距成縣縣城八十里。前由隴南鎮守使孔繁錦開採，孔去職後停辦。二十三年春地方各界人士，集資二萬元，繼續用土法開採。據有工人二百餘人，年產生鐵約十餘萬斤。現尙謀擴充，不難發展。

第四目 鐵

一 廣西省

民國二十四年(至八月底止)各鐵礦明細表(二十四年八月)

礦廠名稱	礦區位置	種別	上年餘數
明德鐵礦公司	宜山縣懷遠區大安鄉上角村	硬鐵礦	十二萬斤
榮發鐵業公司	桂平縣	軟鐵礦	八百噸
寶興鐵礦公司			

備考	工作日數	工數	餘存數	出價		探出數
				實數	量	
明德公司所沽之鐵係粗鐵每噸二元由承買商人自行開採探出粗鐵即行過磅并未總提煉本年度停辦所探出之三百噸係民國二十三年四月間探出之鐵合註明寶興公司自二十年後硬鐵無銷路逐年僅採軟粉註明餘噸運專供製電氣原料價目專指貨價採運費不列	不定	二千四百	七萬斤	三百元	五萬斤	三百餘噸
	六個月	六千	五百噸	四元	三百噸	一百八十噸
	十個月			十二元	一百八十噸	

二 江西省

樂平鐵礦

(一)地質礦床 鐵山峯地質礦地質調查所之調查，爲硅質類硅質頁岩、灰質頁岩、礫岩、砂岩等之累層礦石，成各種形狀，如腎樹狀、葡萄狀、乳房狀等，混於上部土壤中，愈上部愈豐富；土壤之下部，在硅岩隙縫裏面，尙有鐵細脈貫注其中，不過沒有上部礦石之豐富。推考其地質時代，似乎像古生層，其上部硅質水成岩，受了露天化的作用，將岩石本來含有硅酸鐵鹽類或鐵分溶解於天水內，變成一種液體，當爲變成溶液時，多少漂流失去，但其大部分沈澱成上記各種塊狀，於露天化土壤中，有時構成很富厚礦床，其下部岩層裂縫間之細脈，則多角礫狀礦石。

(二)礦質鐵量 鐵山峯鐵礦屬硬鐵礦、軟鐵礦、水鐵礦等數種，並夾有褐鐵



鑛及赤鐵鑛，鑛質頗良，經江西地質調查所化驗結果，含錳量在百分之四十至五十一，鑛石多帶鋼灰色，有時亦呈灰紅色，質極堅硬。至於鑛量，因呈各種結核塊狀於土壤中，難得精確之含量，現就其分佈面積約二萬公畝及深度一百五十公尺推算，其可能之埋藏量，約有四億噸。

(三) 採掘運售 鐵山峯錳鑛床因為露天化鑛床關係，一切均用露天採掘法，但是當時經營之人，全不明瞭科學方法，只要發現有鑛石地方，就向下面掘進，遇到水或崩塌，就沒有辦法了，但有時亦開小窿道採掘，在山嶺部採掘者，則用自動斜面落下，而在下部採掘者，則用輕便道運至山之北麓，鑛車鑛製車箱為▽形，以便傾倒，惟自經匪亂後，不獨各處動產蕩然無存，即裝設之輕便軌道公事房等，均焚毀一空。工人每日達二百餘人，分採砂及運砂兩種，採砂工人每噸工價約一元二角，運砂由山脚運至河干，每噸約合五角，其外尚有採砂小工，此種小工對鑛石之鑑別頗有經驗，將其中岩礫及貧弱鑛石減去，以增鑛石價格並可減輕運費，所以該處曾雇有二十餘名小工，提揀鑛砂，每揀砂一噸，約工價三角，但收砂外商復於河干揀提一次，約損失鑛一成。採鑛工人鑽鑿之外，更用火藥爆炸，手藝好者，每天可採一噸或一噸半，手藝最差者亦可採半噸，每年產量約七千噸，運砂工人每人每日由山脚推至河干可推四次，每次運量最強者可堆六百斤，幼弱者二百斤，平均約三四百斤，其推價以斤計算，每斤約銅元一枚。至運售方面，錳鑛由鑛山採掘，及運至河干約合計本價七元，由崇埠街河下運至樂平縣，每噸上年約費一元三角，下年約費一元五角，由樂平至鄒陽，運費每噸約費一元八角，由鄒陽改用拖船運往九江，水大時由樂平起拖，亦可由鑛山收買鑛石運往九江，每噸成本約合二十元左右，運至九江後，乃由日本公司派三噸上下運船，運至日本。

第五目 錫

一 湖南省

全省錫鑛產額表(二十三年度)(單位噸)

新化各鑛廠及錫鑛局	九,〇〇〇.〇〇
久通錫鑛公司	二〇〇〇.〇〇
邵陽	二五〇〇.〇〇
新安寧	五〇〇〇.〇〇
東安	八〇〇〇.〇〇
其他	七〇〇〇.〇〇
其	五〇〇〇.〇〇

二 雲南及廣西

兩省二十三年度產額表(單位噸)

雲南	一〇〇〇.〇〇
廣西	六〇〇.〇〇

第六目 錫

一 湖南省

(1) 錫鑛分佈與儲量

(一) 分佈 錫之主要用途，係與鋼鐵製為合金，名曰錫鋼，為製造現代武器之必需原料，故錫鑛為國防上之重要產物。中國及緬甸為世界之主要產地，中國錫鑛之分佈，除河北省曾發現外，而重要地方則在贛粵湘閩四省，且均不出南嶺幹脈及其支脈之範圍，就中以贛南為最豐富，粵湘次之，福建較少。湖南重要錫鑛

區爲汝城白雲仙資興瑤岡仙臨武瀨子嶺及羅坪茶陵鄂埠仙桂東青洞及酃縣石岩窩等處，其次爲郴縣金船塘東安鐵炭山及常寧烏金坪等處，皆係含錫之石英礦脈貫於花崗岩，或與其相接觸之水成岩中，共生礦物：爲錫石、輝鉍礦、輝鉬礦、黃鐵礦、黃銅礦、錳雲母、電氣石等，現在全省登記之錫礦，或夾有錫礦之鑛業權共十六家，鑛區面積共計五萬七千四百六十四畝。

(二)產量 中國錫鑛產量占全世界之第一位，約爲全世界產額百分之七十以上。考錫鑛在中國尙無法利用，悉數輸出外洋，故海關冊載輸出於外洋之數字，可視爲中國全國之產量；但長沙關出口之數字，則殊不足以據爲湖南之產量，蓋湖南出境之錫砂，有來自江西境內者，有湖南所產運由廣東出口者。茲就各鑛山情形估之，總計歷年湖南出產之錫砂，約有一萬餘噸，現在每月可產出四十噸之譜。

(三)儲量 各處儲藏錫鑛之量，除已採者不計外，汝城白雲仙約七千噸，茶陵鄂埠仙約七千二百噸，桂東青洞約二千五百噸，資興瑤岡仙約三千七百噸，臨武瀨子嶺約一千噸，總計共約二萬一千四百噸。

(四)價值 長沙市錫砂之價格恆視英國倫敦爲轉移，在歐戰期間，每噸達二千四百餘元，歐戰後遂次跌至三百餘元，現因世界風雲日緊，又驟增至每噸一千四百餘元。

(2)常寧白沙西嶺錫鑛概況

常寧東鄉白沙西嶺錫鑛，距縣城六十里，距白沙三十里，鑛砂須由人力挑至白沙，在白沙裝民船由蛟河出衡河，達湘江。鑛區包括老瓜山、雞公龍、李家山等處，共面積一、五五〇畝。鑛砂產石英脈內，脈行花崗岩中，露頭現於山頂及山腰，鑛窿依露頭鑛脈掘進，現窿口有三十餘處，窿高一·六公尺，寬一·〇公尺。

窿內只容二三人工作。開石採砂，用炸藥鑽眼深四百至五百釐，每人每日可打三孔或四孔，每眼用黑藥三兩。炸得之砂，運至地面，加以選洗，初用五釐孔竹篩篩之，精砂過篩，篩上廢石含有鑛砂者，再錘再篩，如此數次，至鑛砂選盡爲止。選得之砂，運至山下洗池中，洗池長八尺寬五尺深八寸，水從一端流入，他端流出，水流過時，用鐵鉆將池內鑛砂翻動，所含廢石土壤被水衝去，如此衝洗二三次後，再行手選，手洗係用水桶儲水，口徑二十三寸，底徑二十一寸，高二十八寸，再用蔑製旋篩，口徑十六寸，底徑十八寸，高四寸，精砂裝旋篩內，洗工執篩在桶內水內上下簸動，精砂過重下沉，石屑較輕上浮，由洗工隨時撤去，至相當時即得淨砂，含錫酸百分之六十二至六十五。

火藥鑽桿等工具，由公司代購，工人自費選洗，工具則由公司備置。採選工人共五十人，平均每日每人可得淨砂一斤半，每斤給洋二角五分，爲包採收砂之性質，統計該鑛每日平均可出砂八十斤，每月約一噸半，合計每噸採費四百四十元，監工小工等事務費每噸攤七十元，運至長沙運費及領照用費約五十元，資本利息約十元，共五百七十元，照現在長沙市價計算每噸可獲純利三四百元。

二 廣西省

民國二十四年(至八月底止)錫鑛明細表

礦廠名稱	富源鑛業公司	同上
礦區位置	恭城縣栗木鄉	
種別	錫	錫
上年餘數		
採出數	二三八	

供選礦數	二三八
選出數	二二六
賣數量	二二二
出價目	八六、九〇〇
餘存數	四
工數	一六〇、〇〇〇工
工作日數	一八〇日
備考	二二〇

(1) 本表採礦部自二十四年一月起至七月止選礦部自三月起至七月止(2) 本表價目以元為單位(3) 本表提煉部現正請照尚未提煉

第七目 金

一 湖南省

桃源冷家溪金礦概況

桃源冷家溪金礦，在縣治西南一二〇里，包括冷家溪白岩嘴等地，計面積二、七八五公畝。本礦相傳始於明初，民元間曾鼎盛一時，後為盜匪所毀，至民十七八年間，先後成立利華、新華、富華等公司，後以糾紛，新華將礦區及設備等賣與建廳，現由建廳開採。

(一) 工制 工人分採礦選礦及臨時工三種

(1) 採礦工人係用點工制，每日分日夜兩班，月薪分四等十二級，自八·五元至三·〇元，分大工及小工，大工司打眼放炮，小工司抽水挑砂，工作成績若佳，小工每隔一月遞升一級，正班大工隔三個月升一級，領班隔四個月升一級，至一

等一級工作十二月後，再議遞升，若成績劣，則留級或降級。

(2) 選礦工人係點工制，又分三等：(子) 清金技工，淘洗水研所出之精砂及冶煉毛金，月薪十八元。(丑) 清金工鎚碎礦石，管理水研，月薪十元，夜間須起床照料。

(3) 臨時工又分數種：(子) 窿內採得之礦石，由採礦小工挑出窿口，堆於口外各堆屯場所，由各場所挑至各研廠，是為運砂，則屬之運砂工，係包工制，計挑收貨按步給辦，每挑規定一百斤，(丑) 木工及鋸工係臨時雇工，月薪十二元，石工月薪十八元，小工月薪六元，伙食外。

(二) 採礦 採礦純係土法，惟窿身較普通小礦為大，即 8x8 至 8.5x8.5 公尺，隧道循礦脈而行，紆迴曲折。開石採礦用炸藥，打眼工具之鐵鏈係自安化購來土鐵鍛成，每個重五斤至七斤，價約一元。鑽桿則為六分洋鋼條，每枝長一尺至三尺，眼徑一·五吋，深一尺二寸，每工每班須打四眼，所用炸藥為土產名「砲硝」。窿內用自然通風，冬季窿內溫度較高，冷空氣由洩水平坑入窿，經過各採掘處至高處老窿口出口，夏季窿內溫度較低，其出入之路則反是。窿內之水係由地面透下，故其水量與天氣相關，排水用竹筒抽水，竹筒徑大四吋至六吋。

(三) 選礦 選礦分研磨及淘洗兩步：(子) 研磨先用人工將礦石鏈碎，約雞蛋大小，然後置水研內研之。水礦有兩式，一為衝鼓式，構造費較大，而水力之走失較少；二為傘鼓式，構造費較小，水力之走失較大。(丑) 淘洗研內放出之礦泥先儲砂桶中，加多量之水，然後啓桶門將礦泥放出，流過金床，金床為木製之槽，長六·五呎，寬二·五呎，內有小格四〇至五〇個，格木厚半吋，格距四分之一吋，首端鋪粗布一塊，借其阻力以阻滯比重較大之物下滑，金床斜度十五度，礦泥流過時，質輕者隨水流去，質重者留在格內，然後將格內之砂取出，另用洗金盆淘之，重者沉

底，輕者上覆，然後取重砂作第二次淘洗，於盆內加適量之水及茶枯，因茶枯能生泡沫，以增硫化鑽物之浮動性，藉與金粒分離。第一次淘洗為清金工之工作，所得之物盛於竹筒，每日送交處內；第二次為清金領工之工作，所淘得者為毛金，每日分別用皮紙包好，待相當重量再加治鍊。

(四) 治鍊 毛金含金成分九十六至九十九，先置銅瓢內烤熱，再置竈鉢內加硝酸以溶解其中之雜質，每毛金一兩，需加硝酸〇·二六兩，雜質溶盡，將廢液傾出，洗淨，將金末復置銅瓢內烤乾，再用皮紙包好，焙金爐升水坩鍋置其中燒紅，投入硼砂燒熔，將鍋轉動，使硼砂敷滿鍋內，於是將皮紙金包置鍋內，再酌加牙硝（即硝酸鉀）於其上，以氧化其他雜質，鍋上蓋瓦片，閉爐中焙之，焙後倒入鐵模，模須先烤熱，將茶油注滿其中，然後將熔金倒入稍冷，將金塊傾入冷水中淬冷，附有渣滓用小錘敲落，再用濃硝酸洗之，即是金也。

(五) 產額 本礦自民國二十二年五月起始產金，自五月至九月每月產量均在五兩以下，至十一月斗增至四十七兩，以後一減一增，相遞至今，而其趨勢則為上增，最高為三月產六十三兩。茲將產量列后：

二十二年（八個月）	產金	九八·二二兩
二十三年（全年）	產金	四二七·三八兩
二十四年（一月至七月）	產金	四五五·三五兩

就三年之產額計之，永興隆占總產量百分之七十四，大棚隆占百分之十七，白水研底砂及餘似等之淘洗而得者占百分之六，出自收買者占百分之二，收買之金係溪內廢砂，包人淘洗，每市兩收買價六十元。

二 廣西省

中國經濟年鑑 第三編 第十一章 礦業

(1) 上林最近採金情形（二十四年二月）

廣西上林縣金礦豐富，屢次發現新礦區，而產量亦豐，秋冬農隙之際，採掘尤盛。最近萬嘉墟附近鎮鄧鄉勤治水台等礦區，工作者不下四千餘人，產量每日約值五百元，統計最近三月來，已達四萬元以上，兌現價值每錢約值十一元左右，惟農民所用土法開採，祇掘表面，不能及於深層，埋藏餘量尚不少。

(2) 民國二十四年（六月底止）

砂金礦明細表

備	礦廠名稱	礦產種類	上年餘	探出	供選煉	賣數	出價	餘存	工	工作	備
考	民生公司	砂金	市兩二兩八錢	數一十一兩五錢	數無	量一十二兩	目小洋一千零二十元	數二兩三錢	數一百七十名	數二二〇日	

三 新疆省

本省金礦概況

產金區域，計有阿山、和闐、且米、塔城等縣，以阿山礦區最廣，質量亦佳。民國七

年始由省政府告示民衆，自由開採；每人月徵課金四分。開採之初，往礦區挖金者約計五萬餘人，課金收入每年約計一千五百兩。二十二年遭匪亂，遂告停頓。本年該省農礦廳決定恢復阿山金礦，在阿山設立金礦局。除由礦局僱工採挖外，並准民衆自由採挖。現已委派人員，前往測驗矣。阿山產金最旺之區爲東義河、西義河、哈熊溝、三道橋、前溝、東山等處。金質以哈熊溝產者最佳。開採方法，分水窩、乾窩兩種。自河岸上至山頂，就金脈散佈區內，盡量挖取混合金苗與沙土，運至河岸附近，待至冰融解，而後淘金，是謂乾窩。以黏土當河中間築一長堤，攔水流方向，將水排出河槽，然後淘取河底之金苗，再經淘濾，是謂水窩。此法以金苗成分較重，沙土質量較輕，一經山水冲刷，金苗沉澱，而沙土自水冲去。故水窩較乾窩獲金爲多。

開採金礦分兩期工作：第一期，每年三月至七月從事查探礦苗，搭蓋住所，運輸築堤材料。第二期，每年七月、八月間，修築河堤，謂之攔河壩；而正式挖金時期，亦於河堤修竣之後開始。至十月冬至後，河水冰凍，工作即告停頓。每年因淘金工作，爲時甚暫，工人待遇，亦頗優異。阿山舊廠工資標準，概以純金爲單位。每年三月至七月間，工資較低。每人每日工資計現金二錢以上三錢以下；八九十月等月，爲金忙時期，工資較高，每日每人工資多則五錢，至少亦獲三錢五分。每月分初十、二十、月底三期，按時價折合省票發給。礦工每人日食至少麵條二斤，夏日長淺，日食四次，否則，饑不能作。舊日從事經營金礦者，除按月發給工資外，另訂年終紅利劈成辦法，鼓勵工人工作，並收容工人小股資本，以資生息，因以獲利倍蓰。

四 西康省

(一) 理化金廠現況

西康理化縣金廠狀況略誌於后：

一、昌科金廠，計有阿燈鄧朱等四人承辦，金夫共一十六人。

- 一、各母金廠，計有阿打等五人承辦，金夫共三十六人。
- 一、曲科金廠，計有松龍羅布等四人承辦，金夫共十三人。
- 一、科馬金廠，由松龍巴登承辦，金夫共三人。
- 一、獨科金廠，阿多承辦，金夫共五人。
- 一、卡龍金廠，由晏清承辦，金夫共五人。

以上六處共金夫七十八名。

(2) 康定金礦最近狀況

西康各縣，多產黃金，惟因開採方法，陳腐不堪，致產量未豐。二十三年冬自財務統籌處設局稽征，從事整頓以來，採金事，較前興盛。即以康定一縣而論，金廠金夫，亦較前增加甚多。茲特就調查所得，分別詳誌於下：

- (1) 魚子石金廠，計有李維周等二十五棚，金夫共八十六人。
  - (2) 梭坡金廠，計有余樹帆等二十四棚，金夫共一百零三人。
  - (3) 偏岩子金廠，計有方占雲等七棚，金夫共三十九人。
  - (4) 三道橋金廠，計伍玉興等兩棚，金夫共四人。
  - (5) 燈盞窩金廠，計有李興齋一棚，金夫共四人。
  - (6) 孔玉金廠，雖無棚首，但金夫亦有四十三人。
- 以上六廠，計分五十九棚，金夫共有二百七十九人。若到翌年春季，天氣溫和，更有興旺之可能。

五 青海

本省金礦概況

青海沙金產地甚多，產量亦富。如八寶、俄博之金，採取已多年，尙未窮其富源。瑪沁雪山之金，據某英人談，若用機器開採，其貯蓄量不亞於美之新舊金山。他如

黃河沿岸，瀘水沿岸，大通河沿岸，及其附近各山間之金沙，亦在不少。若能大肆採金，其利實足以作建設新青海之資本。茲將產金各區之現況列表：

瑪沁雪山 產金甚旺。四月至七月為淘探期。採工約二百餘人；每日每人工資祇打麵六斤。

八寶 產金甚旺，已採多年。四月至七月為淘探期。採戶不定。採工當地稱沙哇；每日只領口糧三頓。

俄博 產金甚旺，已採多年。沙哇約一百二十餘人，每人供口糧三頓。

大峽口 產金區不大，近年始採。採工自給，無勞資階級之分。

南川工門關 產金區不大，往年由附近居民私淘，近年漸成公開，無工資階級。

二古隆寺灘 產金甚旺。前為附近寺院和尙阻止採取，近已開放。

西川俄博山 產金甚旺。番人阻止採淘，輒以無金沙詭人。但大雨之後，樵牧者間亦拾得。

中紅堡河灘 產金區不大，近年始開採。沙哇四十餘人，收料金員一人。

享堂 產金區不大，近年始開採。附近居民於農隙時採淘。

(貴德) 黃河沿 產金區大，而採淘甚費力。番人阻止採淘。附近回民約伴採淘，如番人約衆馳逐，即逃回。

柴旦 產金甚旺。番人阻止採淘，并以路遠，去者甚少。

另悉青海之聲沉大通樂都等縣，年產金一萬二千餘兩，運甘肅蘭州銷售。

六 四川省

安縣金礦近況

安縣水災後，人民生計維艱，縣府特准人民挖金，因此縣屬各區之金廠，不下

百餘，每日出金約百餘兩，尤以麻柳灣一帶為旺盛，平均每人一日有一枚大洋收入之希望。近日該地某棚，曾淘得大金彈一枚，重約六兩。

### 第八目 銀鉛

#### 一 浙江省

##### 各縣銀鉛礦概況

(1) 諸暨縣銀鉛礦

一礦在該縣梅溪鄉小銀坑一帶，礦脈相連，苗路甚廣，分下列四區。

(二) 梅溪鄉小銀坑 面積一、四八一·九三三公畝，礦脈八道，夾于石灰岩內，露頭最厚者，約三公尺，礦質為方鉛礦，含銀頗高，前由大豐公司承採，資本短絀難發展。

(三) 梅溪鄉塢坑與小銀坑毗鄰，面積二、二四二·五六〇公畝，礦質方鉛，尙未開採。

(四) 銀峯尖未開採。

又一礦在該縣銀坑石達灣，脈行石灰岩中，下深二、〇〇〇呎，面積至少千畝。礦床鑿石係花崗岩，及長石斑岩，礦砂為含銀之細晶方鉛礦，交通較便，前曾由大豐公司聘萍鄉煤礦工程師試探，因資絀停工。

(2) 常山縣銀鉛礦

礦在常山縣七都銀精洞，含銀之鉛礦砂，在石英脈內行石灰岩中，分佈頗廣，曾經用土法開採，現已停工。

(3) 象山縣銀鉛礦

礦在象山縣陳山銀坑，現有廢窿，深二十丈。

中國經濟年鑑 第三編 第十一章 礦業

(K) 一三六

(4) 青田縣銀鉛礦  
 礦在青田縣銅橋坑，苗脈分佈於岩岩內，未開採。

(5) 富陽縣鉛錳銀礦

富陽縣鉛錳銀礦區有二，一在喻家灣，面積三八二·六〇五畝，一在縣西鄉由安甫鎮採，面積四〇二·〇〇〇畝，礦苗成分頗佳，現小資本經營，產量不詳。

(6) 宣平縣輝銀礦

礦在宣平縣南鄉，為新近發現，礦脈分佈尚廣，儲量頗豐，甚有希望之銀礦。

(7) 平陽縣輝銀礦

礦在平陽縣赤岩山，及華陽山，礦脈分佈於石英岩中，未開採。

二 湖南省

(1) 常寧水口山鉛錳礦局近況

本礦礦賦將罄，維持產量日感困難，年來採礦工作，除一二處係採得整個小

二十二年份產銷統計表 (單位噸)

礦別	一月		二月		三月		四月		五月		六月		七月		八月		九月		十月		十一月		十二月		
	產量	銷量	產量	銷量	產量	銷量	產量	銷量	產量	銷量	產量	銷量	產量	銷量	產量	銷量	產量	銷量	產量	銷量	產量	銷量	產量	銷量	
砂鉛黑	三九·三六	四〇·六七	五〇·五五	三九·九八	二五·三七	五七·四二	四九·四五	四三·七六	四四·六四	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五
砂整白	三九·三六	四〇·六七	五〇·五五	三九·九八	二五·三七	五七·四二	四九·四五	四三·七六	四四·六四	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五	四四·二五
砂碎白	四七·二五	五八·九六	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五	四七·二五
礦產	五五·五五	六〇·三九	八四·七四	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五	五五·五五

包鑛體，尙可計劃依次採掘外，其餘均係尋覓各老砂湖不整齊之砂，昔年未曾採盡者，其辦法對於已經填充者，測準方位高低，裝巷追索，對於空洞老湖，則運廢石煤灰等物，徐填徐採，故毛砂產量低落，而工程費用無法減輕。採礦工作，為開源惟一之途徑，本礦區內鑛床雖已至不易尋覓之境，然亦不能不就理論上之可能範圍內，用探巷法繼續探索，以冀有所發現。選礦方因毛砂量減，敲砂廠由二廠縮為一廠，洗機廠每日只開一班，工作八小時或十小時，視毛砂量而定。機械設備，係適合採選之需要，無多變更。惟廠內抽水已由日夜三班，改為二班，每班工作仍為八小時。此外煉礦廠開爐八座，月產硫磺約五百石，松柏鍊錳廠開爐二十座，月產白鉛塊約三百石。二十二年四月一坑窿口崩塌，督修五十日始復原狀，故四五兩月產量尤形低落。本礦當局以情形困難，特力事緊縮，其要點在工程方面為節省各隆材料物品，增進工作效率，為樽節不急用，裁併職務較閒之員工，一年以來，尙能勉維現狀，薄有贏餘。茲將本年各隆礦砂產銷及開支情形列表如左：

塊	錳	礮	硫	砂	收	
					支	別
售	銷	產	售	產	類	別
量	量	量	量	量	單	位
四〇〇〇	三〇〇〇	七五〇	三〇〇	一四〇	二十三年	一月
四〇〇〇	三〇〇〇	七五〇	三〇〇	一四〇	二月	二月
四〇〇〇	三〇〇〇	七五〇	三〇〇	一四〇	三月	三月
四〇〇〇	三〇〇〇	七五〇	三〇〇	一四〇	四月	四月
四〇〇〇	三〇〇〇	七五〇	三〇〇	一四〇	五月	五月
四〇〇〇	三〇〇〇	七五〇	三〇〇	一四〇	六月	六月
四〇〇〇	三〇〇〇	七五〇	三〇〇	一四〇	七月	七月
四〇〇〇	三〇〇〇	七五〇	三〇〇	一四〇	八月	八月
四〇〇〇	三〇〇〇	七五〇	三〇〇	一四〇	九月	九月
四〇〇〇	三〇〇〇	七五〇	三〇〇	一四〇	十月	十月
四〇〇〇	三〇〇〇	七五〇	三〇〇	一四〇	十一月	十一月
四〇〇〇	三〇〇〇	七五〇	三〇〇	一四〇	十二月	十二月

二十三年度鑛產收支表

收		支		類		別		單		位	
值		價		及		量		產		收	
錳		硫		礮		砂		錳		砂	
塊		塊		塊		塊		塊		塊	
元	擔	元	擔	元	噸	元	噸	元	噸	元	噸
二,二二六	五,四〇〇	三,九五一	四,〇〇〇	三,〇六九	五,七	七,六四	一,〇九二	五,六五	三,五〇	一,〇二	四,〇〇
一,六六〇	八四〇	三,三三一	三,三三一	一,一四四	三,六七	三,六七	五,二	四,八四	三,〇一	四,〇九	三,五
五,三七六	二,九九	三,九五一	五,三	二,一三〇	五,三	四,〇九	五,四	五,六二	三,五	五,三	四,六
九,四一	四〇	四,五八	六〇	三,五六	五,元	五,三三	五,六	六,三五	三,二	四,二	五,五
七,七七一	三,九	六,三三四	八三一	三,二五	六,一	三,六二	五,六	四,四〇	三,四	三,二五	四,四
六,五九	三三	七,〇〇	九三	三,五三	八〇	三,六一	三,七	四,七七	三,〇	三,六一	三,七
一,六二三	〇	六,〇八二	八〇〇	三,八二三	九三	二,七五	三,九	三,八五	二,四〇	二,七五	三,九
—	—	四,二六	三,五	二,一〇六	五,三	三,四五	五,六	五,三	三,七	五,六	五,六
—	—	一,三六	一〇〇	二,〇三三	四,三	四,六四	六,七	七,七〇	四,九	六,七	六,七
—	—	—	—	二,〇三三	五,四	四,四五	六,二	七,〇〇	四,七	六,二	六,二
三,六四	〇	—	—	二,五七七	六,五〇	四,九	七,二	六,元九	四,三	六,二	六,二
四,四	一三	—	—	—	七,七	四,〇〇七	—	—	四,三	—	—



中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(K)一三八

事 作 給	合 計	支										入							
		料										總 共 計	合 計	入				合 計	
		費		木		機		焦		柴				烟		其 他	收 入		租 金
元	元	元	元	元	元	元	石	元	石	元	石	元	元	元	元	元	元	元	
三,〇三三	三,〇三三	二,〇七九	二,三三四	九五	八七五	三,三三三	一〇九	五〇	六,五九	一,二八〇	一〇,四六八	一九,六九	四九一三	四〇〇	二,四六	八	五	一四二	六八七三
三,一三三	三,一三三	二,〇〇〇	一,三三	八六	六八六	二,四〇〇	一〇一	一〇四	三,六二	七,四七	六,四三三	二,〇七五	四,三三三	二,三三六	八	三	二七	四,八八	
三,一三三	三,一三三	一,五五	一,五五	一,二四	七四	三,三六二	一〇九	一〇	三,五八	六,四九	九,五八	一八,四四	六,〇五五	七三	八	三	六四	五,八四	
三,一四	三,一四	一,八四〇	一,八五	一,四四	七三	二,〇六八	一〇九	一〇	三,三八	六,八七	八,八六六	一七,〇六	七,〇九	三九	八	—	九	七,五一	
三,一六七	三,一六七	一,七四六	一,九七	一,二九	七二	三,〇三三	八	八三	二,五二	五,三八	七,六八	一五,八四	六,一五〇	二九	八	—	二〇	六,一三七	
三,一八五	三,一八五	一,八七六	一,五五	一,〇六三	七四	四,二五三	八	八	二,五七	五,九七	八,〇三	一七,五三	六,七,六八	八八	八	—	三三	六,七,〇〇	
三,一七一	三,一七一	一,六三〇	一,七四二	一,一八六	八五	四,三六	七	八二	一,二六	二,六九	六,七〇〇	一四,六四〇	五,三三八	一七	八	—	一五	五,一五	
三,一八〇	三,一八〇	九四六	八五	一三	九三	三,九二	六〇	五	三〇	四〇〇	四,四〇〇	五,九一	四,七,五	三七五	八	—	二九	四,一九	
三,一三四	三,一三四	二,一八六	八〇	一,〇三	九四	三,三三	六七	四三	二四	二六一	六,八八	八,六四	五,九二	九	八	—	五	五,三四	
三,一六四	三,一六四	一,四一五	一,〇六〇	一,〇五	一〇七	三,六五一	九	六	一三	六	六,七四	九,三三	六,九三	六,八三	八	—	九	六,三三	
三,一七〇	三,一七〇	一,三九七	一,〇〇	一,六八	九二	二,二六	九	六	一五	一	七,四三	一〇,一七	五,五	七九	八	—	一五	五,七五	
三,一五〇	三,一五〇	一,八五	三〇	一,三	一〇〇	三,九七	六	五	一五	一	五,五	七,三四	五,三	五	六	—	一三	五,七三	



中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(K) 140

運銷量

備考	錫塊擔	錫礦擔	錫砂噸	錫碎砂噸	錫整砂噸	鉛砂噸	二十三年	
							一月	二月
一月份價：自產鉛砂每噸八〇〇元；收買價六一・六〇元。錫整砂一六・〇〇元，碎砂七・〇〇元。錫砂四・〇〇元。錫每擔七・六〇元。錫塊每擔二〇〇元。七月起，鉛砂每公噸七八・七三六元，錫整砂一五・七五三元，碎砂六・八九元，錫砂三・九四元，錫每公石二二・七六元，錫塊每公石三三・一〇元。	五〇	一六六	五九	—	一〇〇	六〇〇	—	—
	三三	—	一〇一	—	—	三〇〇	—	—
	元	四〇〇	三六	—	一〇〇	四〇〇	—	—
	七四	四七	八四	—	三〇	四〇〇	—	—
	四五	三〇	一三五	—	一〇〇	六〇〇	—	—
	二二	三六	六六	一〇	一〇〇	四〇〇	—	—
	一三	一四	九七	—	—	三〇〇	—	—
	五	三	四九	四〇	—	六七	—	—
	—	三〇	五九	—	一〇	五六	—	—
	四	一三一	五〇	—	—	四〇	—	—
	八	四	七四	—	—	五〇	—	—
	一五	—	四九	—	—	五〇	—	—

員工鑛警人數

人數	二十三年											
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
職員	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
鑛警	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
警官佐	四	三	四	四	四	六	五	五	五	五	五	五
公丁雜役	七	七	七	七	七	七	七	七	七	八	八	八
總共	一六	一六	一〇〇	一〇〇	一〇九	一三三	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六	一三三	一〇九

鑛工死傷津貼

	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
傷人	一〇六	六	九	一三	一四	一四	一七	三〇	三三	三九	二六	三〇
工津貼元	四〇	三六	三九	六四	五七	五〇	五六	六八	三九	四二	五四	四七
死人	六	二	二	一	四	三	二	二	二	一	三	五
撫卹元	一六一	五三	六四	一五〇	一四七	八五	八五	八五	八七	一	三元	五元

(2) 資興大脚嶺鑛概況

礦在縣南約五十里，發現於前清咸豐年間，時採時停。礦山表面概係泥土，僅窿口處現出一石灰岩，高寬不過丈餘，初開窿口時，係仿開煤鑛辦法，裝木而下，至十三樺，方到硬裝，不需裝木，由七樺至十樺，兩邊均係成塊焦壳，色如赤土，重者含鉛粉甚多，放入火中即有鉛流出，經桂陽爐戶（即煉鉛提銀之工人）試驗，每石可煉鉛十六七觔，（按此項焦壳係鉛砂經年過久被表面雨水浸潤風化所變成者）黑鉛砂每石煉鉛五十六七斤，提銀二兩五六錢。民國元年每噸市價實銀五十六兩，白鉛砂從未試煉，每石實銀十六兩，受主為多福洋行。窿道之深共計辦去二十六樺，且砂在底板上，伴牆而下，總係如氣口上之砂，似懸非懸，不成整塊，壓遇氣湖，大小不一，有寬高四五尺而長七八尺者，如此寬大之氣湖，實屬罕見。至交通由大脚嶺至渡頭十五里，即有小河通至灘頭上岸，陸行十五里，再到水足灘下，又十五里到東江，再換大船直抵耒陽大河，不過水程三十餘里，附近柴煤烟煤俱出產甚旺，可供機械運轉之燃料。

第九目 錫

一 雲南省

(1) 箇舊錫鑛情形

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

箇舊廠區向無登記機關，每年產額殊難得其確數，今依據錫稅計算，年產額約有六千噸至七千噸。至煉成之錫，多係隨煉隨售，有存貨待售者絕少。其產銷地點，有直接運至香港售與粵商者，每噸價約港幣二千三百五十元；有在箇市售與粵商運往香港者，每噸價約港幣二萬五千二百元，約合國幣二千六百四十元；運往上海銷售者甚少。其所以必運經香港銷售者，因箇舊成色不一，須經在港粵商將成色劃一後，改成洋條，始能轉售英美。近年由官商合組煉錫公司，收買錫砂，在箇熔煉成色劃一之錫，鑄成洋條，可以直接運銷英美，如外商訂購，即可與煉錫公司接洽，甚為便利。

(2) 錫鑛業調查表

鑛質成分	鑛區所在地		縣別	省別
	主要鑛物	副產鑛物		
含錫量百分之三至百分之五	錫鑛	無	箇舊縣	雲南省
			馬拉格	





中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(K)一四四

鴻興公司  
民國二十四年二月請領將數小鑛區擴充為大鑛區，至三月始組織成立現公司，鑛場係用天然之水力開採錫砂，又因該處道路崎嶇，交通不便，對運輸頗感困難，故暫不用機械而改用土法開採，計自二十四年三月起至六月底止，施工開採起獲砂數共六千四百斤，平均每月一千六百斤。

富源鑛業公司  
(1)本表採鑛部自二十四年一月起至七月止，選鑛部自三月起至七月止。  
(2)本表價目以元為單位。  
(3)本表採煉部現正請照，尙未提煉。

民國二十四年(八月底止)各錫鑛明細表(續)

鑛廠名稱	礦產種別	上年餘數	採煉出數	供提煉數	資		餘存數	工	數	工作日數	備考
					數	價					
賀成錫鑛有限公司	錫砂	八〇〇斤	六九七六三斤	七七,三六斤			三〇斤	職工 司機 公司 車等 攪井 工	一七名 一五名 一五名	三〇日	二十三年
永盛錫鑛公司	錫砂	一五三斤壹件	四七,四九斤	三噸					九名	三〇日	二十四年
普益錫鑛公司	錫塊		三噸								二十四年
施仁錫鑛公司	錫砂		二四,〇〇〇斤	三噸					六,〇〇〇工	三〇日	二十四年
聯合錫鑛公司	錫塊		一四,五五九,九五斤						一〇〇工	三〇日	
寶華鑛業公司	錫塊		一四,五五九,九五斤						一〇〇工	三〇日	

本鑛鑿隆工程第一期計二年除上年鑿通隆路後煉得純錫七千餘觔本年入第二期工程鑿深隆路工程未竣未有生產(民國二十四年)

三 湖南省

(一) 江華錫礦二十三年度營業概況表

第一表

月份	產砂量 (新市擔)	煉錫量 (新市擔)	售出純錫量	每擔售價 (元)	實收錫價(元)
一月	一八三·五	二二·五	五·三舊擔	一六·三	九八·三·七
二月	一八·八	六·八	六·九舊擔	一六·六	一一·三·七·五
三月	一三·一	六·二	六·〇五舊擔	一四·七	一七·三·九·四
四月	二四·一	六·八	一〇·四舊擔	一七·七	一八·三·〇·六
五月	一七·七	一·九	六·九舊擔	一六·三	一六·二·四·六
六月	三四·九	二·七	二·六舊擔	一六·六	二四·七·七·七

第二表

月份	產砂量 (新市擔)	煉錫量 (新市擔)	售出純錫量	每擔售價 (元)	實收錫價(元)
一月	一八三·五	二二·五	五·三舊擔	一六·三	九八·三·七
二月	一八·八	六·八	六·九舊擔	一六·六	一一·三·七·五
三月	一三·一	六·二	六·〇五舊擔	一四·七	一七·三·九·四
四月	二四·一	六·八	一〇·四舊擔	一七·七	一八·三·〇·六
五月	一七·七	一·九	六·九舊擔	一六·三	一六·二·四·六
六月	三四·九	二·七	二·六舊擔	一六·六	二四·七·七·七
合計	一、九四·五	一、四八·七	六〇·三新舊擔 四九·八新舊擔	一六·四	一、九、四、一、五
平均	一、九四·五	一、四八·七	六〇·三新舊擔 四九·八新舊擔	一六·四	一、九、四、一、五

月份	份事務費(元)	每擔純錫事務費	生產費(元)	每擔純錫生產費	每擔純錫總成本	純錫產量估值	盈餘
一月	一、三三·三	一·七	一五、二、六、九	一六·九	一三、〇·四	一〇、八、七、五	四、一、四、〇·三
二月	一、三三·三	一·七	一〇、一、三、元	三·〇	一三、〇·四	一三、五、三、六	一、八、二、〇·三
三月	一、三三·三	一·七	一〇、一、三、六	三·九	一三、〇·三	一三、六、八、美	一、〇、六、〇·〇
四月	一、三三·三	一·七	一〇、八、九、六	四·九	一四、一·〇·九	一三、六、七、六	一、五、六、八·〇
五月	一、三三·三	一·七	一五、三、九、八	六·六	一四、一·三	一九、六、七、八	二、九、六、六·七
六月	一、三三·三	一·七	一〇、五、三、四	三·元	一四、一·六	一五、五、四、八	三、六、〇、九·〇
七月	一、三三·三	一·七	一六、六、元	四·元	一四、一·六	二〇、五、六、八	五、四、七、四·〇



八	月	一、五八〇、六	三、三	一四、六四三、八	二五、三〇	一七、七	八、五三三、三	三、五八〇
九	月	一、五五〇、〇	二五、三〇	三、三三三、七	三三、一	一、六、七	一五、八〇、英	一、四三、四
十	月	一、四三〇、六	二、三、五	二、八八九、五	二〇、五	一、四〇、一	一、三、三〇、一	一、七六、三
十一	月	一、四七三、三	一五、五	二、一〇、七、七	二七、三	一、三、八	一、四六五、六	二、四、六
十二	月	一、五七二、四	二、四、三	一、六、五〇、三	三〇、四	一、三、八	三、三六、七	三、四四三、四
合	計	一六、五七〇、九	一六、七〇一	一六、三五〇、〇	一、三三三、三	一、六、六、三	三、九四四、〇	三、九四四、七
平	均	一、三六〇、九	一、三六四	一、四、〇、九、九	一〇、六、一〇	一、五、六、九	一、八、元、四、英	二、六四、五〇

(2) 臨武香花嶺錫礦概況

香花嶺所轄各礦區約分下列數處：

(1) 油冲嶺礦區 油冲嶺砂子嶺內小地名之一，區內有富國、裕成、預光、寶帶、鴻恩、萬德等窿口，除富國現歸商人承包開採外，餘均停頓。

(2) 砂子坪礦區 砂子坪(即太平真)礦區，有聯陞、復興、裕湘(亦名裕商)裕旺、裕發、裕源、裕美、鴻發等窿口，礦區西北新增乙峯嶺礦山一處，計區內有

天開、泥把、裕漢各舊窿口，現除裕漢、裕源、裕美等窿口，由局自辦外，餘均停頓。

(3) 葱頭嶺礦區 葱頭嶺又名葱頭岩凹，即名利、明理、高陞、婆婆等窿口所在地。明利與明理窿道互相暗通，除明理老發字號正積極開採外，餘均廢停。

(4) 鐵砂坪礦區 鐵砂坪區，內分焦嶺、架山、金明、絲茅冲等處，各地名內有寶泰、金盆、寶順等窿在焉，均停辦未開。

(5) 江坪真礦區 與鐵砂坪區相聯，與(1)(2)(3)等區所在地相距約千尺左右，礦區既狹，礦床亦復欠佳，廢置多年，故未測圖。

以上(1)(2)(3)等礦區在臨武縣治西北六十里，(4)(5)兩區在縣治

西北四十五里。交通由香花嶺陸路至桂陽縣，計程九十里，至郴州一百六十里，至嘉禾之油涵約五十里，至桂陽之舍人渡，約一百一十五里。水路從油涵或從舍人渡均可通小舟，下達衡湘，春水大流急，下水甚速，六七日可達長沙，秋冬水涸，上下均感困難。運貨常由水道，行人多取陸路。主要礦物為錫石、砒、鐵、黃鐵礦等，副產有硫鐵礦、硫銅礦、方鉛礦、亞鉛礦，除以上礦質提煉錫砒外，其他因產量甚微，均予棄置。香花嶺錫礦產於石灰岩、紅砂岩、花崗岩三種岩石接觸之處，名接觸礦床。母岩為石灰岩、花崗岩與紅砂岩，兩者接觸於下，而灰岩覆被其上，其產錫頗豐之石灰岩，在公礦一、二、三各區一帶之地，南北延長不過二里許，東西廣狹，平均不過數十丈耳。錫石結構純係一種網狀礦脈，走向傾斜，皆無一定，狹或容線，廣或數尺乃至數丈，薄或如紙，高或數丈，雖不能毅然斷定其衰旺之遲速，然循脈而進，久其必有大旺之期，於不規則中，仍富有規則之意，此種現象，凡久於該礦者類能道之，尤為擴充工程之保障。生砂含錫成分，富者可有五十分上下，貧者僅百分之二、二而已。砒砂之富者含砒百分之三十，貧者百分之十五上下。礦區面積(1)油冲嶺區面積計五百四十公畝。(此係按照民國五年原圖礦區推算，民國十九年因老

圖建廳遺失，復測面積數不符。）

(二) 慈頭嶺區面積計一千五百一十四公畝。(此係按照民六原圖鑛區界限推算，與民五原圖所載面積大有出入。)

(三) 砂子坪區原圖計九百四十五公畝，新增一峯嶺地計二百四十九公畝，二區共計一千一百九十四公畝。

(四) 鐵砂坪區面積計七十七公頃四十二公畝。  
(五) 江坪裏區約計不足法定畝數，未予測圖。

第十目 銅

貴州省

本省銅產額及銷場

產地	每月產量	銷售地方
大定	一·二五〇噸	滇省
安南	五·六二五	四川及本省
正安	〇·一八八	本縣
總計	七·〇六三	

註： 郎岱、盤縣、平越、三縣亦富銅鑛，尙未開採。

本統計係根據繳納鑛務稅之統計，人民自採自用，未經報納者，尙不在內。

第十一目 汞

貴州省

本省汞產額及銷售價值

中國經濟年鑑 第三編 第十一章 礦業

省	地	每月出產量	產地售價(每斤價)	銷售地方
三合	溪	一〇〇〇	四·〇〇元	滬漢各地
紫雲		三〇〇	不詳	重慶
八寨		三〇〇	四·〇〇	兩廣
興仁		不詳	四·〇〇	兩廣
銅仁		一·二〇	三·五〇	湖南
婺川		三〇〇	四·〇〇	四川
總計		五·四〇		

註一 修文汞鑛，每月約產一千斤，前曾開採，現已停辦。織金、息烽、安龍三縣之汞鑛，前亦曾開採，現均停辦。

註二 本統計係根據繳納鑛務稅之統計，人民自採自用，未經報納者，尙不在內。

第十二目 各種非金屬鑛業(煤石油除外)

一 湖南省硫磺鑛業  
本省硫磺調查

(甲) 分布 湖南所產之硫磺，殆純由黃鐵提煉而得。黃鐵鑛產生狀況，可分為二類：  
(1) 成層狀或結核狀，夾生於石炭紀或侏羅紀之煤系中，以湘鄉為主要地帶，他如慈利、桑植、邵陽、醴陵、長沙等處均屬之。

中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

(K) 一四八

(2) 與侵入火成岩有成因之關係，多成脈狀或囊狀，或伴鉛鋅礦產出，以郴縣常寧爲主要帶，淑浦、石門、臨武、衡山、大庸等處均屬之。

現在全省登記之硫磺礦業，有公司二十一家，鑛區面積共計四萬五千一百零一公畝八十六釐，官營礦業尙不在內。

(乙) 產量 湖南硫磺產額，在民國初元以郴縣爲最盛，每年超過八百餘噸，除本省應用外，銷行於鄂皖贛閩諸省，嗣以各該省設局公賣，湘磺遂受打擊。民國八年輸出省外者僅十餘噸，九年五十餘噸，十年四十餘噸，存貨積壓，各公司因之漸次縮小範圍，湘磺地位，大部均被日意兩國洋磺奪取，近年以幣值關係，略有起色，然郴縣出產年亦不過三千餘擔，慈利石門共約二千餘擔，湘鄉淑浦共約二千

擔，常寧水口山二十二年度七千一百二十六擔，二十一年度五千四百一十八擔，就產量觀之，湘磺年有衰落之趨勢，然此實非礦磺衰竭所致，其蘊藏之量猶極豐富，可供給設廠製造硫磺原料。

(丙) 運銷及價值 湖南硫磺用途，以鞭炮、肥田、藥品及漂劑等爲大宗，瀏陽平江醴陵等縣消費最多，盛時年達一萬八千餘擔，近年漸次減少，年祇一萬二千餘擔，輸出省外者以江西爲最多，皖閩等省次之，合計每年約有四千餘擔。十九年因日金價高，洋磺價值因折合國幣亦比較增高，湘磺遂因之輸出稍多，是年約七千擔，二十年約六千擔，二十一年約三千五百擔，自是之後因運銷手續上及日鈔價落之關係，輸出省外之量，漸次衰落。

二 察哈爾硫磺礦業

民國二十三年宣化硫磺公司明細表

部	煉	提	取		探	
			種	別	種	別
備	硫	種	鐵	砂	化	種
考	斤	上	年	餘	數	上
售	斤	煉	出	數	煉	數
價	六	千	二	百	六	十
目	千	百	斤	無	無	無
係	每	百	斤	四	百	斤
察	百	斤	四	百	斤	斤
哈	元	角	目	出	目	出
爾	四	百	斤	四	百	斤
爾	百	斤	四	百	斤	斤
硝	千	斤	四	百	斤	斤
磺	元	角	目	出	目	出
局	百	斤	四	百	斤	斤
規	千	斤	四	百	斤	斤
定	一	千	斤	四	百	斤
考	百	斤	四	百	斤	斤
價	元	角	目	出	目	出
目	四	百	斤	四	百	斤
係	百	斤	四	百	斤	斤
察	千	斤	四	百	斤	斤
哈	元	角	目	出	目	出
爾	百	斤	四	百	斤	斤
爾	千	斤	四	百	斤	斤
硝	元	角	目	出	目	出
磺	百	斤	四	百	斤	斤
局	千	斤	四	百	斤	斤
規	元	角	目	出	目	出
定	百	斤	四	百	斤	斤

三 河北省石綿鑛業

涿源縣石綿鑛概況

鑛地在縣城東北五十里之燕美洞，鑛床係石灰岩與花崗岩接觸處，夾黃綠色蛇紋石，白色滑石及燧石等。此部共厚一百五十公尺。其上為厚一百公尺之結晶石灰岩，夾無數石綿脈。石綿脈最厚處約有三帶：第一帶在本部岩層之底部，厚三至五公尺；上隔四十至六十公尺為第二帶，厚五至七公尺；第二帶上約二十公尺為第三帶，厚十數公尺。分佈不甚規則；第二及第三帶，北自清水河，南至水泉溝，延長在三公里以上，平均共厚十五公尺。至石灰岩之上部則漸無蛇紋岩及石綿之踪跡。石綿脈在石灰岩中，呈不延續之層狀或餅狀，參差錯綜，互相衝疊。在豐富處，各脈相距僅公分。石綿纖維與脈壁成垂直，長半公分至二公分，最長者達三公分。第一帶及第二帶所產石綿呈金黃色，光如絲，纖維細柔有力。第三帶所產潔白較脆劣。此處石綿屬紋蛇石類之纖維蛇紋石，纖維雖不甚長，然光潔堅柔，質尚不劣。與之共生者有方解石細片；於塊狀蛇紋石間常見有磁鐵礦及赤鐵礦細粒，及少量之綠泥石。其儲量頗大，估計如次：

	第一帶	第二帶	第三帶
長度(公尺)	一,五〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
厚(公尺)	四	六	一〇
寬(公尺)	五〇	五〇	五〇
比重	二.二	二.二	二.二
岩石所含成分	一五%	二〇%	一〇%
侵蝕損失	二分之一	二分之一	二分之一

儲量(噸)	四九,五〇〇	一九八,〇〇〇	一六五,〇〇〇
共計	四二二,五〇〇		

此處石綿開採始於民國三年，有裕榮、平厚、華北、仲達等公司。民八，裕榮停；民十一，平厚停；民十二，只餘仲達一家。第二帶及第三帶，自清水河至水泉溝一帶，均經開採。由農民於農暇時採掘，沿鑛脈開一斜洞，寬高一公尺餘。深者約三十公尺。工人最多時達五百，每日每人可採石綿六十至一百斤。採出之石綿，有公司收買，計分兩種：第一種為塊石綿，纖維長一·五公分以上，每百斤價銅元二百四十枚；第二種為石綿碎屑及不淨之石綿粉，每百斤銅元八十至一百枚。兩種均須再經選礦篩分等工作方能出售。茲將選出之等級成本列表：

第一種 收買價	佔全額百分數	每噸成本(元)
經二次手選所得純塊 針石綿占五〇%	三.五%	九一.六〇
再經手選得 碎屑占五〇%		
一等絲	二.三%	九四.二九
二等絲	〇.八%	九一.六二
三等絲	〇.四%	八九.六〇
石綿粉		四八.六〇
第二種 收買價		
經二次選及礦篩得		
一等絲	一.八.六%	五二.八〇
二等絲	二.七.九%	五〇.六二
石綿粉	四.八.六%	四八.六〇
選礦費 初次手選每噸		二.〇〇元

中國經濟年鑑 第三編 第十一章 礦業

二次選每噸

四六九

礪每噸

四二〇

篩每噸

二一〇二

運費 自錫場至易縣駝運費

每噸二三五二

自易縣至天津火車運費

每噸二八〇〇

自定興(易縣南裝船至天津六十里) 每噸二三四〇

運至天津運費成本(二十二年三月仲達公司報告)

純塊及針 每噸成本 一三七三二元 市價 三六五〇〇元

一等絲 每噸成本 一四〇三三二 市價 二二四〇〇

二等絲 每噸成本 九八七二二 市價 一二〇〇〇

三等絲 每噸成本 九六五四四 市價 七五〇〇

粉 每噸成本 市價

四 浙江明礬及礬石礦業

平陽礬石礦及明礬之產量

浙江平陽為中國明礬之最大產地，礬石礦區在平陽縣治西南百餘里之礬山及苕湖一帶，前清乾隆時即開始採掘煉礬，後漸漸發展，所產之礬均運銷內地，至歐戰時外國進口之明礬斷絕，國內需要均仰給於茲，且裝銷於海外，礬價遂由每石二元漲至八元，窿內之工作大增，煉礬之礬亦由二十增至四十，迄歐戰既停，其業務亦隨衰落，至去年礬價僅餘十八。

礬石礦權屬於鄭周兩姓，各於產額實價中抽十分之一，付與山主為租金，開採全用土法，見苗即採，隨脈進取，除二處露天掘外，餘均寬窄不勻之坑道，曲折上下，有深達二里者，寬自五尺至十餘尺，坑口高低不同，利用自然通風，無他設備，燈

(K)一五〇

用煤油，礦工採包工制，每出砂一擔，付工洋二分，須由坑內運至堆砂處，工具自備，大約每人每日可獲工洋由二角以至一元。

礬石售與礬主，每石價洋一角上下，視礬石之成色如何，最佳者每礬石四百斤，可煉明礬百斤，劣者由六百斤至一千斤煉礬一百斤。礬主有自煉者，有租與他人煉者，每礬月由二人至五人合夥而成，分管理部及營業部，管理部雇人九人或十人，月薪九元至二十元，營業部四五人，月薪十二元至十五元，礬工人數不定，工資每日約在一元以內。

明礬之品質分數等，以明珠、撒珠、拳珠、統珠、淨珠、小珠、粒子，以明珠最佳，屬頭等，每袋(百斤)價約四元九角，產量甚小，占全產量百分之五；撒珠次之，每袋價約三元五角，占全產量百分之四十；拳珠又次之，每袋價二元五角，占全產量百分之二十；統珠每袋價一元八角，占全產額百分之二十五；小珠最劣，每袋一元五角，占全產量百分之十。

每窰每日可出礬三千六百斤，以十七窰計，平陽每年可產明礬一八三、六〇〇石，即一〇、九二八噸，茲將民國十四年至二十一年之實際產量列后：

十	四	三三〇、〇〇〇擔
十	五	二二〇、〇〇〇
十	六	二二〇、〇〇〇
十	七	三三〇、〇〇〇
十	八	三三〇、〇〇〇
十	九	二五〇、〇〇〇

二	十	一	年	二〇〇、〇〇〇擔
二	十	一	年	一八〇、〇〇〇

前清時平陽之明礬，均由寧波商人兜售，轉銷各地，民國以來，各黨主漸自向各大埠設莊，或直接銷售出口。

由平陽通外埠有三路：(一)由挑運至藻溪，再用帆船運至慈江，裝輪運往他

五 山東省釉石磁土火黏土重晶石滑石鑛業調查表

(1)本省釉石磁土火黏土重晶石滑石鑛業調查表

區別	鑛業者	所在地	民國二十一年		民國二十二年		職	員	井	上	井	下	合	計	每日工資(元)	人
			產	噸	元	產										
釉石鑛	王福泰	淄川大峴嶺白	五	一六	七	一七	一	?					二			
磁釉石	裕本磁鑛公司	淄川大峴嶺白石屋	五五	二、一〇〇	四〇	一、九〇	四	?					一八		?	
磁土	孟福山	博山金雞山	一、七四〇	三、六〇〇	二、五五〇	一〇、一〇〇	二	三	二	七			九		三六〇	
火	姜有瑞	博山花園墩	六〇	三、二〇〇	三、〇五	三、四〇〇	三	三	三	八			三		四〇	
黏	張厚庵	博山金雞山	—	—	一五	六〇	一	?					二		〇八〇	
土	唐雨亭	淄川鐵籠山	三〇	一五〇	三〇〇	一、一〇〇	二	二	二	四			六		二五〇	
	王伯才	淄川小店子	六	三〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	田旭岑	淄川唐家村	—	—	三〇	四〇	一	一〇	?	?			二		〇八〇	
合	其他		四、五五〇	三、六九〇	九、六七〇	二、四四〇	一六	四	?	?			六		五〇〇	

埠。(二)由挑運至赤溪，再由民船運至官山洋面，裝輪運出。(三)由挑運至福建之前溪，再由民船運至沙哩裝輪。輪運之目的有四：即上海、香港、福州、寧波，再由此四埠分運其他各地，然亦常直運杭州、台州及溫州等埠者，大約每年出口總量，運往上海、香港者各占百分之二十九，往福州、寧波者各占百分之十四，往杭州、台州者占百分之五，往溫州占百分之三。

滑石	合	重 晶 石																		
		其他	宋維岳	姜夢飛	吳清泉	吳喜慶	熊鐵莊	高密梁尹莊	即墨喬哥莊	合興公	司									
	計																			
		500	500	500	1,500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
		1,000	1,000	1,000	3,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		2	2	2	6	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		10	10	10	30	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
		?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?
		?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?
		10	10	10	30	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
		100	100	100	300	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

(2) 民國二十四年(四月底止)磁土鑛產明細表

名 稱	鑛區位置	種 別	上 年 餘 數	採 出 數	賣 量		價 目	出 自	餘 存 數	工 數	工 作 日 數	備 考
					數	量						
裕 本 公 司	淄川縣大嶺	磁土	無	四四、八〇〇	四四、八〇〇	一、三四四元	無	無	無	五八五個	一九五日	本表所填數目係二十三年份
馬 記 磁 土 公 司	淄川縣城	磁土	無	一、八七五	一、八七五	每公墩三元	無	無	無	一三名	六〇日	本鑛無顧主無應需均不預車採取以防日久風化致遭消耗失敗合併聲明

六 江蘇省磁土鑛業

民國二十四年(五月底止)瓷土鑛明細表(二十四年五月)

鑛廠名稱	鑛區位置	種 別	上 年 餘 數	採 出 數	賣 量		價 值	出 存 數	工 數	工 作 日 數
					數	量				
紹申瓷土鑛	吳縣白泥塘	瓷土塊	無	二十一	十九	每公墩十元	二	三百〇一	三十七日	





中國經濟年鑑第三編 第十一章 礦業

九 四川省鹽鑛業

民國二十二年產額表

產	地數	量	(單位噸)
富順		一七八、五七一	
雲陽		二九、七六二	
射洪		五四、七六二	
閬中		二二、〇二四	
蓬溪		七、七三八	
樂至		八、九二九	
綿陽		七、四四〇	
簡陽		四、一六九	
西區		五、九五〇	
中江		七七四	
南鹽		二、九七六	
三合		五、九五三	
蓬遂鹽場		五、一七八	
健爲奉節潼川		五九二	
其他各縣		四九、一〇〇	
共計		三八三、九一八	